

# 令和3年度 厚生労働省 介護のしごとと魅力発信等事業 介護技能向上促進事業 実施報告書

令和4年4月

株式会社シルバーウッド

株式会社日本経営

# I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

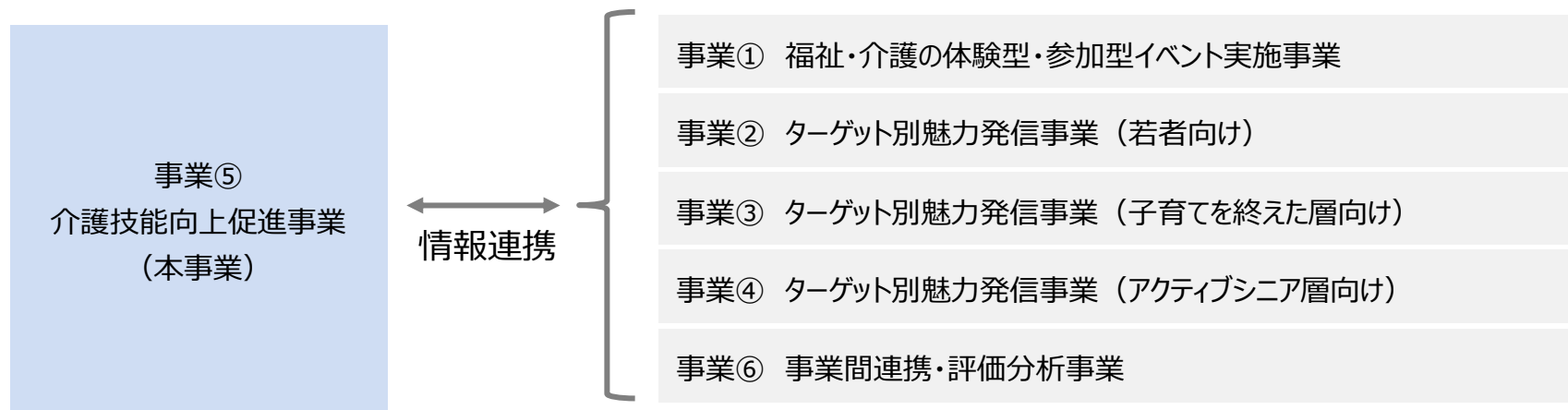
# (1) 事業の意義・目的

## 【本事業の位置付け】

### 介護のしごと魅力発信等事業

#### 【意義・目的】

福祉・介護の体験型イベントや情報発信のプラットフォームの運営、①若者層、②子育てを終えた層、③アクティブシニア層に対する個別のアプローチにより、介護の仕事の魅力情報を発信するとともに、介護のイメージ転換を図る。



### 介護技能向上促進事業

#### 【意義・目的】

介護技能の向上、質の高いサービス提供の手法を介護事業者に展開すること、広く一般に介護職員の介護技能向上に向けた取組を周知すること等により、介護職員の社会的評価を高めることを目的とする。

## (2) 事業区分

### 【事業区分内容】

実施内容（厚生労働省仕様）	事業区分
事業実施を通じて、介護職員の社会的評価を高める取組を行う。	事業全体
ケアコンテスト等の介護技能の向上に向けた取組を、介護事業者や介護職員及び介護分野と直接関わりのない層に対して周知する。	事業区分 1：介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業
介護技能の向上、質の高いサービス提供の手法を、介護事業者に展開する。	事業区分 2：介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業
広く一般に介護職員の介護技能向上に向けた取組を周知する。	事業区分 3：介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業
様々な年齢層の介護技能の向上に向けた取組について調査を行うとともに、調査内容を周知する。	事業区分 4：介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

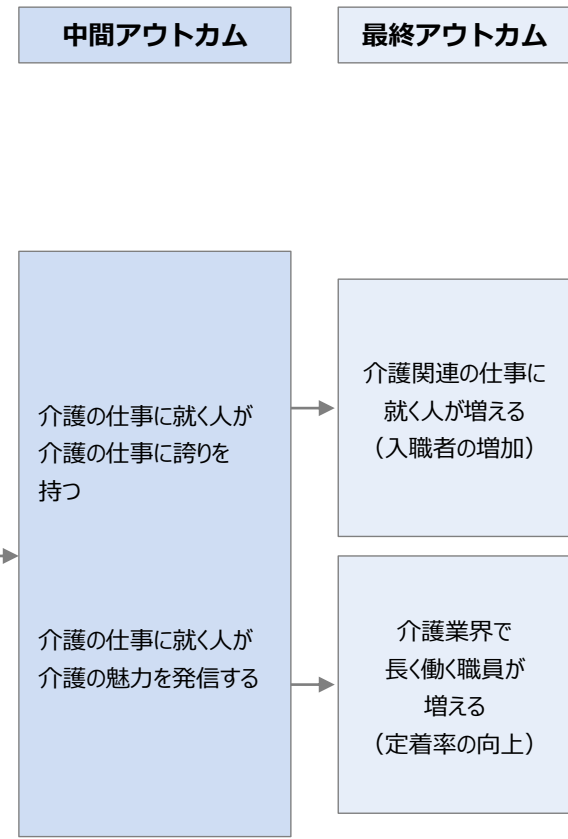
### 【本事業の方針】

- ・ 介護の目的と原理に基づいた介護技能を理解し、それを介護現場や地域に広げる人材の育成
- ・ 自治体や各エリアの協力事業者や事業者団体と連携して行う、重層的な魅力発信
- ・ 大手メディアからSNSに至るまで、幅広い媒体による、介護技能の周知とそれに即したコンテンツ作り
- ・ 他の「介護のしごと魅力発信等事業」採択事業者との連携

# (3) 事業のアウトカム (成果) の設定

## 【ロジックモデルに基づく本事業のアウトカム】

事業区分	対象	アウトプット (活動)	直接アウトカム
1. 介護技能の根拠を広める介護の生理学研究会 (ケアコンテスト) 事業	介護従業者、介護職を志す学生	介護従事者に対し、人体の構造に対する理解を深める入門的な場を設ける。 また、テーマごとに生理学の視点でケアの実践に至るまでの思考過程を探索し発表、評価・表彰する取り組みを行う。  ① 介護の生理学入門勉強会 ② 介護の生理学会 (ケアコンテスト)	介護の生理学入門勉強会への参加者が介護の生理学会にも参加する。(①)
			参加者が介護の生理学の必要性を認識する。(①)
			参加者の介護の仕事に対する知的好奇心が高まる。(①)
			参加者が介護の生理学について職場内で継続的に学び合う土壌をつくる。(①)
			聴講者が介護の生理学を身につける。(②)
			聴講者の介護の仕事に対する知的好奇心が高まる。(②)
2. 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業	介護事業所のマネジメント層 (経営者・管理者・現場リーダー)	介護事業者に向けて、介護の基礎と組織マネジメントの基礎を理解し、ケースワークを通じて考えることができる、6日間の研修プログラムを実施する。  ① マネジメントスタンダードプログラム for kaigo	リーダーが仕事の魅力を職場に伝えたいくなる。
			リーダーが生理学に基づく共通のケアのものさしを持つことの必要性を認識する。
			リーダーがマネジメントを通じて、チームで取り組むことの魅力を感じ、現場で実践したいくなる。
3. 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業	一般	ケアコンテスト等の介護技能の向上に向けた取組を、介護事業者や介護職員及び介護分野と直接関わりのない、広く一般に対して周知する。  ① YouTubeを通じた発信 ② テレビ番組を通じた発信	コンテンツ視聴者が、介護の仕事、専門的で面白い仕事だと感じる。
			都道府県・業界団体・職能団体が介護技能向上を目的に行われている取り組みを知る。
4. 介護技能の向上に向けた取り組みについての調査事業	業界団体 職能団体 介護従事者	介護技能向上に向けた取り組みを調査し、調査事例を一般化することで、取り組みの企画や見直し、効果測定に活用できる冊子コンテンツを作成・発信する。  ① アンケート ② 先進事例へのインタビュー ③ 冊子コンテンツの作成	都道府県・業界団体・職能団体が、自組織で実施している介護技能向上の取り組みの効果を計測しようと思う。



### (3) 事業のアウトカム（成果）の設定

#### 【アウトカム別のKPI指標】

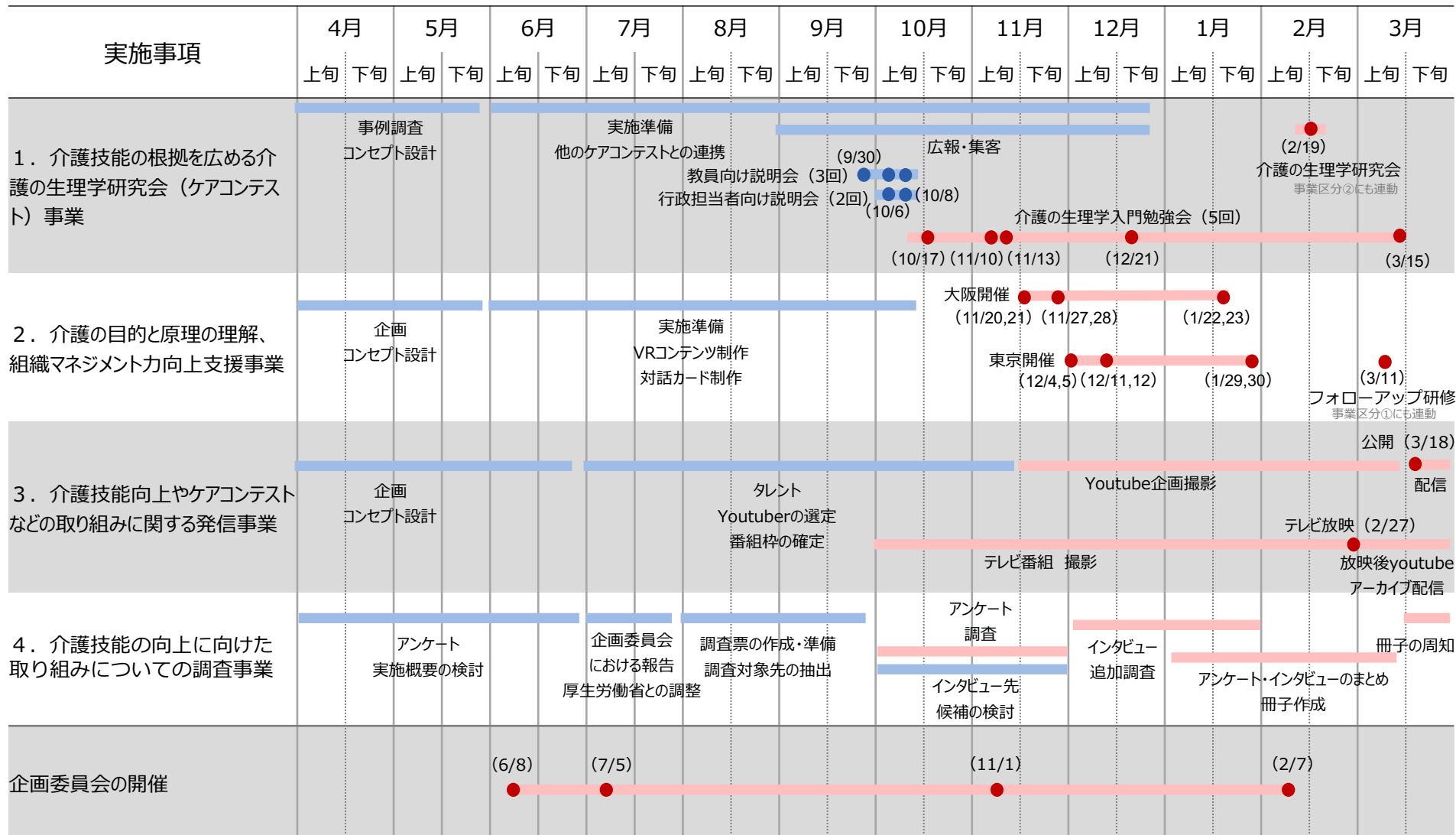
事業区分	アウトカム	指標	
1. 介護技能の根拠を広める介護の生理学研究会（ケアコンテスト）事業	① 介護の生理学入門勉強会	聴講者が介護の生理学を身につける。	聴講者の介護の生理学に対する理解が深まったか。
			聴講者が介護の生理学が必要だと感じたか。
			聴講者が介護の生理学を実践しようと思ったか。
		聴講者の介護の仕事に対する知的な好奇心が高まる。	聴講者の介護に関する知的な好奇心が高まったか。
			聴講者がもっと介護の生理学を学びたいと思ったか。
			介護の生理学会には、聴講者が現場で活かせる学びがあったか。
		発表者が介護の生理学について職場内で継続的に学び合う土壌をつくる。	発表者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めたいと感じたか。
			発表者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めるための行動を起こしたか。
		介護の生理学入門勉強会への参加者が介護の生理学会にも参加する。	「介護の生理学入門勉強会」への参加者が、「介護の生理学会」への参加につながったか。
			参加者の介護の生理学に対する理解が深まったか。
② 介護の生理学会	参加者が介護の生理学の必要性を認識する。	参加者が介護の生理学が必要だと感じたか。	
		参加者が介護の生理学を実践しようと思ったか。	
		参加者の介護に関する知的な好奇心が高まったか。	
	参加者の介護の仕事に対する知的な好奇心が高まる。	参加者がもっと介護の生理学を学びたいと思ったか。	
		入門勉強会には、参加者が現場で活かせる学びがあったか。	
	参加者が介護の生理学について職場内で継続的に学び合う土壌をつくる。	参加者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めたいと感じたか。	
		参加者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めるための行動を起こしたか。	

## (3) 事業のアウトカム（成果）の設定

活動	アウトカム	指標
2. 介護の目的と原理の理解、 組織マネジメント力向上支援事業	リーダーが仕事の魅力を職場に伝えたいとなる。	自らの仕事の意義や目的を職場で伝えたいと思ったか。 理想のケアについて職場で話し合ってみたいと思ったか。
	リーダーが生理学に基づく共通のケアの ものさしを持つことの必要性を認識する。	リーダーが共通のケアのものさしを持つことが必要と感じたか。 リーダーが職場に持ち帰り、共通のケアのものさしを作ろうと思ったか。
	リーダーがマネジメントを通じて、チームで 取り組むことの魅力を感じ、現場で実践 したくなる。	リーダーが現在抱えているマネジメントの不安を払拭できたか。 リーダーがチームでケアに取り組んでいきたいと感じたか。
		リーダーが職場の仲間とともに、より良いケアを実践するための行動を とろうと思ったか。
3. 介護技能向上やケアコンテスト などの取り組みに関する発信事業	コンテンツ視聴者が、介護の仕事を、 専門的で面白い仕事だと感じる。	介護の仕事に対する興味・関心が高まったか。 介護の仕事が魅力的だと感じたか。 もっと介護の情報を調べてみたいと感じたか。
4. 介護技能の向上に向けた 取り組みについての調査事業	都道府県・業界団体・職能団体が介護 技能向上として行われている取り組みを知る。  都道府県・業界団体・職能団体が、自組織 で実施している介護技能向上の取り組みの 効果を計測しようと思う。	介護技能向上に向けた取り組みの知ることで、今後の参考になったか。  介護技能向上に向けた取り組みの効果測定の手法を知ることで 今後の参考になったか。

# (4) 事業全体のスケジュール

■ 準備・検討・事前説明等 ■ 開催・実行等 (魅力発信)

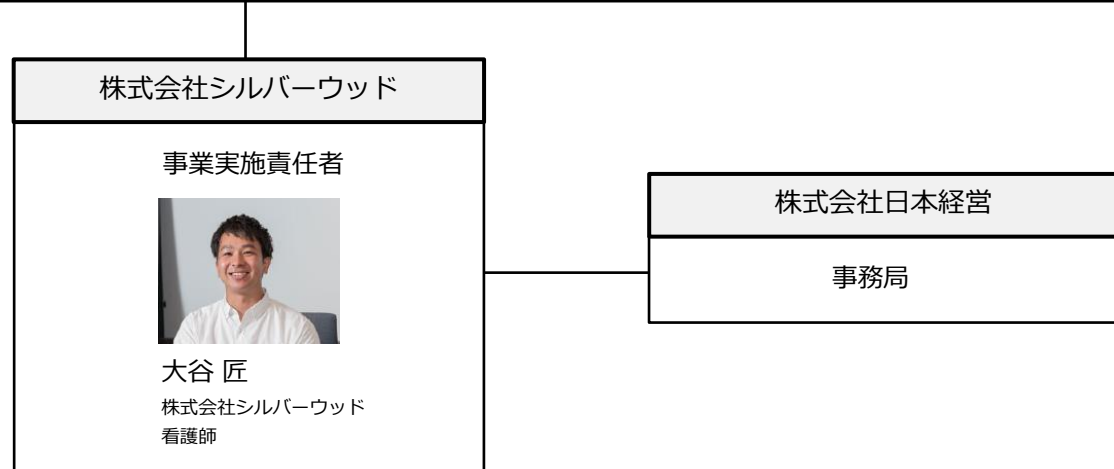




# (5) 企画委員会

## 組織図

## 企画委員会 (五十音順)



## (6) 事業全体の広報活動①

### 特設サイトの公開

今回、企画しているイベント（介護の生理学入門勉強会、介護の生理学会、マネジメントスタンダードプログラム for kaigo（後述））の集客を目的に、イベント情報や介護の原理と目的の考え方について周知する特設ホームページを公開した。

項目	詳細内容
目的	各イベントの集客と、介護の原理と目的の考えを普及するため。
公開日	2021年10月1日（金）
アクセス数	表示回数 15,609回 ユーザー数 5,665人（2022年3月28日現在）
サイト構成（3ページ）	ページ① 知る「介護を科学的に捉える」 ページ② 学ぶ「研修・勉強会」 ページ③ 聴く「介護の生理学会」 <a href="https://think-life.net/">https://think-life.net/</a>



### リンク集（一部抜粋）

- 本サイトの内容をまとめた小冊子  
[【原理】と【目的】からはじまる介護現場のチームワーク \(PDF\)](#)
- 介護職の思考過程に焦点を当てた動画教材  
[動画「介護とは何か -生活を整える実践-」 \(YouTube\)](#)
  - [・資料1「本動画の活用方法」 \(PDF\)](#)
  - [・資料2「ケアの最善を議論する55の場面」 \(PDF\)](#)
- 介護職の思考過程を紐解くドキュメンタリー番組  
[動画「ハリー杉山の介護を考える “生きる”を支えるプロの仕事」 \(YouTube\)](#)
- 介護現場のマネジメントの原理原則をVRで学ぶ研修  
[VR Angle Shift -マネジメントスタンダードプログラム for kaigo-](#)
- 全国の介護技能を高めるための取り組み  
[冊子「介護技能向上 アイデア読本」 \(PDF\)](#)

<詳細>



URL : <https://think-life.net/>  
検索 : 「生活の思考 介護」で検索

# (6) 事業全体の広報活動②

項目	内容	
	<p>「介護のしごとと魅力発信プロジェクト 介護技能向上アイデア読本」</p>  	<p>「介護のしごとと魅力発信等事業」成果物のご案内</p> 
送付物	<p>アンケートやインタビュー内容から、介護技能の向上に関する効果測定のポイントや特徴的な取り組みを実施しやすいノウハウにまとめた資料</p>	
送付物概要	<p>本事業で作成した成果物を周知等をまとめた資料</p>	
送付日	2022年3月29日（火）	
送付部数	255件	
送付先	都道府県、都道府県社会福祉協議会、都道府県介護福祉士会、介護労働安定センター、業界団体、職能団体	

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

# 1. 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業（全体像）

## ●事業の目的

- 介護業界の介護技能を底上げする。
- 介護に直接関わらない層に対し、介護技能やその魅力を発信する

## ●「介護の生理学」とは

介護は、利用者一人ひとりの生活に寄り添い、個人に適したケアを行うことが重要である。一方で、人間を生理学的にみると、人体の構造と機能は個人によらない部分が多く、より良いケアを行うためには、生物体としての人間の見方を獲得することも重要だ。たとえば、発熱への介護は、体熱の産生や放熱の仕組みを知らなければならないし、排泄の介護は、直腸や肛門、尿道や膀胱の構造や仕組みを知ることが求められる。それを生活を整える実践につなげるために、歴史や文化など社会科学の視点も融合させることで、ケアの創意工夫とアイデアの幅がさらに広がり、介護の仕事の専門性と魅力を再認識する機会につながるのではないか。その考えのもと、介護の生理学を入門的に学ぶ「介護の生理学入門勉強会」と、学んだことをきっかけに、自らが興味があるテーマに合わせて介護実践を生理学の視点でそれぞれ探求し、探求した内容を代表者6組が発表する「介護の生理学会」を企画した。

## ●実施対象

- 介護事業を行う法人や介護に従事している個人
- 本事業2に参加するような現場で介護技能向上を図りたいと考えている法人や個人
- 介護職を志す学生

※「介護職を志す学生」は介護福祉士養成校等と連絡を取り合う中で、必要性を感じ実施対象に追加した

# 1. 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業（全体像）

## ● 実施内容

### ① 介護の生理学入門勉強会

②「介護の生理学会」への参加につなげる目的で、②の広報・集客期間に合わせて、「介護の生理学入門勉強会」として、介護の生理学の重要性を短時間（3時間）で学ぶことができる勉強会を全5回実施。（当初3回開催予定だったが3回目実施時点で参加者希望者が想定人数（300名）の4.5倍以上（1,369名）に達したため2回追加開催を行った。）※実施詳細は後述

### ② 介護の生理学会

いくつかの介護行為について、生理学の視点からケアの実践に至るまでの思考過程を探求する。同事業によりこれまでに開催した研修等の参加者（総勢およそ1,800名）の中から、様々な介護行為について「介護の生理学」の視点でそれぞれ探求し、代表者6組が発表、審査員が講評した。※実施詳細は後述

## ● 効果測定の方法

### ・ 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業を通じた魅力発信

対象：1-①、1-②の参加者

内容：参加者の理解度、知的好奇心の変化、継続的に学び合うための行動変容等

手法：アンケートの実施

# 1. 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業（全体像）

## ● 他のケアコンテスト等の連携について

### ① 各地域の業界団体等が実施している既存のケアコンテストとの連携について

- 複数のケアコンテスト実施主催者と情報交換を実施。
- それぞれ独自の文化や実施方針が存在した。またコロナ禍で実施自体の見送りを検討しているところもあった。それぞれのケアコンテスト実施主催者とは、広報面で連携することとなった。

### ② 高校生のコンテスト「全国高校生介護技術コンテスト」との連携について

- 実施主催者と情報交換を実施。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で全国的に学生たちが介護実習に行けない状況が続いており、介護現場での学びの機会や、現役の介護従事者と接する機会が激減しているなどの課題を知った。そこで本事業で実施する「介護の生理学入門勉強会」や、「介護の生理学会」の対象を介護職を志す学生にも広げて実施することを本事業の企画委員会で提案し、各委員からの賛成を得、広く学生にも周知を行うことにした。

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

#### ①介護の生理学入門勉強会

#### ②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

#### ①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

#### ②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

#### ①TV番組

#### ②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

#### ①調査

#### ②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料



# 1-① 介護の生理学入門勉強会（概要）

## 【実施のポイント】

- ・ 介護を「生理学の視点で捉える」とはどのようなことか、また、良い介護を実現するために、なぜ人体の構造と機能の知識が必要なのかについて、具体例を交えながら入門的に学習できる内容にした。
- ・ 日々のケアをより科学的な視点で学び、チームで良いケアを実践するための「共通の判断基準」を獲得することをねらいとした。

【日 程】 2021年10月17日（日） 15:00-18:00  
 11月10日（水） 13:30-16:30  
 11月13日（土） 15:00-18:00  
 12月21日（火） 13:30-16:30  
 2022年3月15日（火） 20:00-21:00

※当初計画では、10-11月に3回開催予定だったが、好評だったため12月と3月に追加開催した。

【開催方法】 オンライン開催

【対 象】 介護職、介護職を志す学生 等

【講 師】 株式会社シルバーウッド 大谷匠

研修プログラム（3時間ver.） ※3月15日は、1時間の短縮ver.で実施

時間	内容
15分	オリエンテーション・相互理解
	介護の原理や目的の重要性
1時間30分	介護とは何か
	介護の目的論 各論：水分補給、発熱、呼吸
	介護の対象は何か ・各論：睡眠
45分	終末期ケア
	介護における観察
15分	質疑応答
15分	まとめ・お知らせ

# 1-① 介護の生理学入門勉強会（広報：介護従事者向け※区分2の研修と併せて告知）

## 協力団体を通じた広報

「介護の生理学入門勉強会」と事業区分2の「マネジメントスタンダードプログラム for kaigo」のチラシを作成し、業界団体、職能団体や都道府県に協力いただき、広く全国に対して周知を行った。

### 介護事業所向けチラシ

厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発信等事業」介護技能向上促進事業

これまで全国16道府県所十オンラインにて、740名の方が受講した研修が今年も開催されます。

介護現場のための  
マネジメント研修

マネジメントスタンダードプログラム  
kaigo

介護の生理学入門勉強会

「介護の魅力」は、介護の現場にあり、介護の現場はマネジメントで変わります。  
本研修は、良いケアを提供するための考え方や組織の導き方についてマネジメント層が学びを深めることで、介護現場の魅力づくりに繋がります。

今年度は、6日間の「マネジメントスタンダードプログラム for kaigo」と3時間の「介護の生理学入門勉強会」の2コースを開催します。

【主催】株式会社シルバード 047-304-4003 msp@silverwood.co.jp

協力先	周知方法
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会	・チラシ配布（11,000部） ・メールマガジン
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	・チラシ配布（8,050部）
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会	・ホームページへの掲載
一般社団法人 高齢者住宅協会	・チラシ配布（6,000部） ・メールマガジン
公益社団法人 全国有料老人ホーム協会	・ホームページ掲載
佐賀県	・県内介護事業所への周知（メール）
香川県	・県内介護事業所への周知（メール）
山形県 高齢者支援課	・県内介護事業所への周知（ホームページ掲載）
奈良県 長寿・福祉人材確保対策課	・県内介護事業所への周知（ホームページ掲載）

# 1-① 介護の生理学入門勉強会（広報：介護従事者向け※区分2の研修と併せて告知）

## シルバーウッ드의チャンネル等を通じた広報活動

### SNSでの告知



実施先	周知方法
シルバーウッ드의研修の過去参加者	・メールマガジン（3,793件）
行政の介護人材確保担当者	・チラシ配布（106部）
シルバーウッ드의マネジメント研修参加者	・郵送（700件3,880部）
大阪府の介護事業所	・郵送
東京都の介護事業所	・郵送
シルバーウッドFacebook告知	・案内投稿
シルバーウッドInstagram告知	・案内投稿

## 【行政 介護人材確保担当者向けのオンライン事前説明会】

- 行政担当者向けに「介護の生理学入門勉強会」と「マネジメントスタンダードプログラム for kaigo」に関する説明会を2回開催し、研修の目的、内容のほかに、本研修を都道府県単位でも独自に企画・実施できる旨を説明した。

対象	内容	日付	申込数	参加者所属団体
行政担当者	・介護の生理学入門勉強会 ・マネジメントスタンダードプログラム for kaigo	10月6日（水）	5	香川県健康福祉部長寿社会対策課、長野県健康福祉部介護支援課・介護人材係、長崎県長寿社会課、山梨県福祉保健部健康長寿推進課、熊本県高齢者支援課
		10月8日（金）	4	山形県健康福祉部高齢者支援課、佐賀県長寿社会課、福井県長寿福祉課、公益財団法人東京都福祉保健財団福祉人材対策室介護現場改革担当

# 1-① 介護の生理学入門勉強会（広報：学生向け）

## 協力団体を通じた広報

学生向けの「介護の生理学入門勉強会」のチラシを作成し、業界団体に協力いただき、広く全国に対して周知を行った。

学生向けチラシ



協力先	周知方法
一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟	・加盟校264校へのチラシ配布
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会	・加盟校328校へのチラシ配布
全国福祉高等学校長会	・加盟校193校へのチラシ配布

## 【教員向けオンライン事前説明会】

学生への周知の協力や授業として取り入れてもらうことを検討いただくために教員向けに「介護の生理学入門勉強会」に関する説明会を3回実施した。

対象	内容	日付	申込数	参加者所属団体
教員	介護の生理学入門勉強会	9月30日（木）	7	栃木県立真岡北陵高等学校、東京基督教大学、IGL医療福祉専門学校、奄美看護福祉専門学校、専門学校健祥会学園、今治明德短期大学、香川短期大学
		10月6日（水）	14	栃木県立真岡北陵高等学校、聖和学園短期大学、学校法人臼井学園 北陸ビジネス福祉専門学校、専門学校健祥会学園、東北文化学園専門学校、神奈川県立津久井高等学校、埼玉県立誠和福祉高等学校、北大阪福祉専門学校、名古屋医療秘書福祉専門学校、和歌山県立有田中央高等学校、岡山県倉敷市立倉敷翔南高等学校、YMCA米子医療福祉専門学校、美作大学短期大学部、知徳高等学校
		10月8日（金）	12	福岡医療秘書福祉専門学校、広島文教大学、岡山県立大学、麻生医療福祉専門学校福岡校、早稲田速記医療福祉専門学校、香川短期大学、郡山女子大学、北海道福祉保育大学校、群馬県立吾妻中央高等学校、奈良県立榛生昇陽高等学校、仙台大学体育学部健康福祉学科、日章学園高等学校

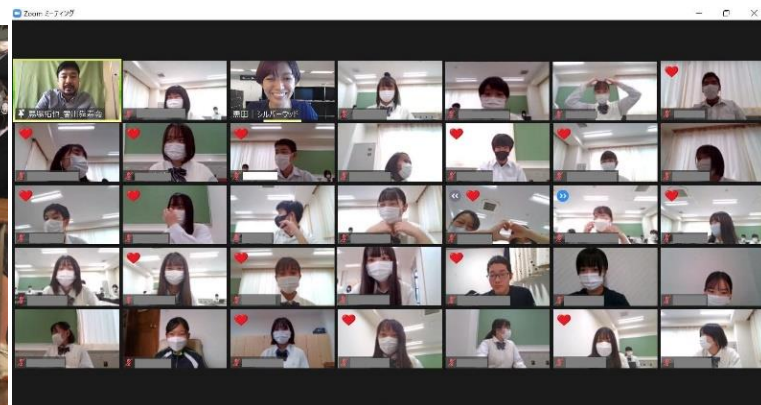
# 1-① 介護の生理学入門勉強会（広報：学生向け）

## 学校の授業の時間を借りて告知

下記高校にて授業の時間をいただき、学生に直接「介護の生理学入門勉強会」に関する広報を行った。

実施先	周知方法
群馬県立伊勢崎興陽高等学校	学生64名を対象にオンライン授業
群馬県立吾妻中央高等学校	学生100名を対象にオンライン授業
栃木県立真岡北稜高等学校	学生45名を対象に対面授業
千葉県立松戸向陽高等学校	学生60名を対象に対面授業

→  
入門勉強会の案内に併せて  
弊社のVR認知症や看取り  
プログラムを活用した  
授業も行った





# 1-① 介護の生理学入門勉強会（実施結果 参加状況）

- 当初の計画では1日当たりの参加人数は、50-100人/回×3回開催を予定していたが、第一回目から反響が大きく、第二回目、三回目と**口コミによる参加者が激増**した。好評につき追加で2日間開催することとし、計5日実施した。（想定300人、実績1671人、達成率557%）
- 介護を学ぶ学生も多数参加。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、介護実習に行けなくなった福祉課がある高校・介護福祉士養成校や大学などが**授業の一環として、クラス単位で参加**してくれたところも多かった。

日程	想定(名)	参加申込(名)	達成率	参加申込内訳	
				介護職等	学生
10月17日(日) 15:00-18:00	100	124	124%	79	45
11月10日(水) 13:30-16:30	100	963	963%	382	581
11月13日(土) 15:00-18:00	100	282	282%	219	63
12月21日(火) 13:30-16:30	当初予定なし	110		110	0
3月15日(火) 20:00-21:00	当初予定なし	192		192	0
合計	300	<b>1,671</b>	<b>557%</b>	982	689



# 1-① 介護の生理学入門勉強会（目標の達成度）

アウトカム	指標	データ収集方法	目標（判断基準）	目標達成度
聴講者が介護の生理学を身につける。	聴講者が介護の生理学が必要だと感じたか。	聴講前後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 96.1%
	聴講者の介護の生理学に対する理解が深まったか。	聴講前後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 97.8%
	聴講者が介護の生理学を实践しようと思ったか。	聴講前後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 92.6%
聴講者の介護の仕事に対する知的好奇心が高まる。	聴講者の介護に関する知的好奇心が高まったか。	聴講前後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 88.3%
	聴講者がもっと介護の生理学を学びたいと思ったか。	聴講前後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 88.3%
	介護の生理学会には、聴講者が現場で活かせる学びがあったか。	聴講前後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 86.1%
発表者が介護の生理学について職場内で継続的に学び合う土壌をつくる。	発表者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めたいと感じたか。	発表後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	-
	発表者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めるための行動を起こしたか。	発表後のアンケート調査	5段階評価で肯定的な回答が80%以上	-

# 1-① 介護の生理学入門勉強会（アンケート結果）

## ■主なアンケート結果

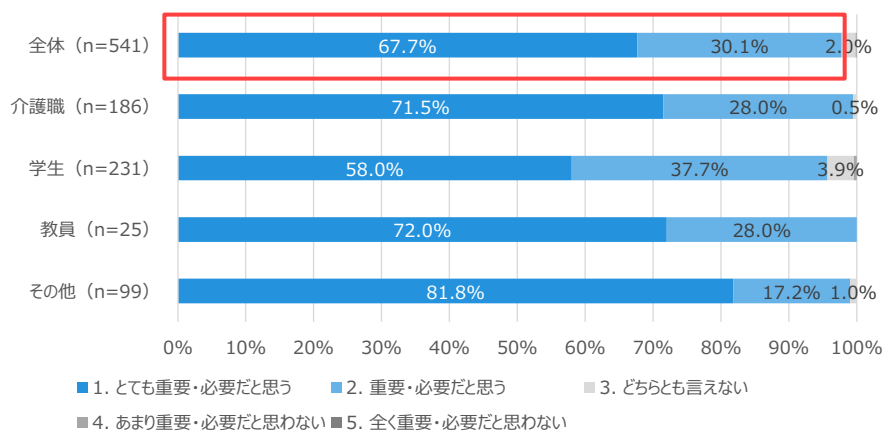
No	KPI	成果	詳細内容
①	参加者の意識変容 (必要性の認識)	「介護の生理学」を現場での実践に取り入れようと思った参加者の割合 <b>91.7%</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>介護職と学生を対象にした「現場での実践に取り入れようと思ったか」の設問では、91.7%が肯定的な回答であった。</li><li>内訳として、介護職の95.5%、学生の89.5%が肯定的な回答を示している。</li></ul>
②	参加者の意識変容 (知的好奇心)	介護の仕事を、「元々面白いとは思っていなかったが、今回面白い」と感じた学生の割合 <b>35.4%</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>介護の仕事に対する知的好奇心（面白いと感じたかどうか）は、「面白みが増した」という趣旨の回答が全体の92.1%を占めている。</li><li>「元々面白いと感じていなかったが、今回面白いと感じた」学生が、学生全体の35.4%を占めており、学生に対する魅力向上につながったと考えられる。</li></ul>
③	参加者の意識変容 (継続的な学び合い)	職場内でも介護の生理学を学んだり、深めたりしたいと感じた参加者の割合 <b>93.4%</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>介護職や教員を対象とした、職場内で学んだり深めたりしたいかという設問については肯定的回答の割合が93.4%を占めている。</li></ul>



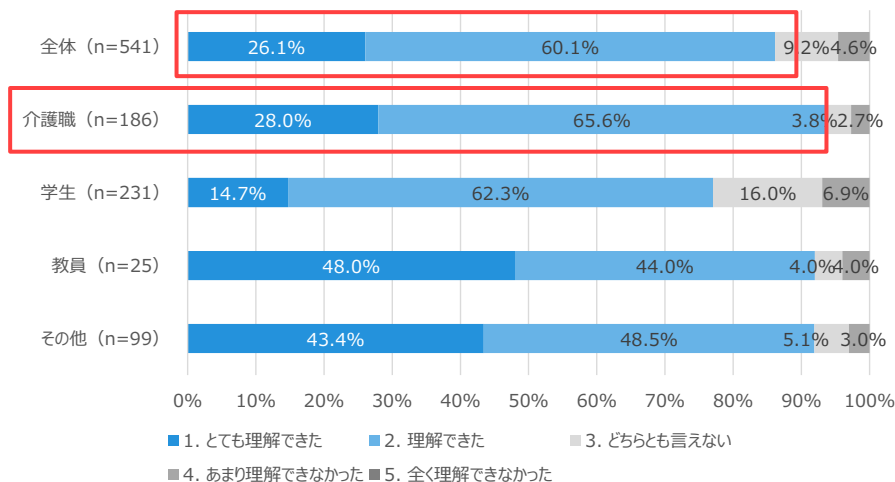
# 1-① 介護の生理学入門勉強会（アンケート結果）

- 介護現場で働く上で、「介護の生理学」の知識を身に付けることは重要・必要だと思った割合は**97.8%**と高かった。
- 特に、**教員は100.0%**が重要性・必要性を感じている。
- また、介護の生理学の理解度について、肯定的な回答の割合は参加者の**86.1%**と高く、特に介護職は**93.6%**となっている。

介護現場で働く上で、「介護の生理学」の知識を身に付けることは重要・必要だと思いますか？



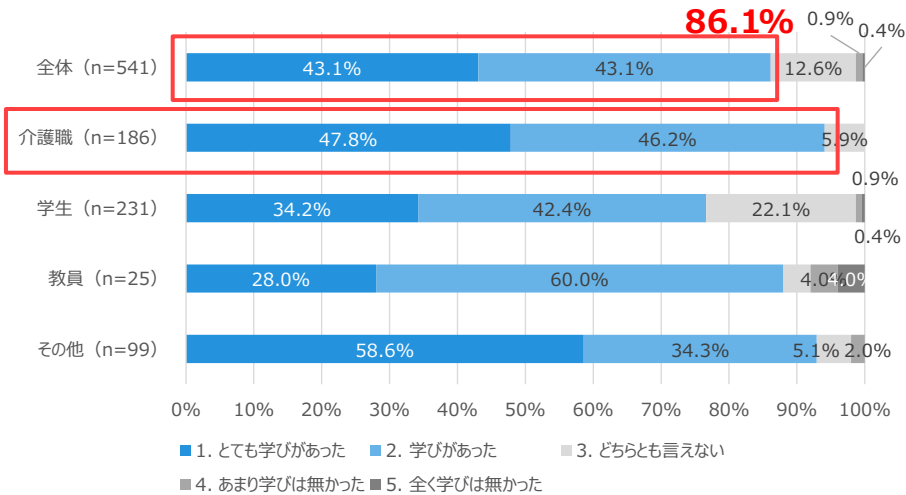
本日学んだ「介護の生理学」の理解度を教えてください。 **86.1%**



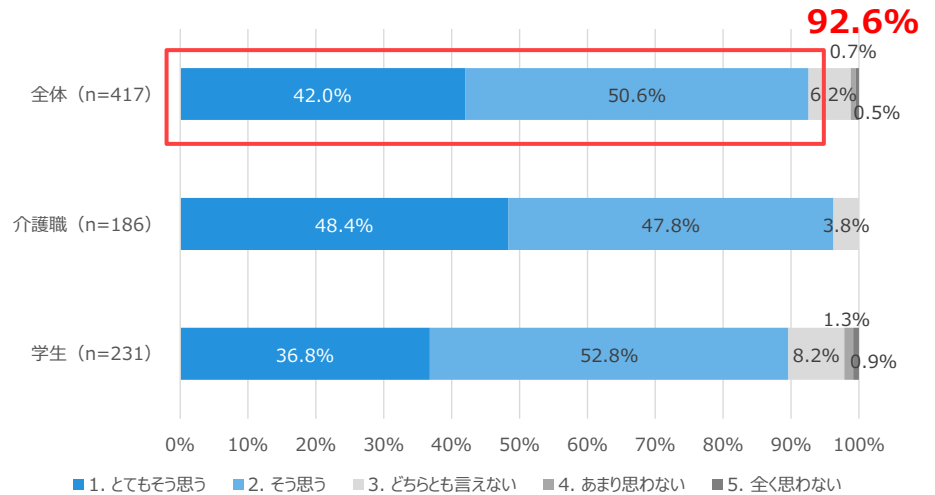
# 1-① 介護の生理学入門勉強会（アンケート結果）

- 「現場で活かせる学び」について、介護職の肯定的な回答割合が高く、特に現場で活かせる点が多かったといえる。
- 介護職と学生を対象にした「現場での実践に取り入れようと思ったか」の設問では、92.6%が肯定的な回答であった。
- 内訳として、介護職の96.2%、学生の89.6%が肯定的な回答を示している。

本日の勉強会には、現場で活かせる学びがありましたか？



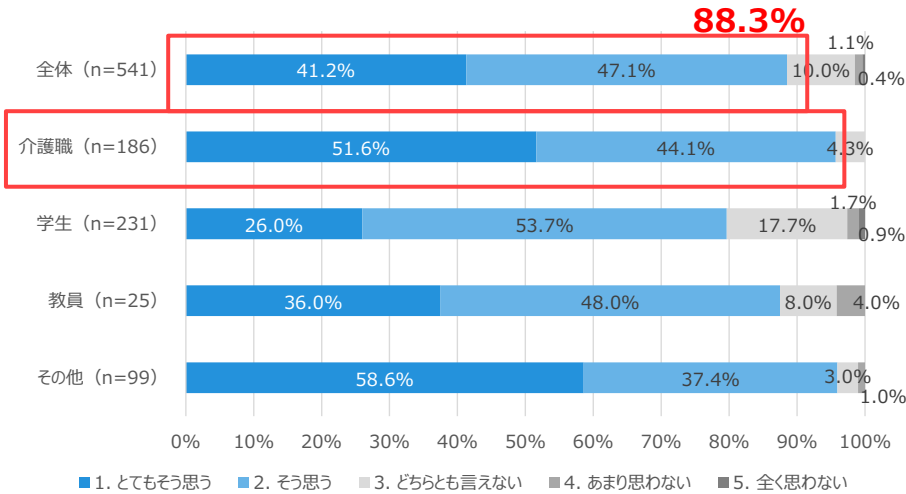
「介護の生理学」を現場での実践に取り入れようと思いましたか？



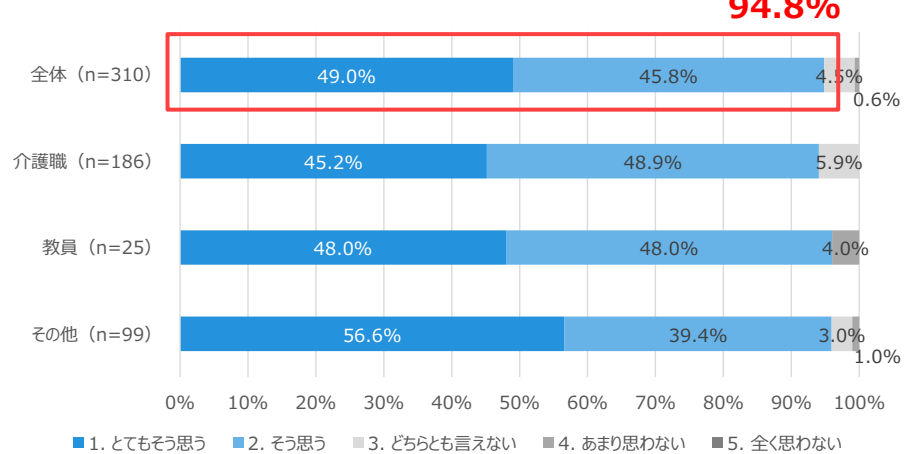
# 1-① 介護の生理学入門勉強会（アンケート結果）

- 入門勉強会を通じて、介護の生理学をもっと学びたいと思った参加者は全体の88.3%を占めており、介護職に至っては肯定的な回答の割合が**95.7%**となっている。
- また、介護職や教員を対象とした、職場内で学んだり深めたりしたいかという設問については肯定的回答の割合が**94.8%**と高くなっている。

「介護の生理学」をもっと学びたいと思いましたか？



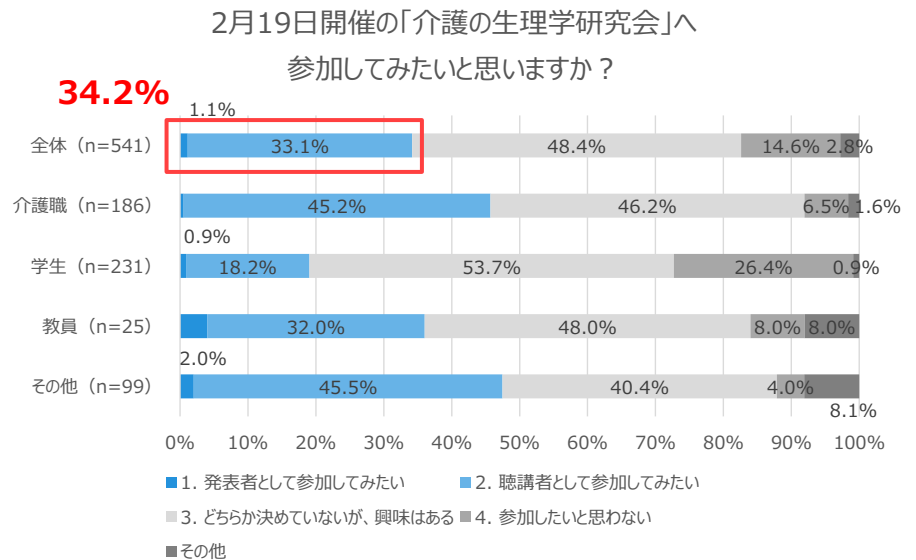
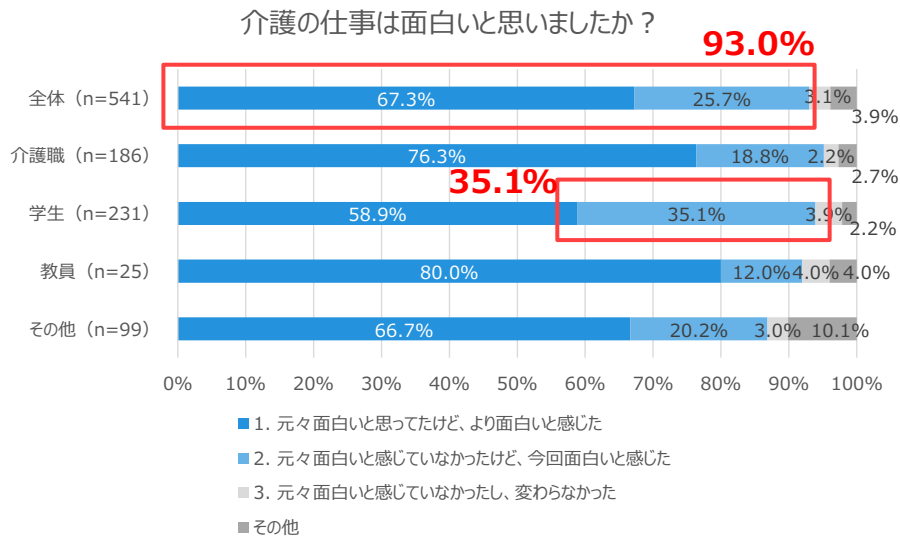
職場内でも、「介護の生理学」を学んだり、深めたりしたいと思いましたか？



# 1-① 介護の生理学入門勉強会（アンケート結果）

## ■ 生理学入門勉強会アンケート結果

- 介護の仕事に対する知的好奇心（面白いと感じたかどうか）は、「面白みが増した」という趣旨の回答が全体の93.0%を占めており、なかでも学生で「元々面白いと感じていなかったが、今回面白いと感じた」が**学生全体の35.1%**を占めており、学生にとっての魅力向上につながったと考えられる。
- また、参加者の**28.9%**が、**2月19日開催の介護の生理学研究会に参加してみたい**と回答しており、介護の生理学に関する取り組みに興味を持っていることがわかる。



※3月15日（火）の研修参加者に対しては、「介護の生理学研究会」が来年度開催された場合、参加してみたいと思いますか？」という設問にしている。

# 1-① 介護の生理学入門勉強会（アンケート結果）

## フリーコメント

3時間でも内容がとても濃く、今までの介護の概念が大きく変わりました。このようなプロフェッショナルとしての介護が広まれば、介護で働きたいと思う人も少しは増えるのではないかと感じました。未だに高齢者が好きだから、世話をしたいから、といった奉仕に近い発想が多く聞かれるように思いますが、こういった専門性を追求することで介護分野で働く人たちの地位も守られるのではないかと感じました。

スタッフにまず受けさせたいと思いました。ありがとうございました。

もっと深く学びたいと感じる。

入門編なのかもしれないが、これだけでもかなり知らない事が沢山あった。

ミトコンドリアや恒常性の話は、自分でも知れたことが大きいので学びを深めていきたいと感じる。

もっと聞きたい！職員にも聞かせたい！モチベーションがあがりました。

もともとある知識が、原理を知ることにより深いものになりました。

介護と看護は別物だと思っていましたが、通じているところがあり、お互いに情報共有をしながらチームとして支え合っていけることが一番理想的だと感じました。また、現場で実践していくために知っておくべき知識とクリエイティブな発想を併せ持って仕事ができれば楽しいだろうなと思います。

介護職の専門性が高い職種だとは感じていたが、生理学を学ぶことにより、エビデンスをもとに、より専門的なケアを提供できるのだと思った。

介護職員と一緒に受講させていただいた。ただ聞いているだけではなく考えなくてはいけないこともあり、楽しく受講することができました。

学びの多い時間をありがとうございます。職場内での介護について違和感を持っていたのですが、それは原理・本質・目的を飛ばして、手技・手法・システムが中心となっていることが原因なのではないかと気付きました。業務改善に活かしていきたいと思います。

学ぶ事の楽しさを再認識できました

職員全ての人に聞いてもらいたい内容だった

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

# 1-② 介護の生理学研究会（概要）

## 【実施のポイント】

- ・選ばれた計6組の発表者とは事前に複数回打ち合わせをし、発表内容がより聴講者にとって学びが深いものになるように改善を重ねた。
- ・これまで「介護の生理学」について触れたことがない人でも内容が理解できるように、冒頭で飯田大輔氏（社会福祉法人福祉楽団 理事長）による講演「介護とは何か？」を実施した。
- ・講演と各テーマの探求結果の発表だけではなく、審査員によるトークセッションを設け、今後の「介護のあり方」について前向きに考える機会となるように意識した。

【日 程】 2022年2月19日（土） 10:30-17:30

【開催方法】 東京会場 + オンラインのハイブリッド開催

※後日、YouTubeにてアーカイブ配信

## 【対 象】

- ・ 発表者：介護の生理学について学んだことがある方（介護の生理学入門勉強会や、マネジメントスタンダードプログラム for kaigo等の参加者）の個人またはグループ
- ・ 聴講者：介護職、介護職を志す学生、介護人材の確保・定着・育成の自治体担当者、介護に興味がある方など、さまざまな方

## 研究会スケジュール

時間	内容
10:30-10:40	開会
10:40-11:25	講演「介護とは何か？」 飯田大輔氏
11:35-15:05	6テーマの探究
15:15-15:40	審査員賞発表
15:50-17:25	審査員によるトークセッション 「介護について、今何を思うか」
17:25-17:30	閉会

# 1-② 介護の生理学研究会（概要）

## ● 飯田大輔氏講演「介護とは何か」

当日初めて「介護の生理学」に触れる参加者も理解ができるように、介護行為を生理学の視点で探求することが今求められる理由について、飯田大輔氏（社会福祉法人福祉楽団 理事長）による講演「介護とは何か？」を開催した。

### 研修資料（一部）

20220219\_介護の生理学研究

介護とは何か 一良い介護と生理学のつながりー

飯田大輔（いいた だいすけ）  
介護福祉士  
社会福祉法人福祉楽団 理事長  
京都大学こころの未来研究センター 連携研究員  
daisuke@gakudan.org

#### 1 情緒的な言葉だけで語られる「介護」

- (1) 親切や思いやり、熱心や誠実、利用者本位、「その人らしい暮らし」といった情緒的な言葉だけで説明され判断される介護は、誤った方向に導かれていくことも多い。
- (2) 真実の親切や思いやりは、「良い介護」を実現するところにある。

#### 2 「良い介護」とは何か。

- (1) 人間の心と身体には回復しようとする力（自然治癒力・生命力）が働いている。  
→ 病気を「回復過程」として見る  
→ 身体の中ではたらいっている「回復過程」（自然の治癒過程）をみる
- (2) その回復力・生命力が最大に発揮できるような状態に生活を整えること。または回復力・生命力の消耗を最小にするような状態に生活を整えること。
- (3) ゆえに、「良い介護」の実現のためには、人間の心と身体のおくみ（生理学・解剖学）がわかっていなければならない。

介護とは、回復過程が促進され、生命力の消耗を最小にするように生活を整えていく実践である。

#### 3 なぜ「介護の生理学」なのか。

- (1) 「介護の生理学」は、人間一般を理解しようとするものである。「その人らしさ」を理解することと同時に、人間一般を理解することは良い介護を展開するために必要不可欠である。

1

#### 3-1 体温と発熱の構造

体温と発熱の構造が理解されていなければ、発熱している利用者への良い介護は実現できない。

- ① 体温は部位によって異なる（核心温度と末梢の温度）
- ② 体温は1日の中で変化する（概日リズム）
- ③ 核心温度は37.0~37.5度である。
- ④ 四肢に向かって末梢になるにつれて低温となる。
- ⑤ 産熱→ふるえ・筋緊張・基礎代謝  
放熱→発汗・血管拡張・体表面積拡張

体温のセットポイント

体温を一定レベルに保とうとする機構

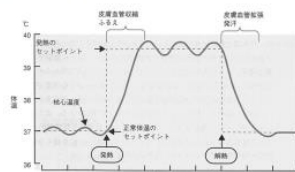


図3-1 発熱と調節

「人体の構造と機能 第5版」医学書院出版 356頁

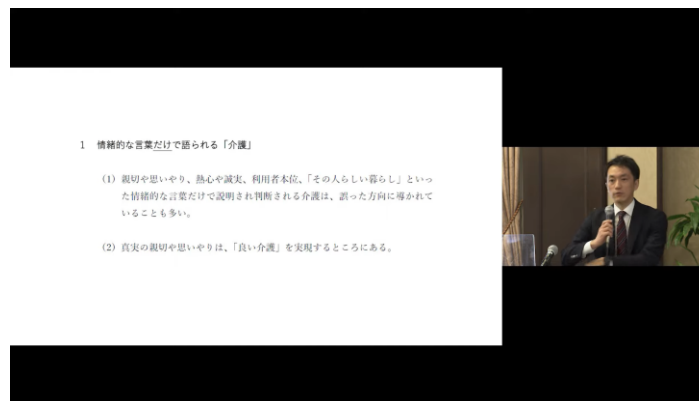
#### 3-2 水分の吸収

体液の電解質組成や水分の出納バランス、「物質の移動」のメカニズムがわからなければ適切な水分補給の介護はできない。

- ① 細胞内と細胞外の浸透圧は同じであるという大原則
- ② 生体内における物質の移動は、「拡散」と「浸透」を理解しておく
- ③ H<sub>2</sub>O（純水）を急速に吸収させるといふ行為を点滴で再現するには、殺菌し精製された水を点滴すればよいが、これは禁忌である。一水分が吸収できず血球は破壊されてしまう（非常に危険）
- ④ 人間の細胞外液の浸透圧は約280 mOsmであり、0.9%食塩水や、5%ブドウ糖溶液の浸透圧に等しい。
- ⑤ 人間は1日に2.2ℓの水分を摂取する必要がある。
- ⑥ 水分の吸収は、浸透圧（電解質や糖）と温度を整える必要がある。

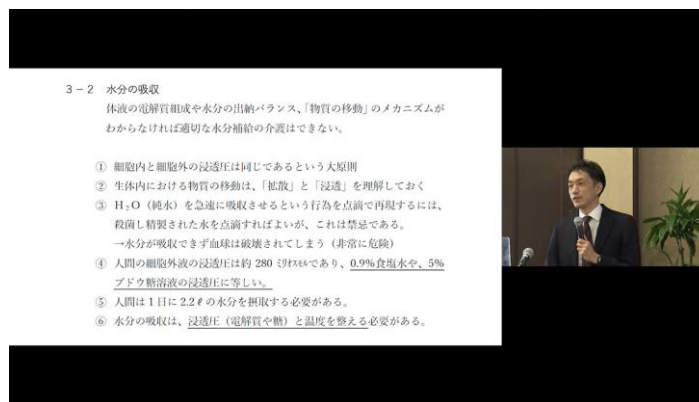
2

### 講演の様子



#### 1 情緒的な言葉だけで語られる「介護」

- (1) 親切や思いやり、熱心や誠実、利用者本位、「その人らしい暮らし」といった情緒的な言葉だけで説明され判断される介護は、誤った方向に導かれていくことも多い。
- (2) 真実の親切や思いやりは、「良い介護」を実現するところにある。



#### 3-2 水分の吸収

体液の電解質組成や水分の出納バランス、「物質の移動」のメカニズムがわからなければ適切な水分補給の介護はできない。

- ① 細胞内と細胞外の浸透圧は同じであるという大原則
- ② 生体内における物質の移動は、「拡散」と「浸透」を理解しておく
- ③ H<sub>2</sub>O（純水）を急速に吸収させるといふ行為を点滴で再現するには、殺菌し精製された水を点滴すればよいが、これは禁忌である。一水分が吸収できず血球は破壊されてしまう（非常に危険）
- ④ 人間の細胞外液の浸透圧は約280 mOsmであり、0.9%食塩水や、5%ブドウ糖溶液の浸透圧に等しい。
- ⑤ 人間は1日に2.2ℓの水分を摂取する必要がある。
- ⑥ 水分の吸収は、浸透圧（電解質や糖）と温度を整える必要がある。



# 1-② 介護の生理学研究会（概要）

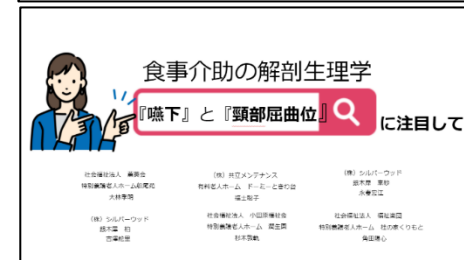
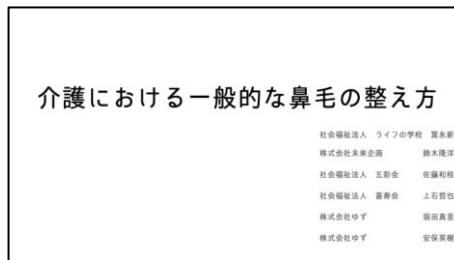
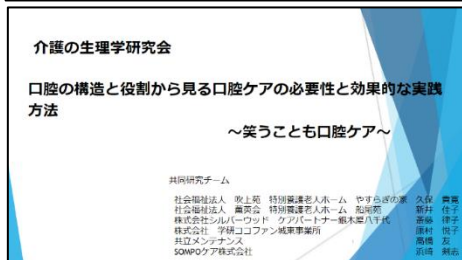
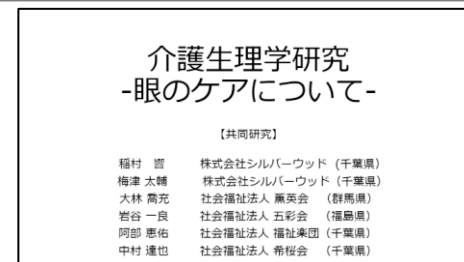
## ● 6テーマの探求

事前に介護の生理学について学び、それぞれが興味があるテーマについて生理学の視点で探求した結果を6組が発表した。

発表テーマ、グループメンバー

発表者

- |          |   |
|----------|---|
| ① 陰部洗浄   | <u>多田（福祉楽団）</u> 、福原（どりーむ）、増田（アイズケア）、白井（パソナライフケア）                          |
| ② フットケア  | <u>菅原</u> 、丸山、加藤、米田 <u>（結の樹）</u> 、雲谷、熊谷、 <u>舟守（菊花高校）</u>                  |
| ③ 眼のケア   | <u>岩谷（五彩会）</u> 、 <u>大林（薫英会）</u> 、稲村、梅津（シルバーウッド）、阿部（福祉楽団）、中村（希桜会）          |
| ④ 口腔ケア   | 久保（吹上苑）、新井（薫英会）、 <u>齋藤（シルバーウッド）</u> 、康村（学研ココファン）、高橋（共立メンテナンス）、浜崎（SOMPOケア） |
| ⑤ 鼻毛の整え方 | <u>富永（ライフの学校）</u> 、鈴木（未来企画）、佐藤（五彩会）、上石（喜寿会）、堀田、安保（ゆず）                     |
| ⑥ 嚥下     | 大林（薫英会）、福士（共立メンテナンス）、永妻、吉澤（シルバーウッド）、杉本（小田原福祉会）、 <u>角田（福祉楽団）</u>           |



## 1-② 介護の生理学研究会（概要）

### ● 審査員

- 飯田大輔 社会福祉法人福祉楽団 理事長
- 金井一薫 ナイチンゲール看護研究所 所長
- 堀田聰子 慶應義塾大学大学院 教授（認知症未来共創ハブリーダー）
- 佐々木淳 医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長
- 菊井徹也 一般社団法人高齢者住宅協会 副会長（SOMPOケア株式会社 取締役執行役員）
- 石田路子 高齢者社会をよくする女性の会 理事（介護給付費分科会委員）
- 松岡宗嗣 一般社団法人fair 代表理事
  
- コーディネーター  
下河原忠道 株式会社シルバーウッド 代表取締役

# 1-② 介護の生理学研究会（概要）

## ● 審査委員によるトークセッション「介護について、今何を思うか」

審査委員が2グループに分かれ、「介護について、今何を思うか」をテーマにトークセッションを行った。



# 1-② 介護の生理学研究会（広報）

## 協力団体を通じた広報

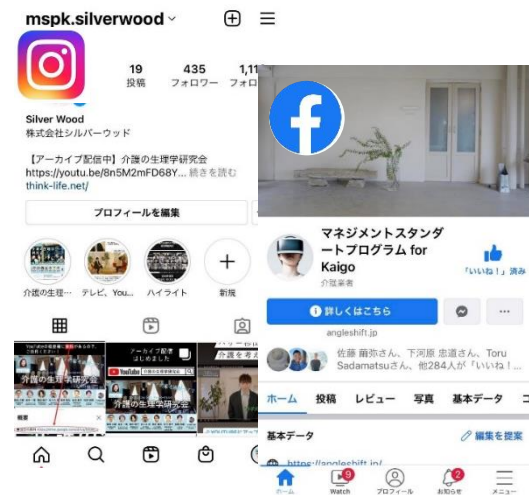
「介護の生理学研究会」のチラシを作成し、業界団体、職能団体や都道府県に協力いただき、広く全国に対して周知を行った。

協力先	周知方法
公益社団法人 全国老人福祉施設協議会	・チラシ配布（11,000部） ・メールマガジン
社会福祉法人 全国社会福祉協議会	・チラシ配布（8,050部）
公益社団法人 日本認知症グループホーム協会	・ホームページへの掲載
一般社団法人 高齢者住宅協会	・チラシ配布（6,000部） ・メールマガジン
公益社団法人 全国有料老人ホーム協会	・ホームページ掲載
佐賀県	・県内介護事業所への周知（メール）
香川県	・県内介護事業所への周知（メール）
山形県 高齢者支援課	・県内介護事業所への周知（ホームページ掲載）
奈良県 長寿・福祉人材確保対策課	・県内介護事業所への周知（ホームページ掲載）
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会	・加盟校328校へのチラシ配布
全国福祉高等学校長会	・加盟校193校へのチラシ配布

# 1-② 介護の生理学研究会（広報）

## シルバーウOODのチャンネル等を通じた広報活動

### SNSでの告知



### 介護ビジョン 記事広告



実施先	周知方法
シルバーウOODの研修の過去参加者	・メールマガジン（3,793件）
行政の介護人材確保担当者	・チラシ配布（106部）
シルバーウOODのマネジメント研修参加者	・メールマガジン（700件）
シルバーウOOD Facebook告知	・案内投稿
シルバーウOOD Instagram告知	・案内投稿
PR TIMES	・プレスリリース（1/19、2/16配信）
月刊誌「介護ビジョン」	・記事広告

## 1-② 介護の生理学研究会（実施結果 参加状況）

- 当初当日の聴講者数は200名程度を想定していたが、事前の参加申込数は1,283名、当日の聴講アカウント数は797を記録した。
- 全国の介護施設で新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく出ている時期で、また7時間という長時間のイベントにもかかわらず、常時500アカウント近くが全国から聴講するイベントとなった。

	想定(名)	参加申込(名)	達成率	聴講 アカウント数
聴講申込人数	200	1,283	645%	797

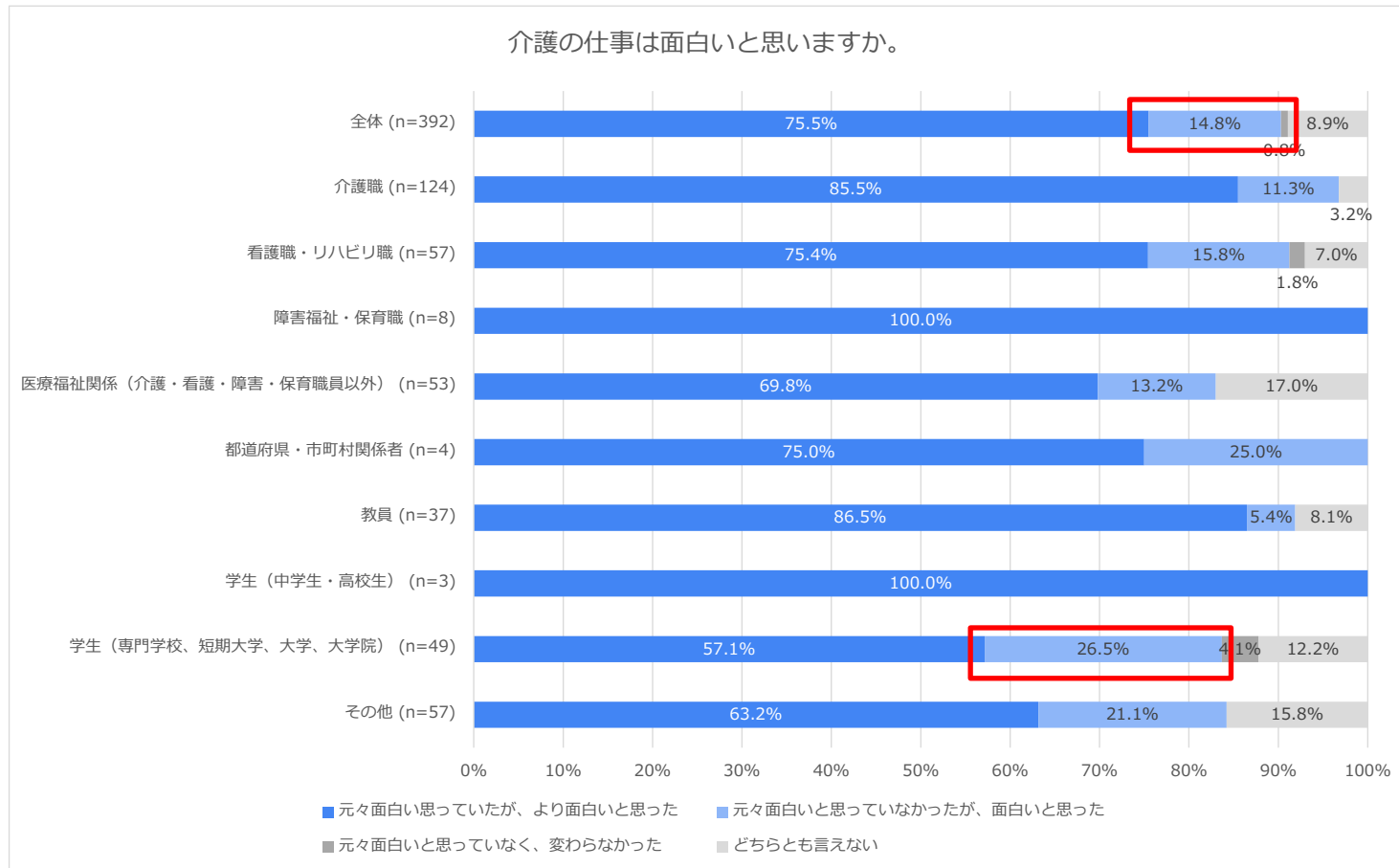


## 1-② 介護の生理学研究会（目標の達成度）

アウトカム	指標	データ収集方法	目標（判断基準）	目標達成度
介護の生理学入門勉強会への参加者が介護の生理学研究会にも参加する。	「介護の生理学入門勉強会」への参加者が、「介護の生理学研究会」への参加につながったか。	生理学研究会時のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	
参加者が介護の生理学の必要性を認識する。	参加者の介護の生理学に対する理解が深まったか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 91.2%
	参加者が介護の生理学が必要だと感じたか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 99.4%
	参加者が介護の生理学を実践しようと思ったか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 93.4%
参加者の介護の仕事に対する知的好奇心が高まる。	参加者の介護に関する知的好奇心が高まったか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 90.3%
	参加者がもっと介護の生理学を学びたいと思ったか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 98.9%
	入門勉強会には、参加者が現場で活かせる学びがあったか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	達成 99.4%
参加者が介護の生理学について職場内で継続的に学び合う土壌をつくる。	参加者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めたいと感じたか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	
	参加者が、法人内で介護の生理学を継続的に深めるための行動を起こしたか。	研修前後のアンケート調査	4段階評価で肯定的な回答が80%以上	

# 1-② 介護の生理学会 (アンケート結果)

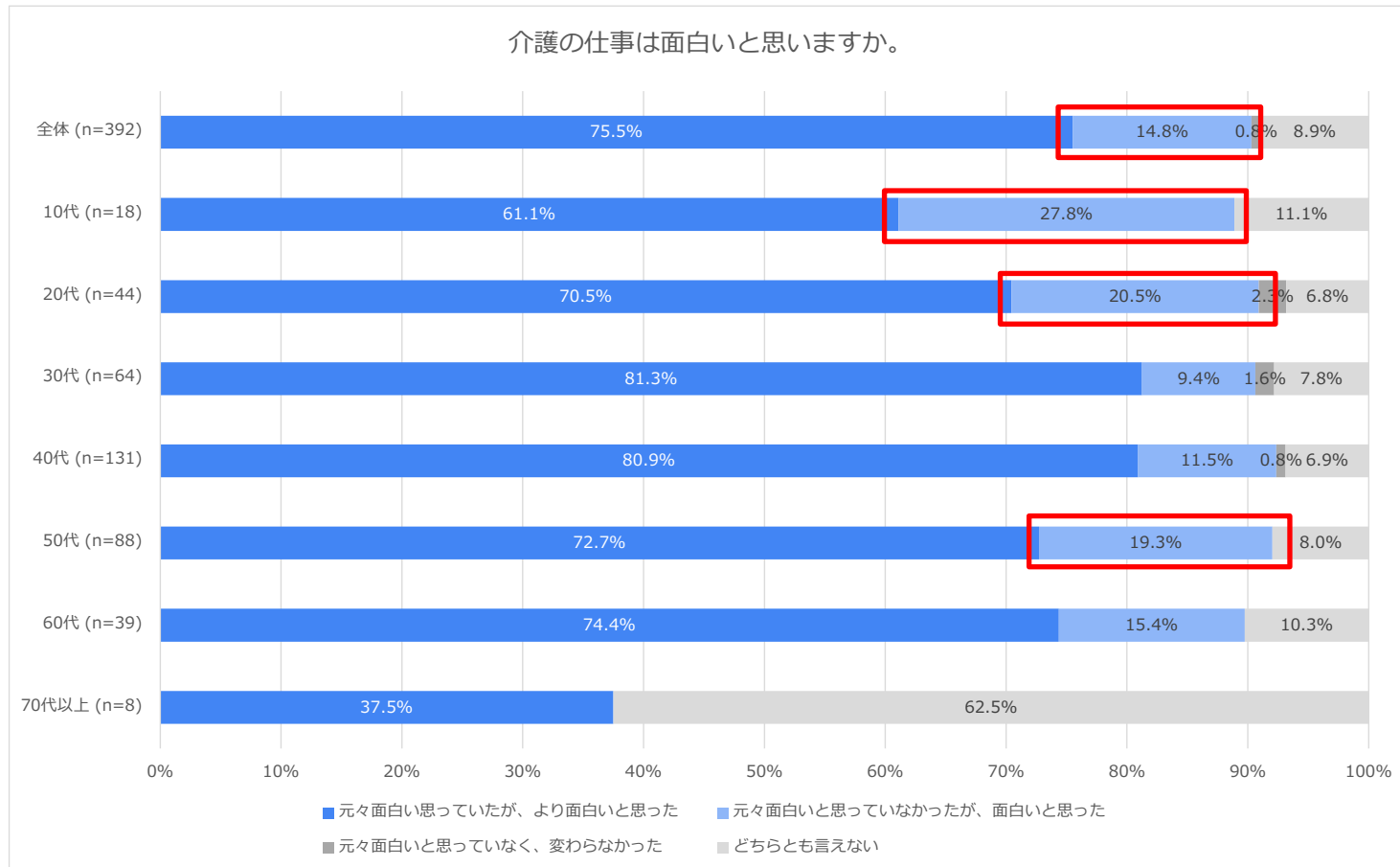
- 介護の仕事を面白いと思ったか(思うか)を職種別に示している
- 「元々面白いと思っていなかったが、面白いと感じた」割合は全体で14.8%で、**学生(専門学校、短期大学、大学、大学院)で26.5%**と特に高くなっている。
- 「元々面白いと思っていたが、より面白いと思った」を含めると90%以上の聴講者が面白さを感じており、**聴講者が介護の仕事に対して抱いている面白さに意識変容があった**と考えられる。





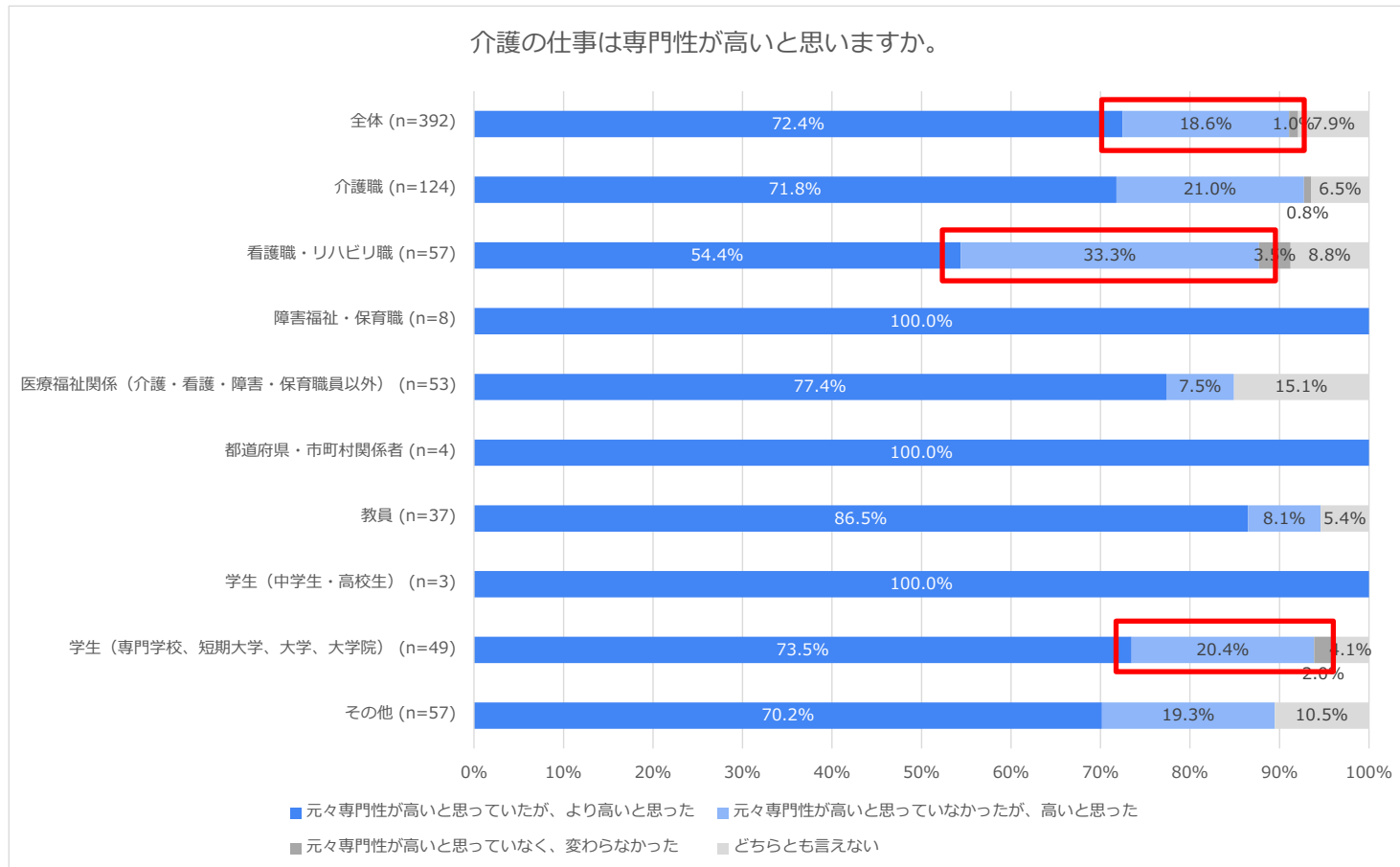
# 1-② 介護の生理学会 (アンケート結果)

- 介護の仕事を面白いと思ったか(思うか)を年齢世代別に示している。
- 「元々面白いと思っていなかったが、面白いと感じた」割合は聴講者全体で**14.8%**であった。これを年代ごとにみると、**10代で27.8%、20代で20.5%**と高く、特に**若者がより介護の面白さを感じることができた**と考えられる。
- 上記の割合は10代、20代に次いで50代が多くなっており、一般であれば両親の介護、介護従事者であれば自身の業務に照らし合わせて、**新しいケアの視点に対して面白さを感じた可能性**がある。



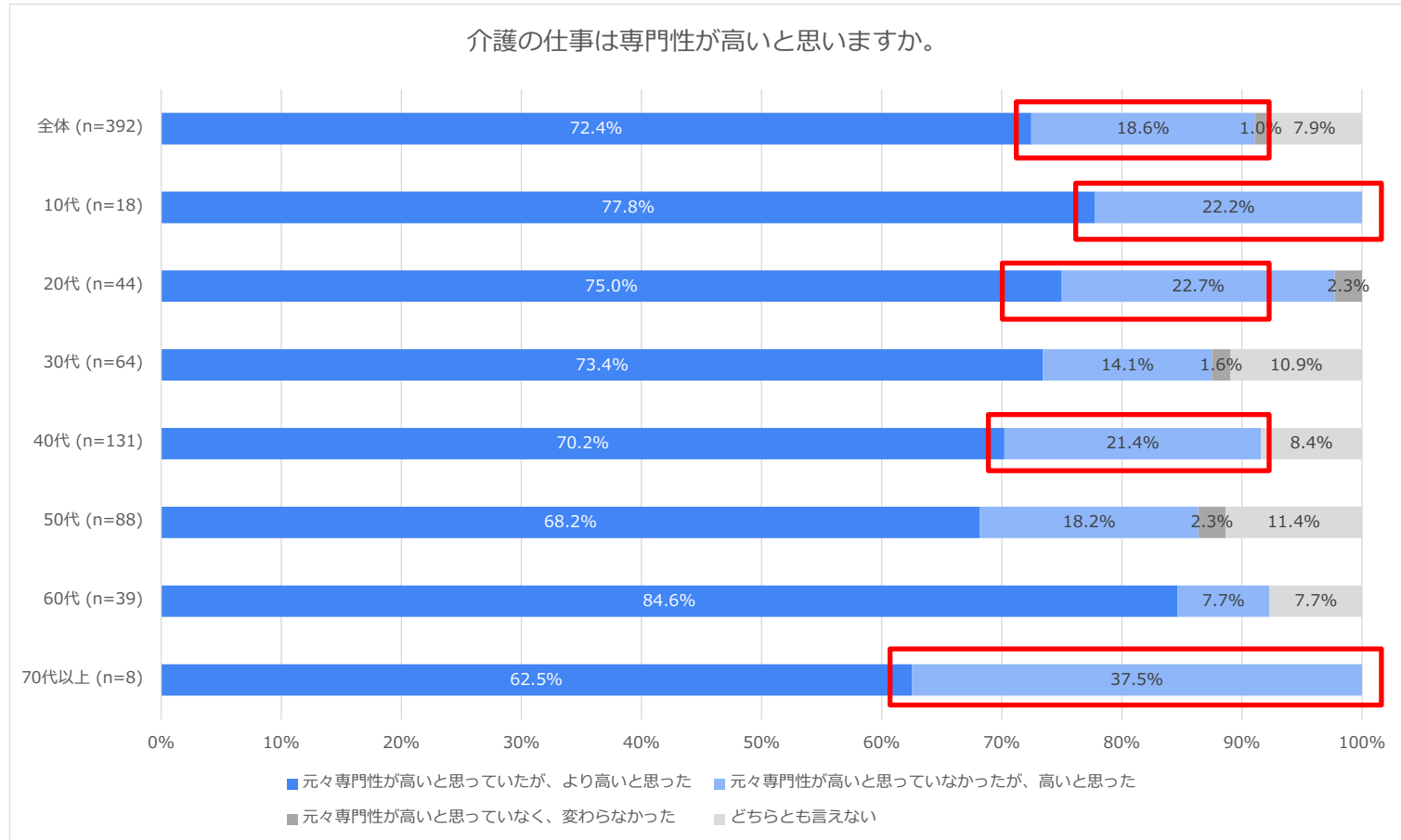
# 1-② 介護の生理学研究会（アンケート結果）

- 介護の仕事は専門性が高いと思ったか（思うか）を職種別に示している。
- 「元々高いとっていなかったが、高いと感じた」割合は**全体で18.6%**で、特に**看護職・リハビリ職の割合が33.3%**と高くなっている。**看護職・リハビリ職からの介護の仕事に対する見方が変わった可能性**がある。
- 上記割合は次いで**学生（専門学校、短期大学、大学、大学院）で20.4%**と高く、学生にとって、**専門性に関するイメージ向上につながった**と考えられる。



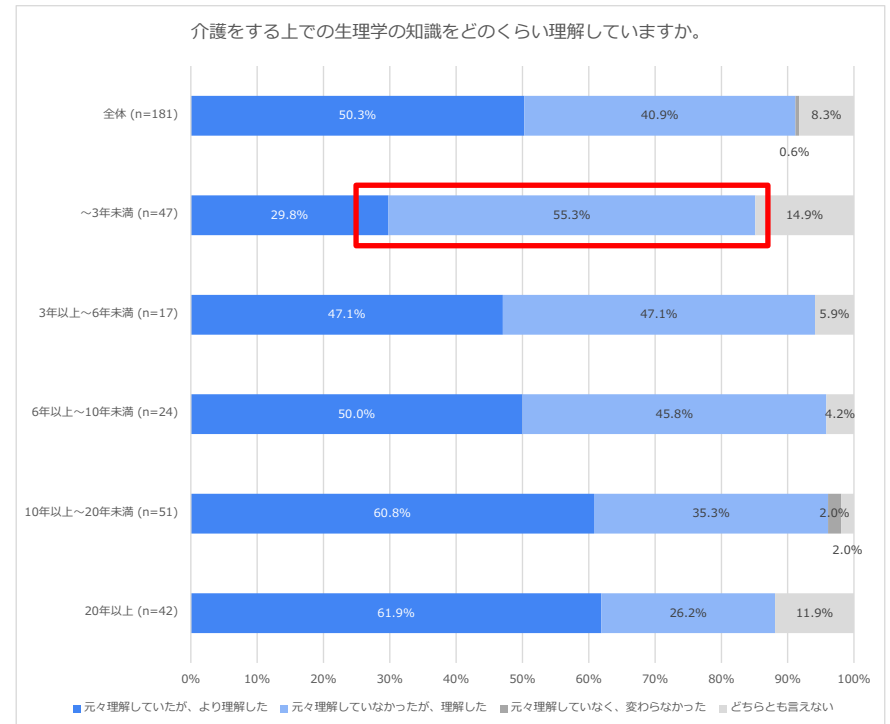
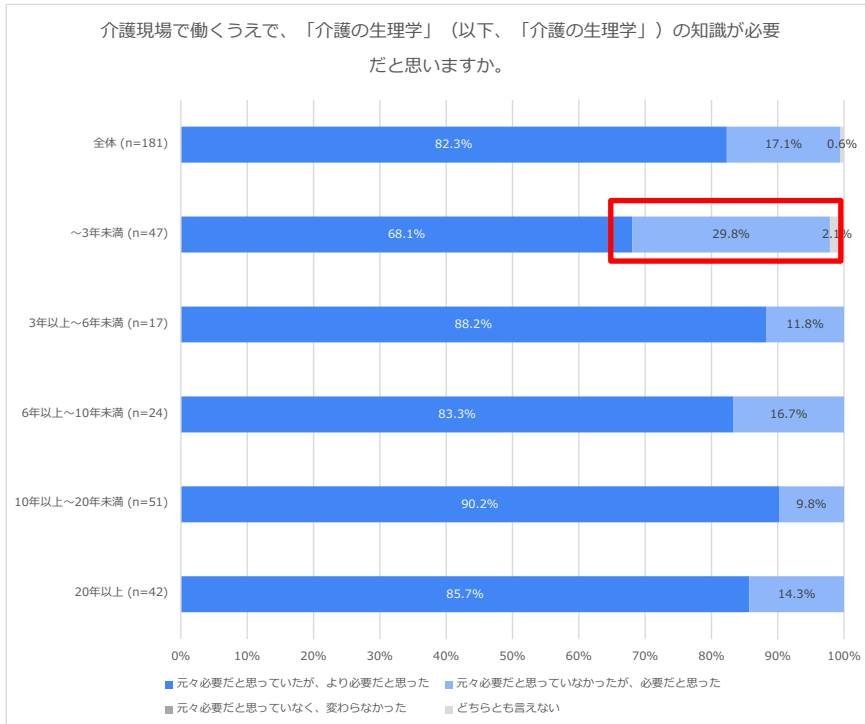
# 1-② 介護の生理学研究会（アンケート結果）

- 介護の仕事は専門性が高いと思ったか（思うか）を年齢世代別に示している。
- 「元々高いとっていなかったが、高いと感じた」割合は**全体で18.6%**で、人数の差はあるが、10代、20代、40代、70代以上で**20%以上**と特に高くなっている。
- これらから、**若手世代にとっての専門性の捉え方に変容があり、他の世代でも一定の変容があった**ことが伺える。



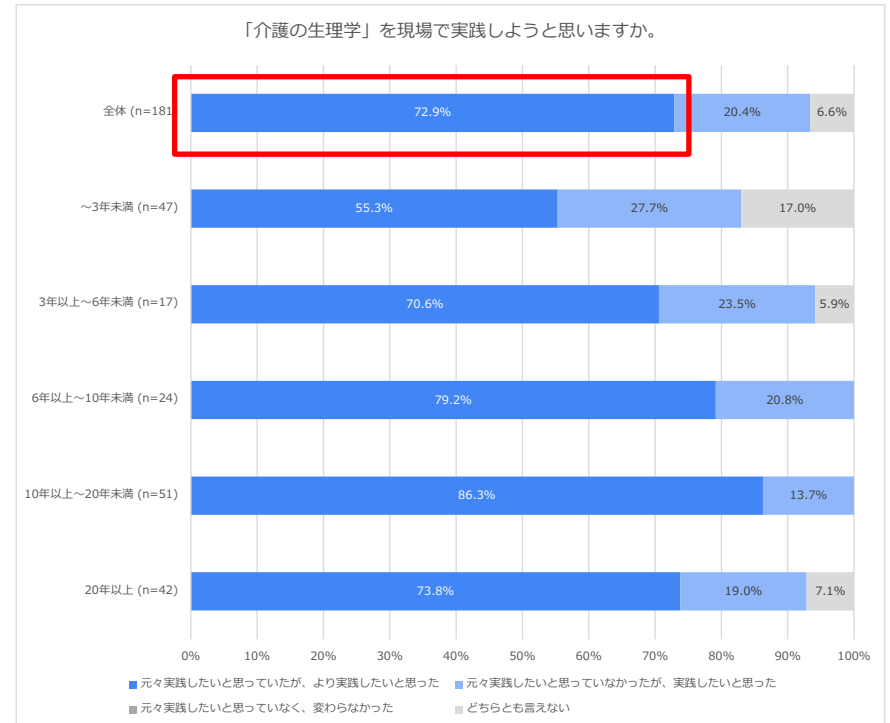
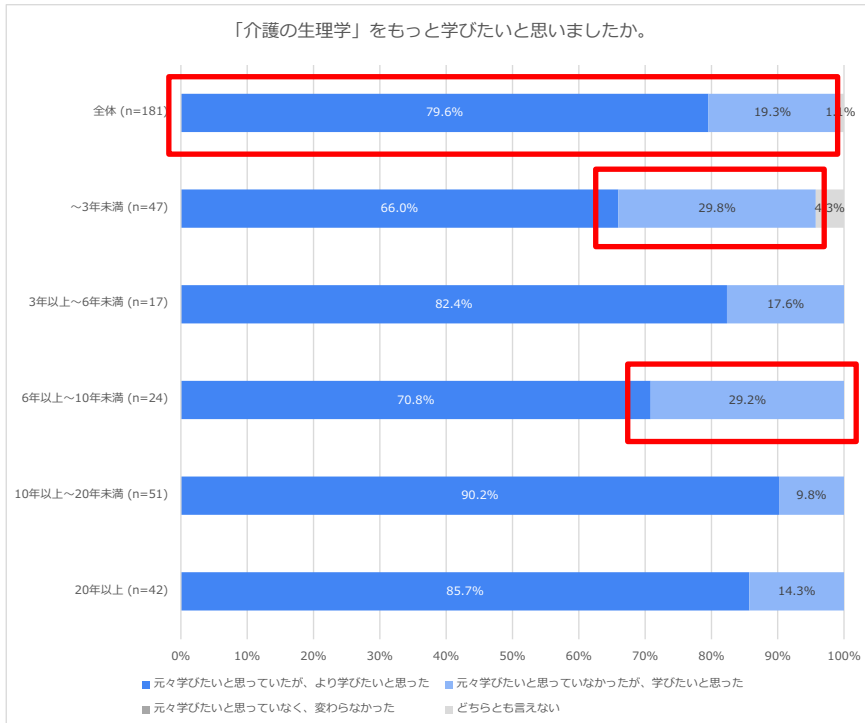
# 1-② 介護の生理学会（アンケート結果）

- 「介護現場で働く上で、介護の生理学の知識が必要だと思ったか」については、介護職の約98%が必要性を感じており、「元々必要だと思っていたが、必要だと思った」が17.1%を占めている。経験年数が3年未満の介護職においては29.8%と高くなっており、特に現場経験が浅い参加者が介護の生理学の必要性を感じていることが伺える。
- 「介護をする上での生理学の知識をどのくらい理解していますか」については、介護職の約40%が「元々理解していなかったが、理解した」と回答しており、中でも経験3年未満の割合が55.3%と高くなっている。これらから、聴講者の大部分の理解度向上につながり、特に現場経験が浅い聴講者の理解度が高まったことが伺える。



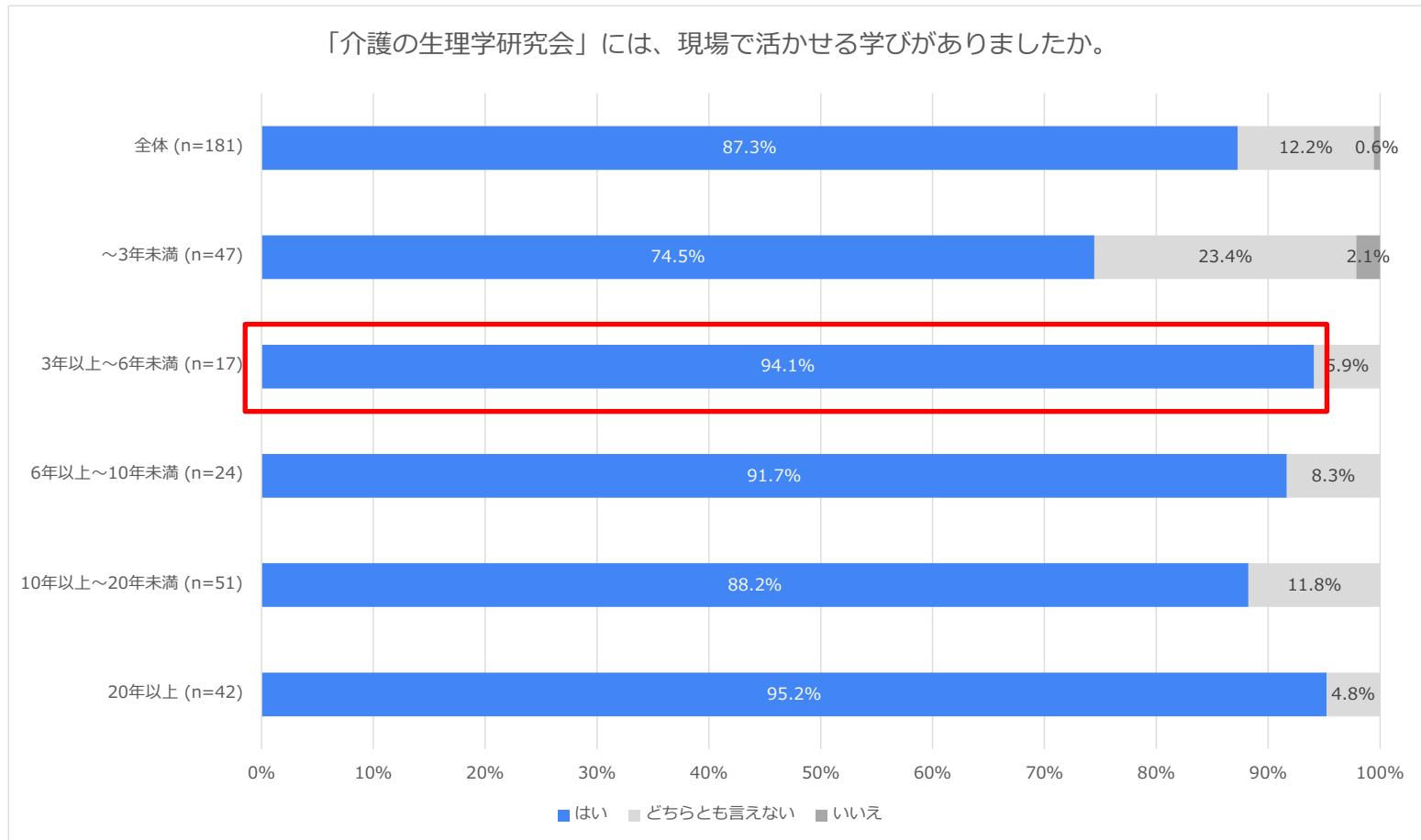
# 1-② 介護の生理学研究会（アンケート結果）

- 「介護の生理学をもっと学びたいと思ったか」については、介護職の約99%が肯定的に回答しており、特に「元々学びたいと思っていたが、学びたいと思った」が19.3%を占めている。経験年数が3年未満の介護職で29.8%、経験年数が6年以上10年未満の介護職で29.2%と高くなっており、現場経験が浅い参加者、ある程度業務の応用段階に入っている参加者が、学びに対して前向きになっていることが伺える。
- 「介護の生理学を現場で実践しようと思ったか」については、「元々実践したいと思っていたが、より実践したいと思った」の回答割合が経験年数に応じて高まる傾向にあり、実践への思いを強めるきっかけになったと考えられる。



## 1-② 介護の生理学研究会（アンケート結果）

- 「介護の生理学研究会には、現場で活かせる学びがあったか」については、介護職の87.3%が肯定的に回答しており、特に経験年数が3年以上6年未満の参加者で94.1%と肯定的回答の割合が高かった。
- これらから、ある程度ケアの応用段階に入っている参加者にとって、特に現場で活かせる学びが多かったと考えられる。



# 1-② 介護の生理学会 (アンケート結果)

- ・ 聴講者から300件を超えるフリーコメントの感想が寄せられました。

フリーコメント
22年間、介護保険制度上の介護業務に関わってきたが、 <b>介護職の魅力を伝えるイベントは数あれど、これほどインパクトのあるアピールとは出会えなかった。</b> 発表者を育てる土壌、コメンテーターのレベルの高さ、運営スタッフの熱意…すべてにおいて聴衆として参加できたことに感謝を述べたい。
長時間でしたが、全く飽きず、聞かせていただきました。 <b>特に若手介護士の発表は未来が明るいです。</b> ある意味介護士達が、生理学という新しい視点をもったので、それをケアプロセスに落とし込み、成果を出していくという、来年の研究発表会を楽しみにしたいと思います。
学びが楽しい、と感じられるためには、心が動かされることが必須であると思います。今日は <b>久しぶりに心が動かされました。</b> なぜかと考えると、日頃の何気ない行為に意味や原理原則があると知り、それが単純ではないとわかったからであると思います。「知りたい」という欲求を、職場や介護業界に伝播しより質の高い介護実践が行われること、教育に反映されることを切に願い、私自身も明日からの実践に生かしていきたいと感じました。
本会を開催していただきありがとうございました。 <b>介護の魅力発信事業として、目的に沿った素晴らしいものだと感じました。</b> 介護の生理学会、勉強会の機会を、もっと多くの地域、市町村や都道府県などで開催してほしいです。 もちろん、今やオンラインで様々な地域とつながることができますが、まずは身近なところから発信していくのも良いかと思います。私のいる千葉県や千葉市でも様々な魅力発信事業や介護職の定着事業などをしていますが、本会のような、本当に介護を魅力に感じる催しはなかったです。とても良い勉強になりました。ありがとうございました。
<b>コロナでクラスター発生中の夜勤明けで帰宅し、このZoomを見て元気と言うか仕事に対するやる気を頂きました。</b> 出来る事から少しずつ！！職場の間と共有していければと思いました。素敵な研究会をありがとうございました。
本研究会を通して、介護の仕事の専門性について理解を深めることができました。とても奥深い仕事であるということを知ったことで、「 <b>介護の仕事は専門性が高く、面白い仕事なんだ</b> 」と感じるようになりました。前半の発表、後半のトークセッションともに大変面白かったです。また、オンラインならではのかもしれませんが、チャットに聴講者の方から意見や感想が沢山投稿されており、そちらも興味深く拝見しておりました。3月の入門勉強会にも参加させていただきたいと思います。本研究会への参加のきっかけは私自身が仕事として魅力発信等事業に関わっていたという理由もありますが、一人として介護について学ぶ良い機会となりました。本日はこのような機会をいただき、誠にありがとうございました！
<b>素晴らしかった。</b> やはり自分ももっと探求していきたいと感じたし、このような職種に携われていること、介護を変えていけることに誇りを持っていける。この職種は魅力あることをこれからももっと伝えていければと思う。また来年度もお願いします。
<b>継続して欲しい。</b> 専門職だけではなく、一般人、また子供達などにも機会があれば良いのになあと思う。介護であって、自分事であるから。自分事という視点が出来ると、他者への介護という思考が生まれると思う。
知人から、面白いのでは是非と進められて聴講いたしました。途中からとなってしまったこと、業務中であったことが、大変残念でした。配信がありましたら、じっくり見させて頂きたいと思います。ありがとうございました。
シルバーウッドさんの勉強会、参加2回目です。ケアをするうえでおさえておきたい生理学視点の知識、それがどんな状況でも活用できるように知識を知識に変換できる創造力を育てることが必要だと思いました。大学で介護の養成にかかわっています。 <b>今日私が学んだことを授業に活用し具体的な実践の場面を想定して介護の魅力を少しでも伝えたいと本気で思いました。</b> 介護の楽しさ、おもしろさ 人間っていいなって思える素敵な介護福祉士になるきっかけ作り、しかけをします。学ぶことの楽しさを自分自身で育てて受けるような人になってほしいって。会の企画構成準備等 スタッフの皆さん本当にお疲れさまでした。 <b>コロナ禍で疲れていたり思うように介護ができない状況の中、力をもらえた人たちが沢山いたと確信しています。</b>
<b>今まで受けた研修の中では最も面白く、人に伝えたいくなるような内容の研修でした！</b> 今後もこのような研修があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

# 1-② 介護の生理学研究会（アーカイブ配信）

- アーカイブ配信を希望する声が多く寄せられたため、当日の様様をアーカイブ配信用に編集しYouTubeで配信した。
- 2022/3/15公開 3,000回再生 89いいね（2022/3/30現在）



検索



#介護 #介護福祉士 #介護の生理学

介護の生理学研究会 -生理学の視点からケアの実践に至るまでの思考過程を探求-  
(2022年2月19日開催)

3,000 回視聴 • 2022/03/15

👍 89 🗨️ 低評価 ➦ 共有 📄 クリップ ⌵ 保存 ...

<https://www.youtube.com/watch?v=8n5M2mFD68Y>





# 1-② 介護の生理学研究会 (SNS等の反響)

- 研究会当日は「#介護の生理学研究会」というハッシュタグが出現し、聴講者同士が感想を発信し合う様子が見られた。
- 研究発表に参加した高校生がメディアに取材された。

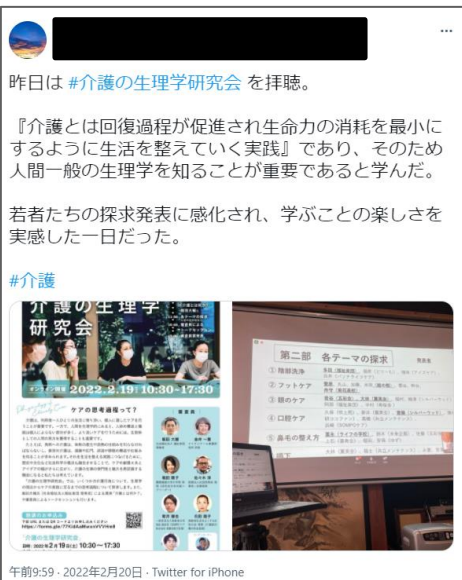
## ■ Twitterでの反響

昨日は #介護の生理学研究会 を拝聴。

『介護とは回復過程が促進され生命力の消耗を最小にするように生活を整えていく実践』であり、そのため人間一般の生理学を知ることが重要であると学んだ。

若者たちの探求発表に感化され、学ぶことの楽しさを実感した一日だった。

#介護



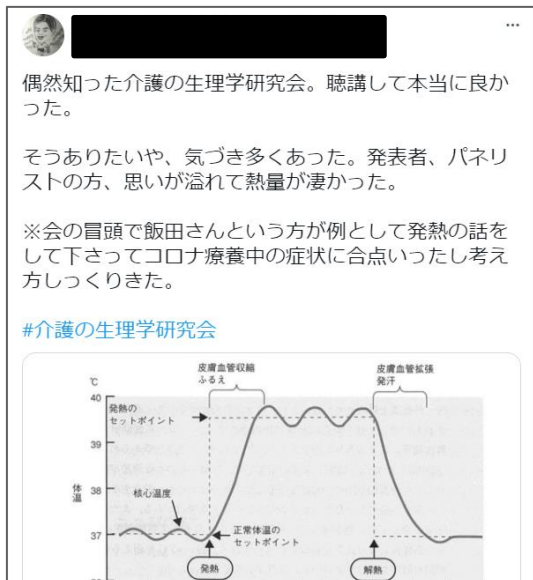
午前9:59 · 2022年2月20日 · Twitter for iPhone

偶然知った介護の生理学研究会。聴講して本当に良かった。

そうありがたいや、気づき多くあった。発表者、パネリストの方、思いが溢れて熱量が凄かった。

※会の冒頭で飯田さんという方が例として発熱の話をして下さってコロナ療養中の症状に合点いったし考え方しっくりきた。

#介護の生理学研究会



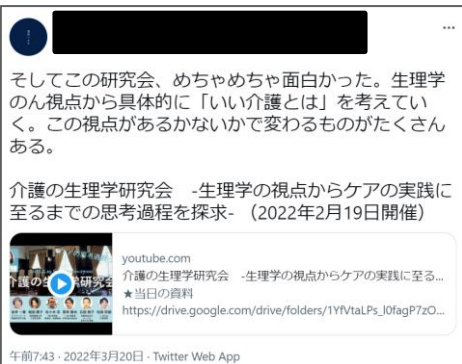
The graph shows body temperature (体温) on the y-axis (36°C to 40°C) and time on the x-axis. It illustrates the process of fever (発熱) and recovery (解熱). Key points include:
 

- Normal body temperature set point (正常体温のセットポイント) at approximately 37°C.
- Onset of fever (発熱) where the temperature rises above the normal set point.
- During fever, there is vasoconstriction of skin blood vessels (皮膚血管収縮) to conserve heat and sweating (発汗) to cool down.
- Recovery (解熱) where the temperature returns to the normal set point.

午後2:46 · 2022年2月19日 · Twitter for iPhone

そしてこの研究会、めちゃめちゃ面白かった。生理学の視点から具体的に「いい介護とは」を考えていく。この視点があるかないかで変わるものがたくさんある。

介護の生理学研究会 -生理学の視点からケアの実践に至るまでの思考過程を探求- (2022年2月19日開催)



youtube.com  
介護の生理学研究会 -生理学の視点からケアの実践に至る...  
★当日の資料  
https://drive.google.com/drive/folders/1YfVtaLpS\_J0fagP7zO...

午前7:43 · 2022年3月20日 · Twitter Web App

#介護の生理学研究会  
楽しみにしておりましたが急遽、急ぎの新規相談と初回訪問が入り途中からの参加\\(//▽//\\)

実に深い、深過ぎるきちんと生理学を極めた上でのケアについてのポイントを抑えることができる\\(//▽//\\)

午後2:46 · 2022年2月19日 · Twitter for iPhone

## ■ 研究発表に参加した高校のツイート

菊華高等学校 保育・福祉コース【公式】 @kikuka\_hf2019 · 3月26日  
こんにちは、#菊華高校 保育・福祉コースです！

『📺プレゼント取材📺』

本日、ノッポさんにお越しいただき、介護情報誌プレゼントの取材をコースの生徒にさせていただきました。

取材内容は先日、研究発表に参加させていただいた「介護の生理学発表会」🌟🌟🌟



🗨️ 1    🔄 2    ❤️ 15    📤

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

## 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業（全体像）

### ●事業の目的

- 根拠に基づいた介護を実践するために「介護の目的と原理」を学ぶ。
- 組織で介護技能の向上やチームケアを推進していくための組織マネジメントの基礎を学ぶ。

### ●なぜ組織マネジメントなのか

介護業界における人材不足を改善するためには新たに介護職として働く人を増やすだけでなく、介護現場が継続して働きたいと思える職場に変化していくことが重要である。その為に介護事業所のマネジメント層（経営者・管理者・現場リーダー）が、良いケアを提供するための考え方、組織の導き方、職員間の対話や離職防止等を推進するための手法について学びを深めるための「マネジメントスタンダードプログラムfor kaigo」のプログラムを作成した。また研修受講後、職場での実践を通して、得た気づきや悩みについて、フォローアップする機会し、更なる学びの深耕と実践のサポートを図る「フォローアップ研修」（事業1と連動）も実施した。

### ●実施対象者

#### ①マネジメントスタンダードプログラム for kaigo

- 介護事業所のマネジメント層（経営者・管理者・現場リーダー）

#### ②フォローアップ研修

- ①マネジメントスタンダードプログラム for kaigoの参加者
- 事業1-①介護の生理学入門勉強会の参加者
- 事業1-②介護の生理学会の参加者

## 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業（全体像）

### ●実施内容

#### ①マネジメントスタンダードプログラム for kaigo

【介護の目的と原理】（6時間×3日間）と【組織マネジメントの基礎】（6時間×3日間）、計6時間×6日間のプログラムを実施。前半4日間と後半2日間の間に1か月のインターバルを設け、学んだ内容を一度現場に持ち帰り、自身で課題に取り組むことで研修で学んだ内容を深掘りしたり、学んだマネジメントの基礎の知識をもとに現場の課題解決にチャレンジし、実践した内容を発表し合う場を作ることで、ただ学ぶだけではなく、実践につながりやすい内容とした。

#### ②フォローアップ研修

研修や研究会参加後、職場での実践を通して、得た気づきや悩みについて、フォローアップする機会とした。

### ●効果測定の方法

#### ・介護の目的と原理・組織マネジメント研修を通じた魅力発信

対象：2-①、2-②研修参加者

内容：研修参加者の介護の目的と原理の理解と、組織マネジメントへの意識変容及び行動変容

手法：アンケートの実施

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（概要）

### 【実施のポイント】

- ・前半 4 日間と後半 2 日間の間に 1 か月のインターバルを設け、間の期間で前半で学んだ内容を実践し後半で発表し合う時間を作ることで、「研修に参加して終わり」ではなく、実践につながりやすい構成とした。
- ・当初現地開催ならでの研修への没入感と一体感を重視し、原則現地参加としていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響からオンラインでの参加も可とするハイブリッド型の開催方法とした。

- 【日 程】・A日程（大阪開催）：①2021年11月20日（土）、②11月21日（日）、③11月27日（土）  
④11月28日（日）、⑤2022年1月22日（土）、⑥1月23日（日）
- ・B日程（東京開催）：①2021年12月4日（土）、②12月5日（日）、③12月11日（土）  
④12月12日（日）、⑤2022年1月29日（土）、⑥1月30日（日）

【開催方法】 6日間コース×2箇所 現地開催（大阪会場・東京会場） + オンライン

【対 象】 介護・福祉事業所の経営者、管理者、現場リーダー

## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（研修内容）

### 【研修内容（1日目・2日目 介護の目的と原理）】

- ・ 介護の原理や一般性を問い、介護における「理論」や「科学」を理解することができるプログラムの研修を行った。また、グループ学習では、各グループがそれぞれテーマを持ち、次回の研修時に発表する構成とすることで、各人が「介護の生理学」を学習できるきっかけづくりとした。

#### 研修プログラム

時間	内容
1日目	
10:00-11:00	イントロダクション
11:10-12:10	介護の成り立ち
13:00-14:30	介護の視点でみる病気
14:40-15:40	介護の目的を理解する1
15:50-16:40	介護の目的を理解する2
16:40-17:00	質疑応答
2日目	
10:00-11:00	ケアの視点で人間をみる
11:10-12:00	対象論各論（新鮮な空気）
13:00-14:30	対象論各論（皮膚の清潔・終末期ケア）
14:40-15:30	グループ学習について
15:40-16:40	介護における観察
16:40-17:00	質疑応答

#### 研修資料（一部）

##### #7

看護とは、新鮮な空気、陽光、暖かさ、清潔さ、静けさを適切に整え、これらを活かして用いること、また、食事の内容を適切に選択し適切に与えること—こういったことのすべてを、患者の生命力の消耗を最小にするように整えること、を意味すべきである。

F・ナイチンゲール／看護覚え書

##### #9

ケアのものさし

- ① 生命の維持過程（回復過程）を促進する援助
- ② 生命体に害となる条件・状況を作らない援助
- ③ 生命力の消耗を最小にする援助
- ④ 生命力の幅を広げる援助
- ⑤ もてる力・健康な力を活用し高める援助

金井一薫／ケアの原形論



## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo (研修内容)

### 【研修内容 (3日目・4日目 組織マネジメント)】

- 組織マネジメントの原理原則を学び、介護現場における課題と結びつけることができる体系的なプログラムの研修を行った。介護現場で起きうる組織マネジメント上の課題をケースメソッドとして取り上げ、VR体験によって自分ごと化し、解決法を能動的かつ実践的に探ることができる構成とした。また、体験後、様々な事業者の管理者同士が同じ課題で解決に向けた議論を交わすことで、様々な視点を獲得し、参加者自身の日々のマネジメントのあり方を振り返ることができる内容とした。

### 研修内容

時間	内容
3日目	
10:00-11:10	オリエンテーション・相互理解
11:20-12:50	ケアフルカード
13:40-14:50	マネジメントの理解促進演習 個人ワーク・GW
15:00-16:20	マネジメントの理解促進演習 全体セッション・解説
16:30-17:00	VRケーススタディ 1
4日目	
10:00-11:20	チームと対話
11:30-12:30	VRケーススタディ2
13:40-14:40	VRケーススタディ3
14:50-16:20	コーチング
16:30-17:00	持ち帰りWORKについて

### 研修資料 (一部)

マネジメントの理解促進ワーク例

#### 受当解の解説 1

管理者の任務として最も納得のいく記述を次の中から選べ。

ア. 管理者の基本的な任務は、組織が要請する利益を上げることとスタッフの欲求の、いづれも満たすことである

イ. 組織の要請を優先させるべきである。スタッフの欲求は組織の要請と矛盾することもあるから、管理者としては、むしろ組織の要請をスタッフに納得させるところに基本的な役割がある

ウ. 人は仕事を通じて成長していくし、人の成長を願うことが人間尊重につながる。その意味で、スタッフの欲求を優先させるべきである

エ. 仕事の成果を上げなければ、そこで働く者の存在もない。管理者はスタッフの欲求よりも仕事の成果を第一とし、スタッフを力強く引っ張っていくべきであるどちらにも「利用者の幸せ」が含まれることをわすれてはならない

©2021 SILVER WOOD Co.,Ltd.

#### マネジメントの理解促進ワーク 理論の解説例

#### マネジメントの役割

マネジメントは組織の中核機関である。

マネジメントには3つの役割があります。

①所属する組織特有の使命を果たす。

②仕事を通じて働く人を生かす。

③社会に与える影響について処理するとともに、社会の問題について貢献する。

マネジメントはこの3つのバランスだけではなく、今日と明日のバランスも取らなくてははいけない

P・F・ドロッカー

©2021 SILVER WOOD Co.,Ltd.



# 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo (研修内容)

## 【研修内容 (5日目・6日目)】

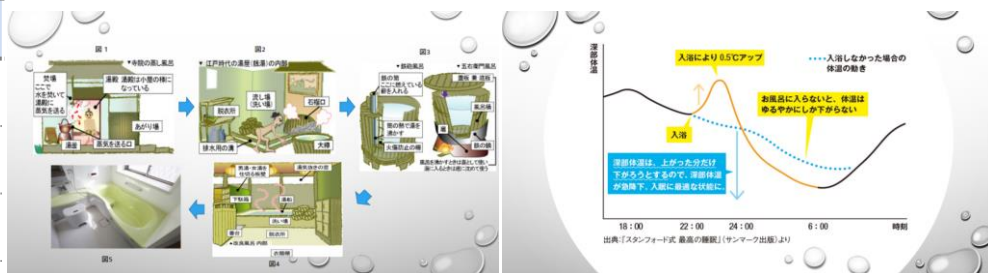
- 研修1日目～4日目で学んだ内容を持ち帰り取り組んだ課題を発表することがメイン。5日目では宿題として出されていたグループワークの発表を行い、6日目では、課題の発表やコーチングの基礎・実践を学べる内容とした。

### 研修内容

時間	内容
5日目	
10:00-11:30	復習と振り返り
12:30-16:00	グループ発表
16:00-17:00	まとめとこれからのアクションを考える
6日目	
10:00-10:50	オリエンテーション・チェックイン・振り返り
10:55-11:45	中間課題の発表 グループワーク
11:50-13:00	中間課題の発表 全体共有
13:50-14:50	ストレスマネジメント
14:55-15:55	VRケーススタディ4
16:00-16:40	コーチングの実践
16:40-17:00	振り返り・質疑応答

### グループワークの発表例

#### 「入浴の効果」



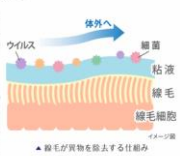
#### 「鼻毛について」

##### 4. 鼻毛の役割

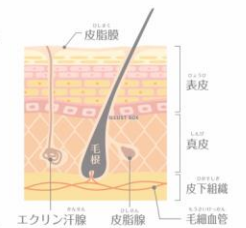
##### ① フィルターの役割を果たす大切な鼻毛

呼吸器は、外界に開放した器官であるため、様々な有害物質の嗜好の侵入経路になる。細菌やウイルスなど体に有害な物質を排除するための機構が呼吸器には備わっており、その一つに鼻腔内の鼻毛がある。

鼻腔の入口にある、鼻前庭に生えている鼻毛は空気中の物質（大小のホコリ、空気、細菌）が気道に入らないようにする空気清浄フィルターの役割を担っている。大きなホコリや塵は鼻毛のフィルターに捕らえられ、捕らえられたホコリやウイルスは鼻水に混ざり鼻の外へ排出される。



##### 2. 鼻毛の構造



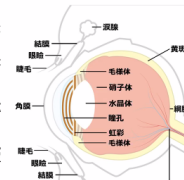
#### 「眼の構造」

##### 眼の構造

眼は感覚器官である。→視覚刺激（情報）をキャッチする、アンテナをはる働きをする。  
眼球とその付属器（眼瞼・結膜・涙器・眼筋）からなる。

眼球の1/6は光を受容するために露出している。露出している部分は角膜。露出している部分は眼瞼（まぶた）で覆い保護することができる。（図1）

生命活動を維持するためには、内外の環境変化や異常など様々な動きを素早く感じとって適切に対応しなければならない。



## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（実施結果 参加状況）

- 当初の計画では1日程当たりの参加人数は、30名を予定していたが、A日程で31名、B日程で54名、計85名が参加する研修となった。
- 6時間×3日間の「介護の目的と原理」の受講を経て、それぞれが興味のある介護実践を生理学の視点で探求する課題について、精力的に取り組むことができたチームが多数出現し、事業1-②の介護の生理学研究会での発表者としての参加につながった。

日程	想定(名)	参加人数(名)	達成率	参加内訳	
				現地	オンライン
A日程(大阪開催)	30	31	103%	16	15
B日程(東京開催)	30	54	180%	38	16
合計	60	85	142%	54	31



## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（目標の達成度）

アウトカム	指標	データ収集方法	目標（判断基準）	目標達成度
リーダーが仕事の魅力を職場に伝えたいと思う。	自らの仕事の意義や目的を職場で伝えたいと思ったか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	
	理想のケアについて職場で話し合ってみたいと思ったか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	
リーダーが生理学に基づく共通のケアのものさしを持つことの必要性を認識する。	リーダーが共通のケアのものさしを持つことが必要と感じたか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	
	リーダーが職場に持ち帰り、共通のケアのものさしを作ろうと思ったか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	
リーダーがマネジメントを通じて、チームで取り組むことの魅力を感じ、現場で実践したくなる。	リーダーが現在抱えているマネジメントの不安を払拭できたか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	
	リーダーがチームでケアに取り組んでいきたいと感じたか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	
	リーダーが職場の仲間とともに、より良いケアを実践するための行動をとろうと思ったか。	研修前後のアンケート調査	5段階評価で3以上	

## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### ■主なアンケート結果

No	KPI	成果	詳細内容
①	参加者の意識変容	「介護の生理学の理解度」 研修前の理解度 <b>27.3%</b> ↓ 研修後の理解度 <b>65.9%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各回アンケートにおいて、研修参加前後の「介護の生理学」の理解度に関する質問を行った。</li> <li>各テーマについて、「とても理解している」「理解している」と回答した割合が研修前は27.3%であったのに対し、研修後は65.9%となった。</li> </ul>
		「組織マネジメントの理解度」 研修前の理解度 <b>18.0%</b> ↓ 研修後の理解度 <b>60.7%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各回のアンケートにおいて、研修参加前後の「組織マネジメント」の理解度に関する質問を行った。</li> <li>各テーマについて、「とても理解している」「理解している」と回答した割合が研修前は18.0%であったのに対し、研修後は60.7%となった。</li> </ul>
②	研修参加者の行動変化	研修終了時に何らかの行動を既に行った参加者の割合 <b>96.2%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6日目の研修終了時点のアンケートにおいて、「前回かの研修から1ヶ月間で、研修で学んだ内容を実践しましたか」という質問を行った。</li> <li>96.2%が「はい」、3.8%が「いいえ」と回答した。</li> </ul>
③	参加者の行動による成果	②で行動を行った職員のうち職場での成果があると回答した割合 <b>90.0%</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②の研修参加者の行動変容の質問に「はい」と回答した参加者に対して「成果はありましたか」という質問を行った。</li> <li>24.0%が「成果があった」、64.0%が「成果がある見込みである」と回答した。</li> <li>具体的な成果として、「職員との雑談や個人面談を設けたことで、職員一人一人との距離感が近くなったように感じており、カンファレンスの内容が濃くなった事を実感した」、「原論、生理学を基にした介護技術の提供とチームへの良い影響があった」などが挙げられた。</li> </ul>

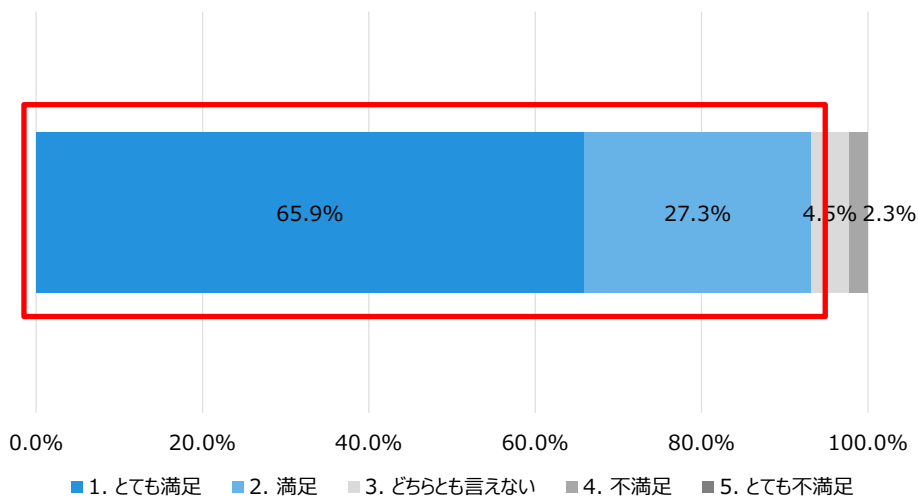
## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【研修の満足度】

- 左図は、6日間の研修の1日目・2日目研修（介護の目的と原理研修）、右図は3日目・4日目研修（組織マネジメント研修）を示している。
- どちらの研修も満足度は93.0%前後であった。

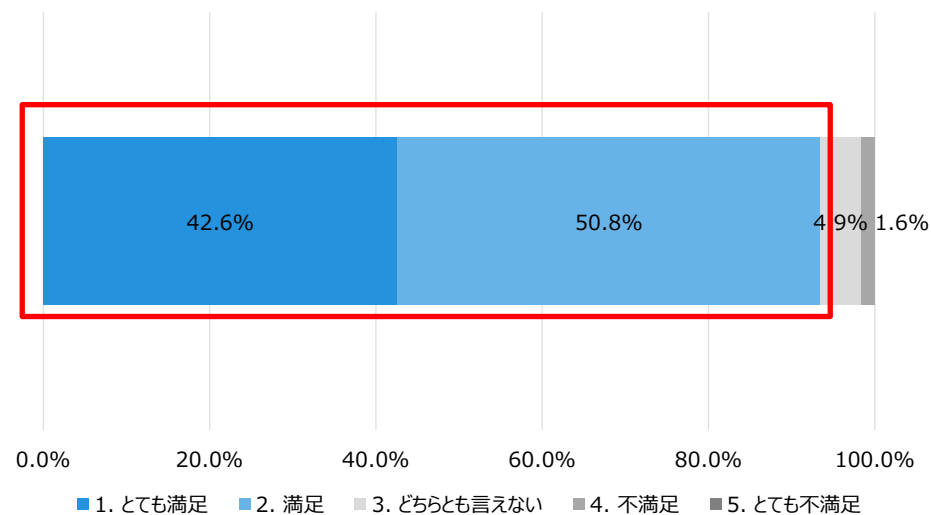
#### 1日目・2日目研修 （介護の目的と原理研修）

本日の満足度を教えてください。



#### 3日目・4日目研修 （組織マネジメント研修）

本日の満足度を教えてください。

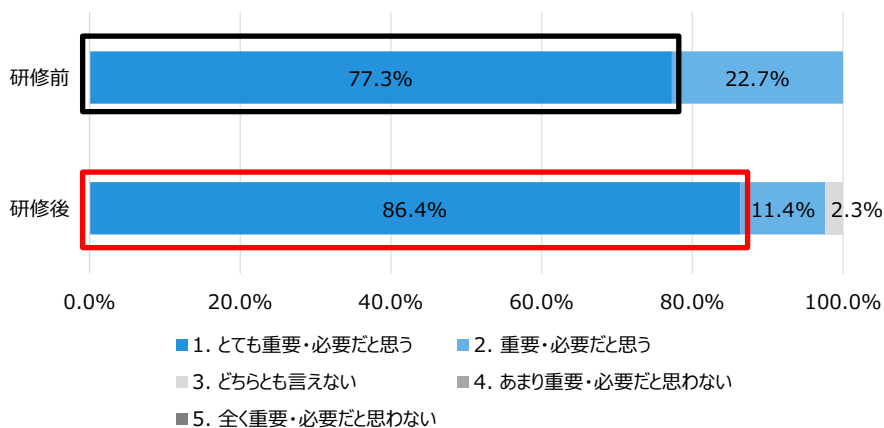


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo (アンケート結果)

### 【「介護の生理学」の知識を身に付ける 重要性・必要性の認識】

- 研修前は、「介護の生理学」の知識を身に付けることが重要・必要だと思う割合が100.0%（内、77.3%が「とても重要・必要だと思う」、22.7%が「重要・必要だと思う」と回答）であった。
- 研修後は、「介護の生理学」の知識を身に付けることが重要・必要だと思う割合が97.8%（内、86.4%が「とても重要・必要だと思う」、11.4%が「重要・必要だと思う」と回答）であった。

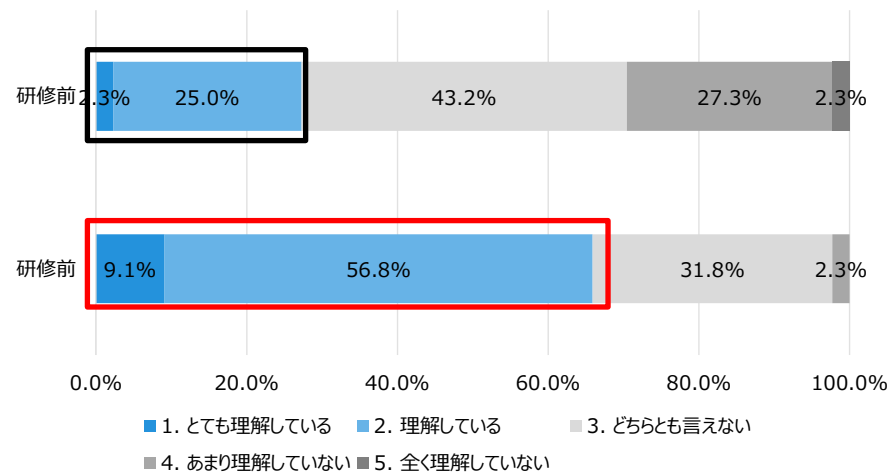
介護現場で働く上で、「介護の生理学」の知識を身に付けることは重要・必要だと思いますか？



### 【「介護の生理学」の理解度】

- 研修前は、「介護の生理学」を理解していた割合が27.3%（内、2.3%が「とても理解している」、25.0%が「理解している」と回答）であった。
- 研修後は、「介護の生理学」を理解している割合が65.9%（内、9.1%が「とても理解している」、56.8%が「理解している」と回答）であった。

本日学んだ「介護の生理学」の理解度を教えてください。

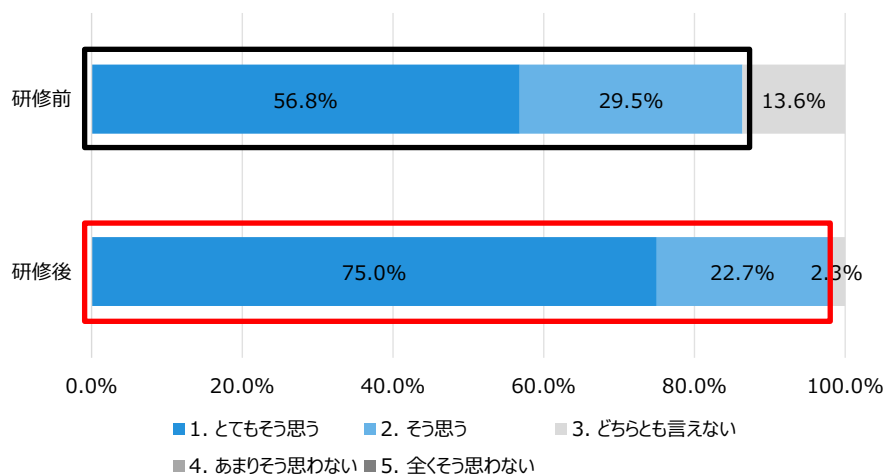


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【共通の「ケアのものさし」を持つことの必要性の認識】

- 研修前は、共通の「ケアのものさし」を持つことを必要と認識していた割合が**86.3%**（内、56.8%が「とてもそう思う」、29.5%が「そう思う」と回答）であった。
- 研修後は、共通の「ケアのものさし」を持つことを必要と認識していた割合が、**97.7%**（内、75.0%が「とてもそう思う」、22.7%が「そう思う」と回答）であった。

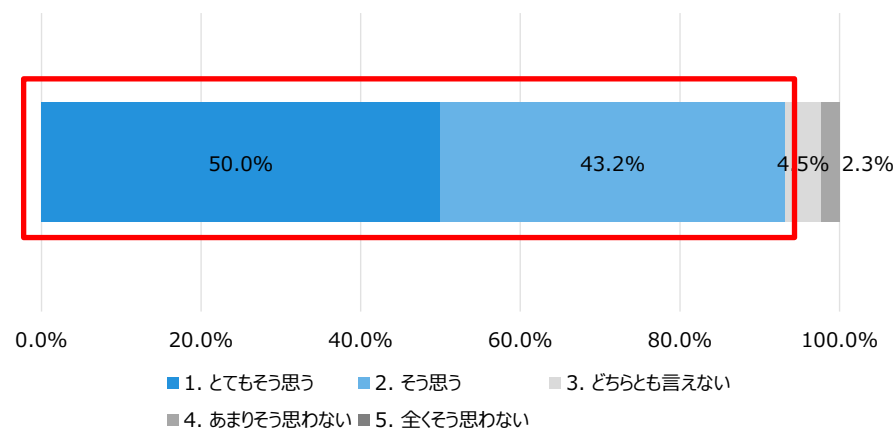
共通の「ケアのものさし」を持つことが必要だと思いますか？



### 【共通の「ケアのものさし」を作ろうと思うか】

- 共通の「ケアのものさし」を作ろうと思う割合は、93.2%（内、50.0%が「とてもそう思う」、43.2%が「そう思う」と回答）であった。

研修で学んだ内容を職場に持ち帰り、共通の「ケアのものさし」を作ろうと思いますか？



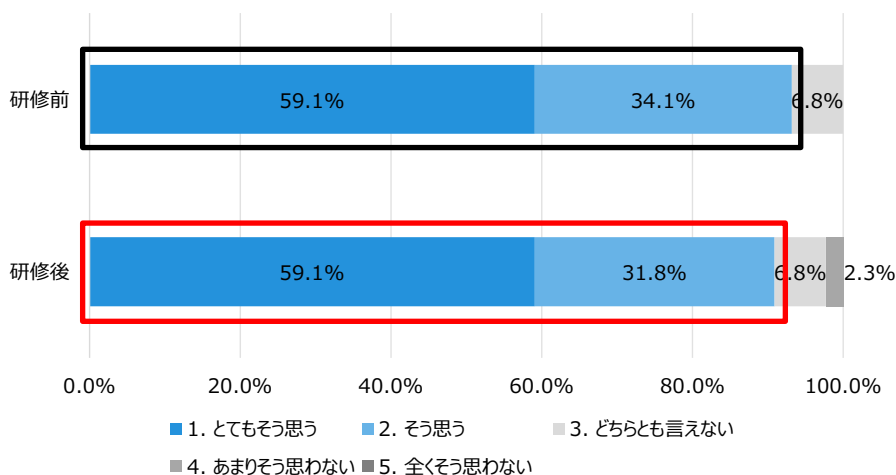


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【職場で理想のケアについて話し合ってみたいと思うか。】

- 研修前は、職場で理想のケアについて話し合ってみたいと思う割合が93.2%（内、59.1%が「とてもそう思う」、34.1%が「そう思う」と回答）であった。
- 研修後は、職場で理想のケアについて話し合ってみたいと思う割合が、**90.9%**（内、59.1%が「とてもそう思う」、31.8%が「そう思う」と回答）であった。

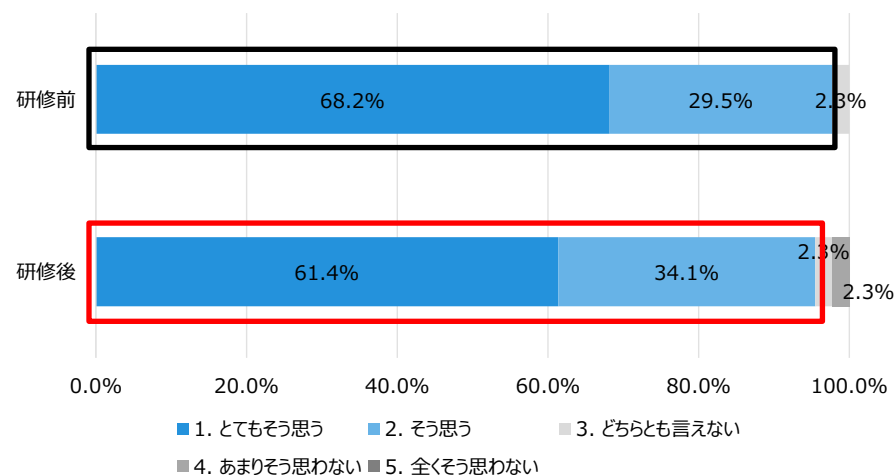
職場で理想のケアについて話し合ってみたいと思いますか？



### 【職場で介護の仕事の意義や目的を伝えたいと思うか】

- 研修前は、職場で介護の仕事の意義や目的を伝えたいと思う割合が97.7%（内、68.2%が「とてもそう思う」、29.5%が「そう思う」と回答）であった。
- 研修後は、職場で介護の仕事の意義や目的を伝えたいと思う割合が**95.5%**（内、61.4%が「とてもそう思う」、34.1%が「そう思う」と回答）であった。

職場で介護の仕事の意義や目的を伝えたいと思いますか？



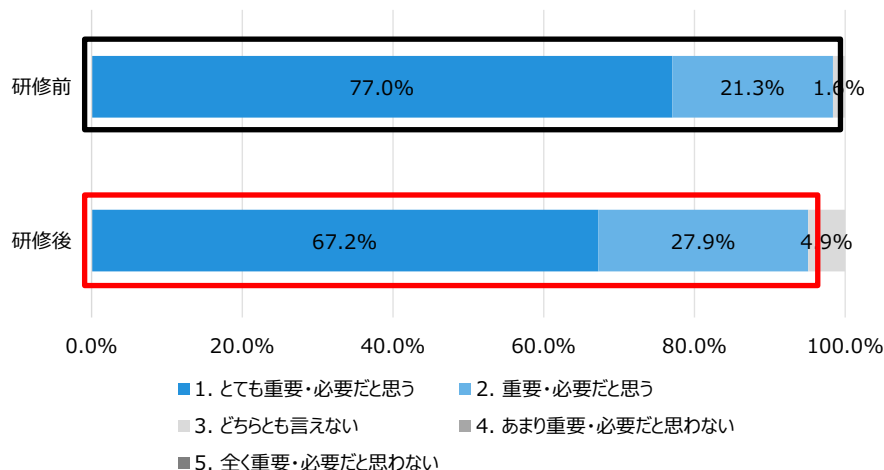


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【「組織マネジメント」を学ぶことの重要性・必要性の認識】

- 研修前は、「組織マネジメント」を学ぶことは重要・必要であると認識していた割合が98.4%（内、77.0%が「とても重要・必要だと思う」、21.3%が「そう思う」と回答）であった。
- 研修後は、「組織マネジメント」を学ぶことは重要・必要であると認識していた割合が**95.1%**（内、67.2%が「とても重要・必要だと思う」、27.9%が「そう思う」と回答）であった。

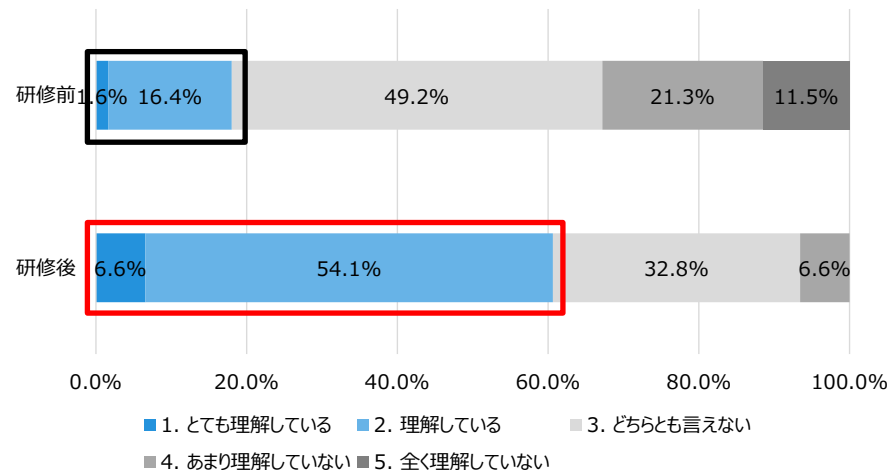
「組織マネジメント」を学ぶことは重要・必要だと思いますか？



### 【「組織マネジメント」の理解度】

- 研修前は、「組織マネジメント」を理解していた割合が**18.0%**（内、1.6%が「とても理解している」、16.4%が「理解している」と回答）であった。
- 研修後は、「組織マネジメント」を理解している割合が**60.7%**（内、6.6%が「とても理解している」、54.1%が「理解している」と回答）であった。

「組織マネジメント」の理解度について教えてください。

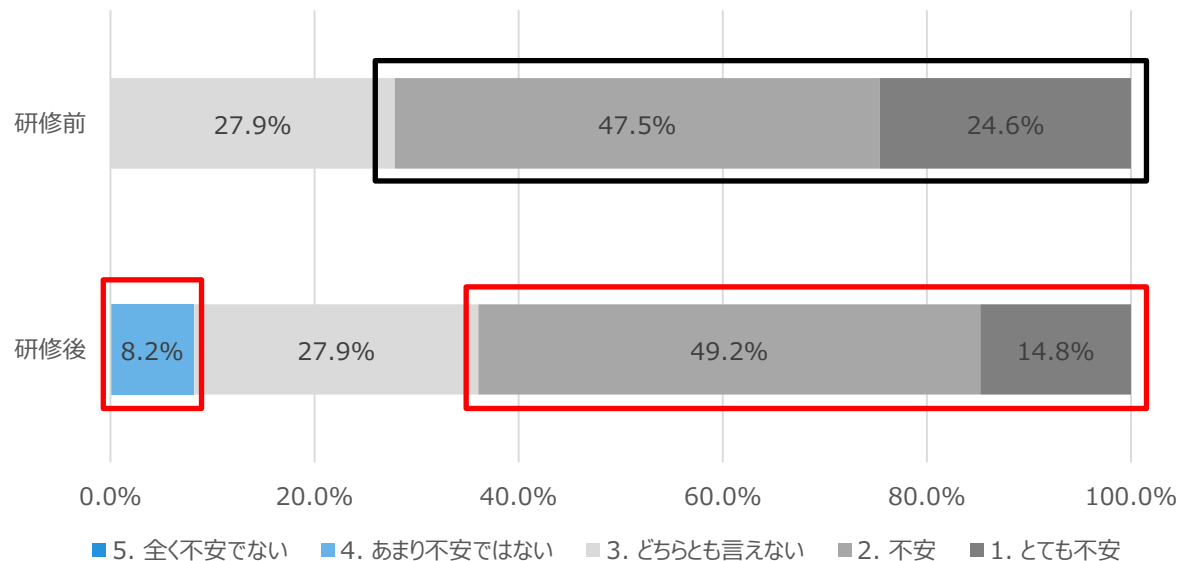


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【「組織マネジメント」を行う不安感】

- 研修前は、「組織マネジメント」を行うことが不安と回答した割合が72.1%（内、47.5%が「不安」、24.6%が「とても不安」の回答）であった。
- 研修後は、「組織マネジメント」を行うことが不安でないという回答した割合が64.0%（内、49.2%が「不安」、14.8%が「とても不安」の回答）であった。
- 研修を通じて「組織マネジメント」を不安と感じた回答の割合が低下しており、8.2%は「全く不安ではない」と回答している。

組織マネジメントに対して、現在抱えている不安感はどのくらいですか？

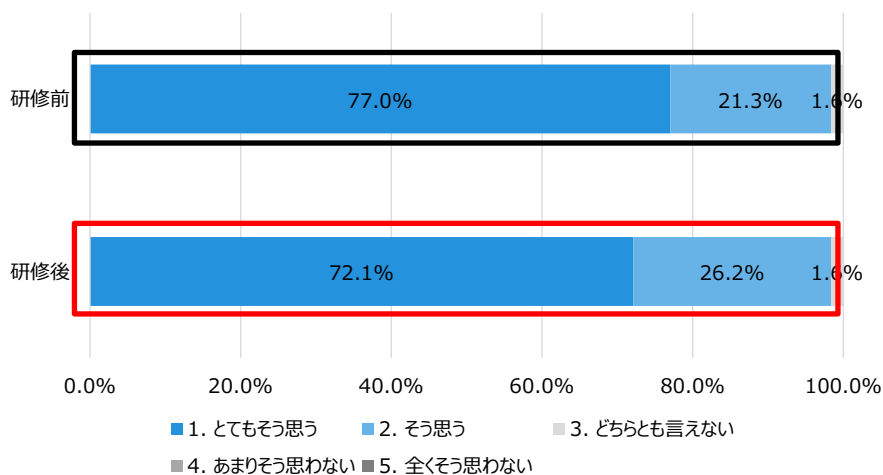


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【チームでケアに取り組んでいきたいと思うか】

- 研修前は、チームでケアに取り組んでいきたいと思う割合が98.3%（内、77.0%が「とてもそう思う」、21.3%が「そう思う」と回答）であった。
- 研修後は、チームでケアに取り組んでいきたいと思う割合が98.3%（内、72.1%が「とてもそう思う」、26.2%が「そう思う」と回答）であった。

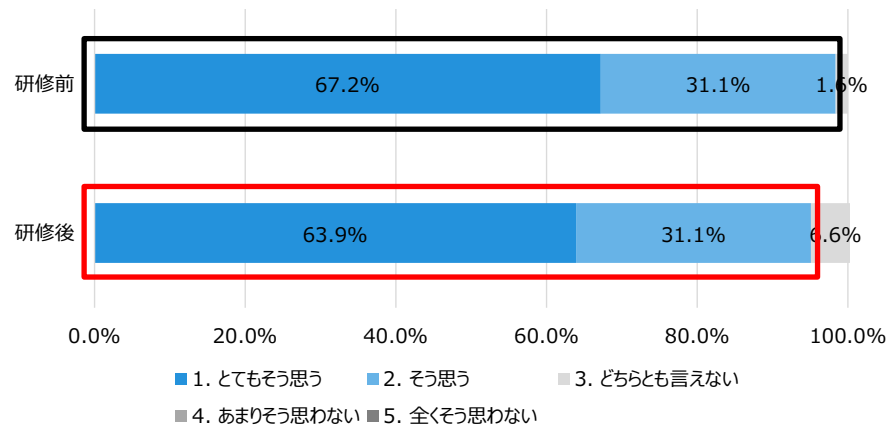
チームでケアに取り組んでいきたいと思いますか？



### 【職場の仲間とともに、より良いケアを実践するための行動をとろうと思うか】

- 研修前は、職場の仲間とともに、より良いケアを実践するための行動をとろうと思う割合が98.3%（内、67.2%が「とてもそう思う」、31.1%が「そう思う」と回答）であった。
- 研修後は、職場の仲間とともに、より良いケアを実践するための行動をとろうと思う割合が95.0%（内、63.9%が「とてもそう思う」、31.1%が「そう思う」と回答）であった。

職場の仲間とともに、より良いケアを実践するための行動をとろうと思いますか？

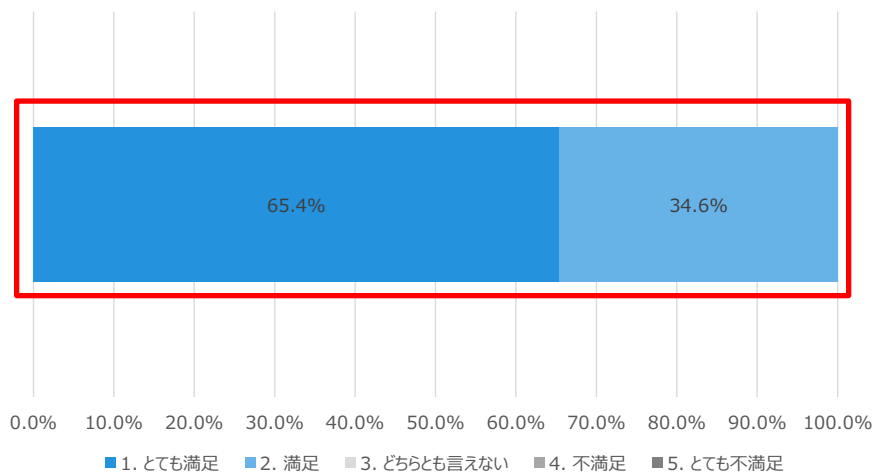


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

### 【5日目、6日目研修の満足度】

- 研修の満足度は100.0%（内、65.4%が「とても満足」、34.6%が「満足」と回答）であった。

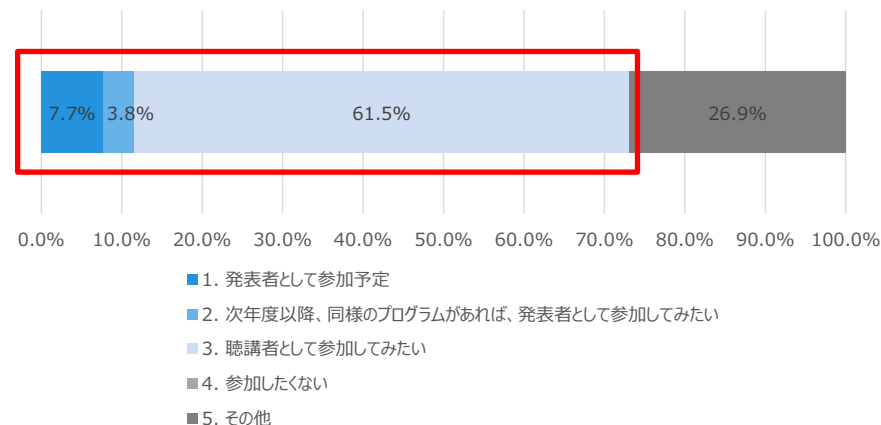
本日の満足度を教えてください。



### 【研究発表会への参加意向】

- 研究発表会への参加予定・発表者として参加したい・聴講者として参加したいと回答した割合は、73.0%であった。
- また、その他と回答した多くは、「日程が合わないため参加できない」、「後日動画で視聴したい」など、スケジュールに関する内容によるもので、企画自体には前向きな回答が多かった。

2月19日開催の「介護の生理学研究会」へ参加してみたいと思いますか？

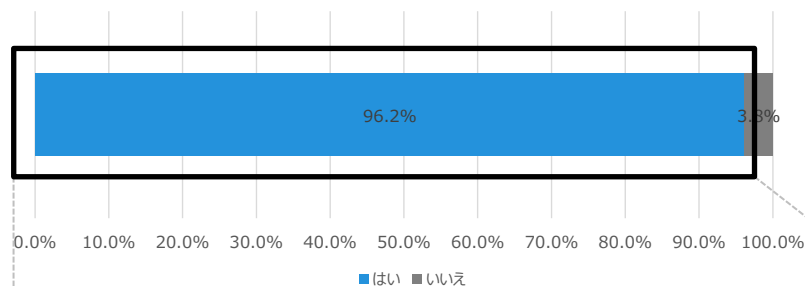


## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo（アンケート結果）

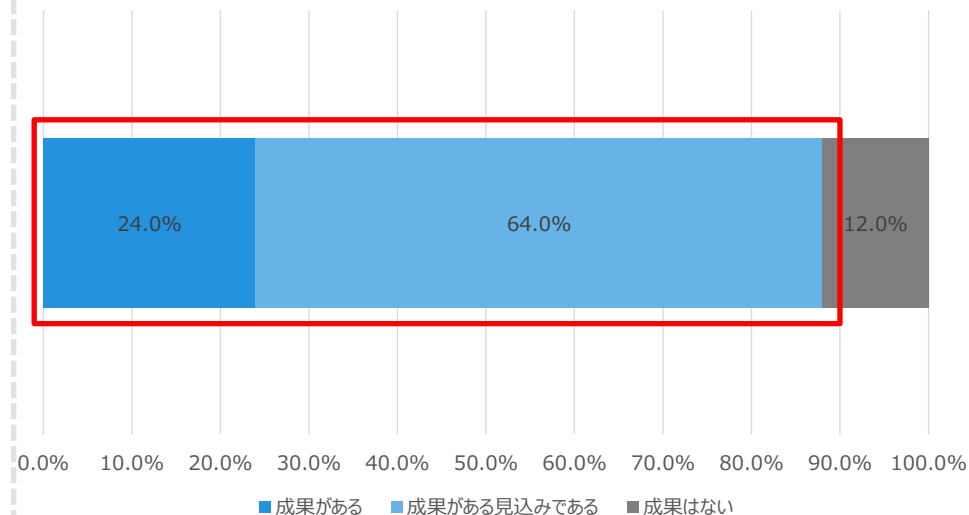
### 【研修受講後の行動変容】

- 本研修参加者のうち、**96.2%が研修が終了するまでに既に学びを行動に移しており、そのうち約90.0%が成果実感がある**ことから、**行動変容が一定の成果につながった**と考えられる。
- 具体的な成果内容は、「職員との雑談や個人面談を設けたことで、職員一人一人との距離感が近くなったように感じており、カンファレンスの内容が濃くなった事を実感した」、「原論、生理学を基にした介護技術の提供とチームへの良い影響があった」、などがあげられる。

前回の研修から1カ月間で、  
研修で学んだ内容を実践しましたか？



【上記で「はい」と回答した方】成果はありましたか？



## 2-① マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo (アンケート結果)

### ■【介護の目的と原理】パート フリーコメント

フリーコメント
今の介護の考え方の違和感がすっきりしました。原理の大事さが伝えていけたらいいなと思います。ありがとうございました。
自分の施設が出来ていないこと、問題とされることがハッキリと分かりました。
今まで当たり前のように個別ケアや本人の思いを大切にしなければならないということを教わってきて実践をしてきたが、なぜその介護が必要なのか、なぜその介護をしているのかということの根拠を、深掘りしたことがなかった。こういった機会がなかったら、この先も同じことを繰り返して、本人に苦痛を感じさせてしまうことを続けていたかもしれなかったので、とてもよい機会になったし、 <b>介護って面白いなって改めて感じました。</b> ありがとうございました。
今までの考え方では、間違いではないが、正しくもないのだと思った。新人を教育する際も、なぜそうするのかの根拠を伝えないといけないと感じた。
また、人間には、生物体として共通するものと生活体としての個性がある。 今、私の働く場所ではその人らしさに目を向けていることが多いです。眠りの邪魔をしないように昼まで寝ていたりします。しかしながら、介護の原理・本質・目的としては人体の構造と機能について知ることが重要で生物体としての人間を考えてケアしなければ生活過程は整いませんし生命力の消耗を最小にはできません。今、行うケアは介護の原理の理解が足りないのだと感じました。また、今回の研修に参加して知識不足を感じ、知らない事に対する悔しさや入居者様に適切な介護が出来ておらず申し訳なく思うことが多かったです。やさしさのような情緒的なケアではなく、解剖生理学の知識を基本とした人間の見方が必要なのだと感じました。
指導するときに介護の目的や原理を自分が理解したうえで説明できるようにしたい。

### ■【組織マネジメントの基礎】パート フリーコメント

フリーコメント
マネジメントの目的やものさしについて教えて頂き、日頃の自身のマネジメントについて振り返ることができました。組織の目的や目標を明確にして正しくわかりやすく相手に伝えることから一つ一つ丁寧に行っていきたいと思います。
自分の施設での問題がクローズアップされた
VRのリアルな体験、看護師や介護職として活躍されるさまざまな方との意見交換でそれぞれの立場の価値観や意見をお聞き出来て大変刺激的でした。貴重な機会をありがとうございました。
グループワークがとても良い経験になりました。いろんな意見が見解があり、勉強させられることだらけで益々視野を広げていきたいです。
グループワークで色々な方の意見を聞くことが出来てとてもいい経験になりました。 今は私の意見が多く取り入れられている気がしています。職員さんたちが話くなるような環境作りをしてみんなの意見を取り入れてチームケアできるように頑張っていきたいと思いました。
マネジメントの原理原則について知る事で今抱える悩みを解消出来るのではないかと期待する。 場の雰囲気が悪いと私自身も黙ってしまったり関わるのが嫌だなと感じてしまいます。しかし、この状態を見過ごしてしまっただけではお客様も職員も地域の方も誰も得をしない。改めて、自分の周りにいる職員との関係性を考えることが出来ました。私がマネジメントできるのはせいぜい1-2人くらいなのかなと感じたのでまずは2人に対してできる限りの事をしたい。それが自分の成長にも繋がると感じます。

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

## 2-② フォローアップ研修（概要）

### 【実施のポイント】

- ・これまでの研修で学んだ内容を現場で実践する際に感じた課題や、悩みを解消できる機会とすることで、どうすれば学んだことを現場で取り込んでいけるのかを具体的に考えることができるように意識した。
- ・現場で実践するためのディスカッションの際に、昨年度本事業で制作した「介護とは何か 生活を整えていく実践」のドキュメンタリーの一部を参加者全員で視聴した上で進行することにより具体的な議論につながった。

### 【日 程】

2022年3月11日（金） 13:00-17:00

### 【開催方法】

オンライン

### 【対 象】

- ① マネジメントスタンダードプログラム for kaigoの参加者
- 事業1-① 介護の生理学入門勉強会の参加者
- 事業1-② 介護の生理学会の参加者

時間	内容
13:00-13:15	令和3年度 介護のしごと魅力発信等事業 介護技能向上区分の活動の報告
13:15-14:30	「介護の目的と原理の振り返り・保育とは」 飯田大輔氏
14:40-15:40	「マネジメントスタンダードプログラム for kaigoと 今介護現場に必要なマネジメント」 下河原忠道氏
15:50-16:50	飯田大輔氏、下河原忠道氏と参加者の皆さんで 質疑応答・ディスカッション。  テーマ 「どうすれば介護現場をマネジメントしていけるか。」 「ケアのものさしを現場に取り込むにはどうしたらいいか。」
16:50-17:00	アンケート回答 終了



## 2-② フォローアップ研修（実施結果 参加状況）

- 特に参加人数は事前に想定していなかったが、参加申込み人数が221名となり、多くの方に参加いただけるフォローアップ研修となった。

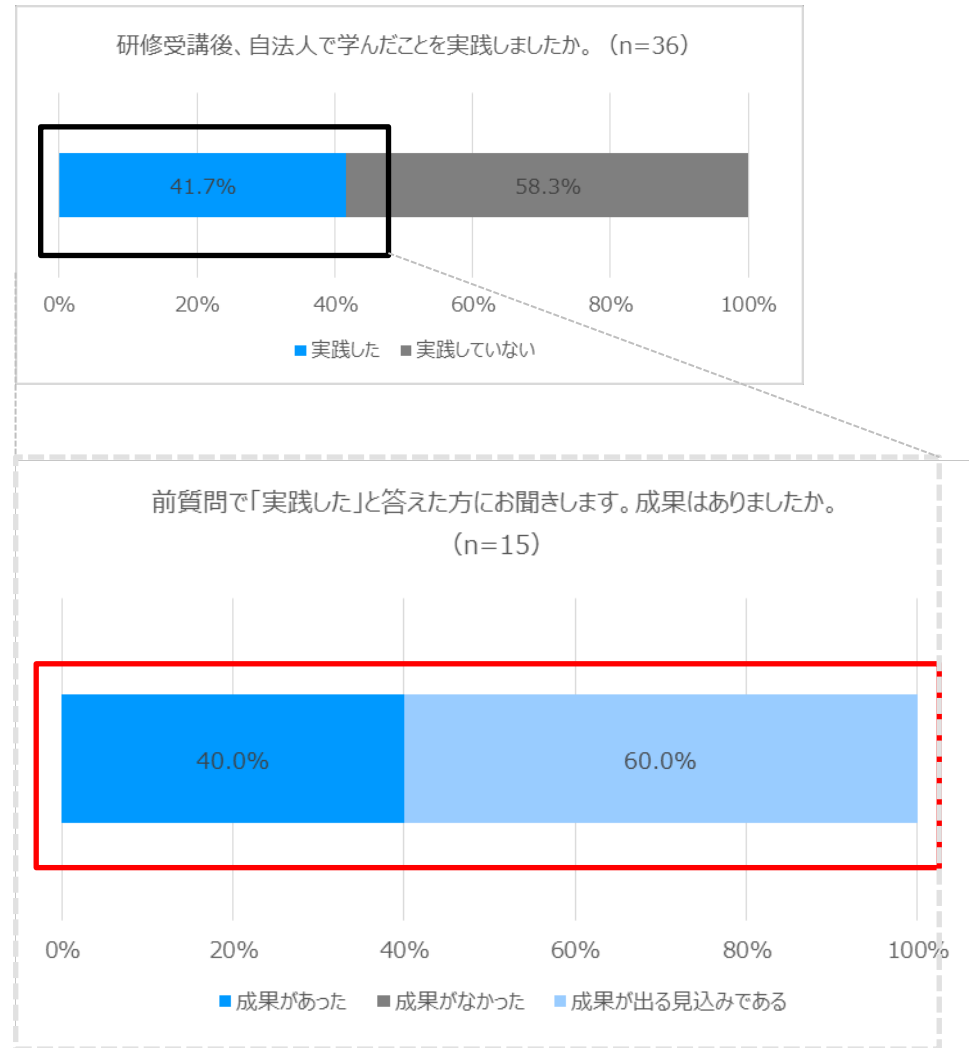
日程	想定(名)	参加人数(名)	達成率
2022年3月11日	-	221	-



## 2-② フォローアップ研修（アンケート結果）

### 【研修受講後の行動変容】

- 本研修参加者のうち、41.7%が研修が終了するまでに既に学びを行動に移しており、**そのうち約100.0%が成果実感があることから、行動変容が一定の成果につながった**と考えられる。
- 具体的な成果内容は、「職員間で意見の対立がありました。マネジメントで学んだことを実践し、良い方向に向かうことができました。」、「毎日の点眼の際に、目の機能を配慮して行った所。利用者さんに喜んでいただきました！」「スタッフ間で話せる機会を増やした。各専門職から原理を聞く事で介護職の意識が変わってきた。」、などがあげられる。



## 2-② フォローアップ研修（アンケート結果）

### フリーコメント

元気を貰える研修です。ぜひ来年度も採択されて欲しいと思います。

深い。そして楽しい。何時間でも聴いていたい。そんな感じでした。現場でどう生かすか考えて参ります。

いろいろと質問させていただき、ありがとうございました。実践に向けどうしたらよいか悩んでいたことのヒントを得られました。大変勉強になりました。周りの職員にもプログラムや考え方を伝えていきたいと思います。

特に動画視聴の内容が、ホットな部分が多くありました。ケアで出来ることは原理や目的を元にしっかり考える、大切な視点を忘れないようにしたいです。

自分の周りの事業所との温度差を感じました。今日のビデオを見て、ここなら自分の家族に介護が必要になった時に、ちゃんと向き合ってくれてくれるのでお願いしたいなと思いました。身近な施設にはなかなかありません。学んで、仲間を作って自分もそういうケアができるようにしていきたいです。

毎回の感想ですが、全てが大満足です。

なぜそういうやり方をしたのか？なぜそういう話し方をしたのか？判断のプロセスが大切である。また、介護職は思考過程が求められる職業であり介護のプロである。利用者様へ根拠のある介護の展開ができるよう地道にコツコツ取り組んでいきたいと思おます。

本当に大事であると改めて感じたと共に、社内に落とし込む試行錯誤の仲間と繋がってる感覚が嬉しくなりました。福島県いわき市から確立できるよう、我々なりのベストを尽くしていきたいと思おます。

チームケアをしていく中で、自分が居なくても良い介護が行われる様にしていける事を、日々の記録や仲間とのコミュニケーションを通じて行える様に試行錯誤していますが、中々伝わらないなと感じている事が多々ある中で、仲間に思考過程を話して貰う、判断のプロセスを確認すると言った事はしていなかったなと思い、実践しようと思おました。また、仲間に良い介護と生理学の繋がりを自分から伝え、良い介護が出来る現場になる様に、魅力ある介護職員が増えていけるように、まずは自分ももっと学んでいこうと思おました。

ありがとうございました。

今取り組んでいる改革の後押ししてくださるお言葉をいただき、もう一歩前に進む自信になりました。部分的にでも共に受講してくれる仲間が増えてきて、コアメンバーを作っていくために少しずつでも前進できそうです。ありがとうございました。

いつもの研修に参加させてもらっても大変実りのある時間を過ごさせてもらっています。今回も4時間あっという間に過ぎてしまいました。アウトプットする際のロジカルシンキングな部分や言葉のチョイスをいつも参考にさせてもらっています。今後とも研修楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。

## 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業 (参加者個別ヒアリング)

項目	内容
インタビュー対象者 概要	<ul style="list-style-type: none"><li>• 社会福祉法人ふれあいコープ 総合企画室 藍原様 採用や研修の企画等教育担当をしている。</li><li>• 従業員数は480名程度。</li></ul>
参加経緯/ 参加動機	<ul style="list-style-type: none"><li>• VRを使った取組を探す中で、株式会社シルバーウッドの研修を見つけた。</li><li>• 偶然関係のあった社会福祉法人福祉楽団に問合せをしたところ、本研修を教えていただいたのが参加のきっかけとなった。</li><li>• 研修として、斬新だと感じた。「介護の生理学」という言葉を使用した研修を今まで見たことがなかった。</li></ul>
参加しての感想	<ul style="list-style-type: none"><li>• 根拠から物事を考えることの重要性を改めて感じた。</li><li>• 介護職の1年目～5年目まで受け、看護師も受けた方が良かったと思った。それほど内容が充実していた。</li><li>• ベテラン看護師が研修を受け、他の看護師も受けるように進言してくれた。</li><li>• 振り返り、報告書も作った。良い成果があったと思う。</li><li>• 受講者からは「とても分かりやすかった」、「看護師の教材として使っても良い」という声が多かった。</li></ul>
今後の法人内での 取組展望	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「介護とは何か」を特養の全体会議で視聴するなど、法人内で「介護の生理学」を普及させようとしている。</li><li>• 法人の階層別研修の一種である「基礎研修」、「実践研修」に、生理学の要素を入れて研修を作り変えている。</li><li>• 研修を変え、現場がどのように変わっていくのかが楽しみである。</li></ul>

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

### 3. 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業（全体像）

#### ●事業の目的

- より多くの介護に直接関わりのない層に対し、介護の技能そのものや介護技能向上に関する取り組みを認知してもらう。

#### ●「介護の魅力」をどう一般に発信するか

介護の仕事は、独自の専門性が必要にもかかわらず、介護保険制度が始まる前までは家庭の中の「無償労働」に位置づけられ、大部分を家庭の主婦が担ってきた背景もあり、“誰にでもできる仕事”と誤解されてしまう傾向があります。仕事として確立した現在でも、食事や入浴の世話をする家事代行の延長線と捉えられてしまうことも多く、また、その仕事は“ぬくもり”や“優しさ”といった情緒的な言葉で表現されがちです。しかし、そういった言葉では何が介護職の“専門性”なのかが曖昧となり、本当は独自の専門性が求められる仕事であるにも関わらず、介護職同士でも何が“良い介護”なのかを議論する際に個々人の考えに左右されてしまうことが多いのも現状です。そんな中で私たちは、介護実践の裏側にある介護職の思考過程を紐解いてわかりやすく発信することが、本質的な「介護の仕事の魅力」の発信となり、業界内外に対する社会的評価の向上につながると考えました。

#### ●実施内容・実施対象

##### ① TV番組の企画・制作

- シニア層や子育てを終えた層向けには、「介護の目的や専門性について伝える」をコンセプトに、テレビ番組を通じた情報発信を行った。

##### ② YouTube動画の企画・制作

- 若手層向けには、「介護の専門性とポジティブな側面を、具体的にわかりやすく伝える」をコンセプトに、YouTubeを活用した情報発信を行った。

### 3. 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業（全体像）

- 効果測定の方法

- 介護のイメージに対する意識変容

対象：動画視聴者、番組視聴者

内容：介護のイメージ

手法：アンケートの実施、YouTubeコメント

## I 事業の概要

## II 事業内容

- 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業
  - ①介護の生理学入門勉強会
  - ②介護の生理学会
- 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業
  - ①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo
  - ②フォローアップ研修
- 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業
  - ①TV番組企画・制作
  - ②YouTube動画企画・制作
- 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業
  - ①調査
  - ②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料



### 3-① TV番組企画・制作（概要）

タイトル	ハリー杉山の介護を考える “生きる”を支えるプロの仕事
出演者	ハリー杉山、堀田聡子（慶應義塾大学大学院 教授）
放送日	2月27日（日）13：00～13：54
放送局	BS朝日 ※YouTubeでアーカイブ配信中
動画尺	53分
TV番組概要	タレントのハリー杉山は、父親にパーキンソン病と認知症があり、20代の頃から自宅で介護をしていたが、家族だけでの介護に限界を感じ、今、父親は施設で暮らしている。介護に関心をもつハリーが、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）と特別養護老人ホーム（特養）を訪ね、介護職の人々がどのように本人を支援しているのかを取材する。彼が目にしたのは、「優しさ」や「思いやり」だけではない、「科学的な視点」を持って仕事をする、プロの姿だった。サ高住で目にしたのは、入居者のできることを奪わず、できそうなことは、どうしたら入居者自身ができるようになるのか知恵を絞る職員の姿。特養では、徹底した観察力と、ケアコラボというデジタルツールで本人に合ったケアを編み出す介護チームに出会う。さらに利用者がターミナル期と判断された時、介護職は本人と家族をどのように支えるのか？密着取材した。
制作時のポイント	「介護の本質」は介護職の頭の中にあるものなので、パッと見て伝わりにくい。1つ1つの介護実践の裏側にある介護職の思考過程を紐解くために数百時間に及ぶ密着取材の末に、「なにを考えて、なぜその介護行為に至ったのか」、介護の本質を丁寧に紐解いたドキュメンタリーを制作。その映像をスタジオでナビゲーターのハリー杉山氏（一般人の視点）と慶應義塾大学大学院教授の堀田聡子氏（専門家の視点）で視聴しながら、「介護の仕事の専門性」と「魅力」に迫る内容とした。



ハリー杉山さん



慶應義塾大学大学院 堀田教授



### 3-① TV番組企画・制作（視聴率、再生回数等）

視聴率（TV）	世帯視聴率は0.2%（11.38万世帯） 世帯人数（BS朝日の視聴者）は2.27人なので、 <b>約25万人</b> が視聴
アーカイブ配信 再生回数 （YouTube）	2022年2月27日配信開始 4,839回 いいねの数 109 ※2022年3月30日現在



検索



#介護 #認知症 #看取り

ハリー杉山の介護を考える “生きる”を支えるプロの仕事

4,839 回視聴...

👍 109

🗨️ 低評価

🔗 共有

📄 クリップ

📌 保存

...

<https://www.youtube.com/watch?v=MtHwcHn2GIY>



### 3-① TV番組企画・制作（アーカイブ配信YouTube視聴者属性）

アーカイブ配信（YouTube）の概要欄にアンケートフォームへのリンクを案内したが回答数はあまり得られなかった。（16件※2022年3月30日現在）

#### Q1.動画を知らされたきっかけ（n=16）

	回答数	割合
TVを見て	0	0.0%
You Tubeで Recommendされた	1	6.3%
SNS	7	43.8%
知人からの紹介	2	12.5%
生活の思考のサイトで知った	0	0.0%
シルバーウッドからのメール	6	37.5%
その他	0	0.0%

#### Q3.職業（n=16）

	回答数	割合		回答数	割合
製造業	0	0.0%	情報通信業	0	0.0%
卸売業・小売業	0	0.0%	金融業、保険業	0	0.0%
飲食サービス業	0	0.0%	教育業（福祉関係）	2	12.5%
理容・美容業	0	0.0%	教育業（その他）	0	0.0%
医療・福祉	12	75.0%	主婦・主夫業	1	6.3%
宿泊業	0	0.0%	学生（福祉関係）	0	0.0%
不動産業・物品賃貸業	1	6.3%	学生（その他）	0	0.0%
運輸業、郵便業	0	0.0%	その他	0	0.0%
建設業	0	0.0%			

アンケートフォームの回答数が少ないのでYouTubeアナリティクスの結果あわせて、見せ方をご検討ください。

	回答数	割合
10歳未満	0	0.0%
10代	0	0.0%
20代	2	12.5%
30代	1	6.3%
40代	5	31.3%
50代	7	43.8%
60代	1	6.3%
70代以上	0	0.0%

	回答数	割合
経営者	0	0.0%
自営業	0	0.0%
会社員	14	87.5%
パート・アルバイト	1	6.3%
主婦・主婦業	0	0.0%
無職・求職中	0	0.0%
学生	0	0.0%
その他	1	6.3%

### 3-① TV番組企画・制作（目標の達成度）

アウトカム	指標	データ収集方法	目標（判断基準）	到達したorしていない？
	介護の仕事に対する興味・関心が高まったか。	視聴者へのアンケート調査	5段階評価で3以上	追記
コンテンツ視聴者が、介護の仕事を、専門的で面白い仕事だと感じる。	介護の仕事が魅力的だと感じたか。	視聴者へのアンケート調査	5段階評価で3以上	
	もっと介護の情報を調べてみたいと感じたか。	視聴者へのアンケート調査	5段階評価で3以上	

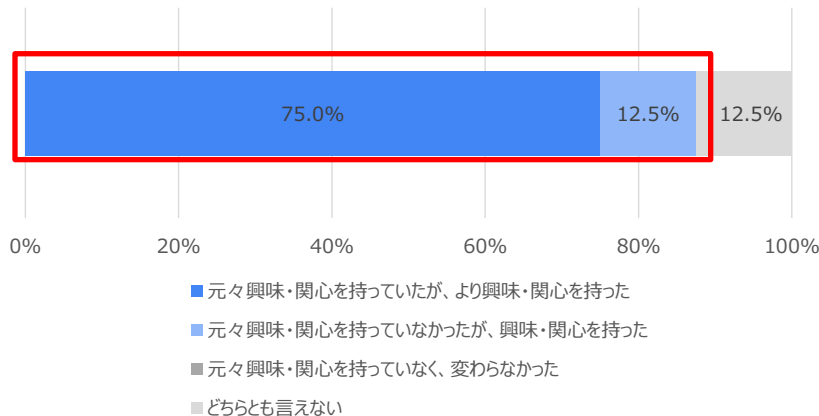
視聴数に対して、アンケート回答数が非常に少ないので、アンケートで効果を測定することの限界がある旨は、考察として一言入れても良いかと思いました。

### 3-① TV番組企画・制作（アンケート結果）

#### 【介護の仕事に対する興味・関心】

- 介護の仕事に対する興味・関心に関する設問に対して、肯定的に回答（「元々興味・関心を持っていたが、より興味・関心を持った」、「元々興味・関心を持っていなかったが、興味・関心を持った」）と回答した割合は、87.5%であった。
- うち、「元々興味・関心を持っていなかったが、興味・関心を持った」と回答した割合が25.7%であり、興味・関心がない層に対してのアプローチも有効であった。

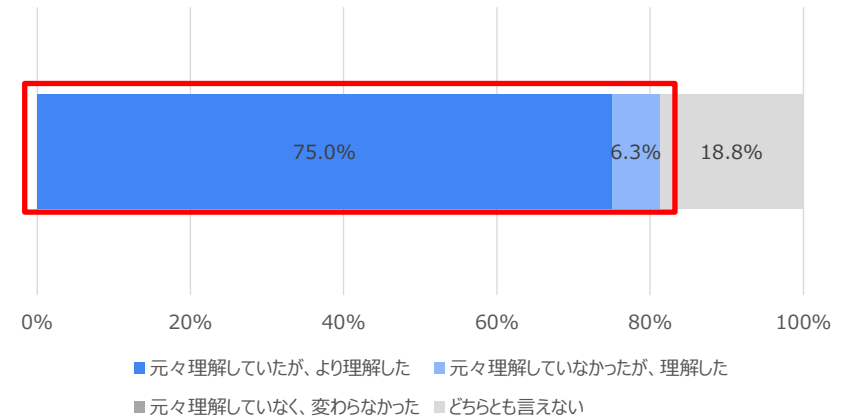
介護の仕事に対する興味・関心はありますか。



#### 【介護の仕事に対する理解】

- 介護の仕事に対する理解に関する設問に対して、肯定的に回答（「元々理解していたが、より理解した」、「元々理解していなかったが、理解した」）と回答した割合は、81.3%であった。
- うち、「元々理解していなかったが、理解した」と回答した割合が6.3%であり、意識変容に効果があった。

介護の仕事に対する理解は深まりましたか。

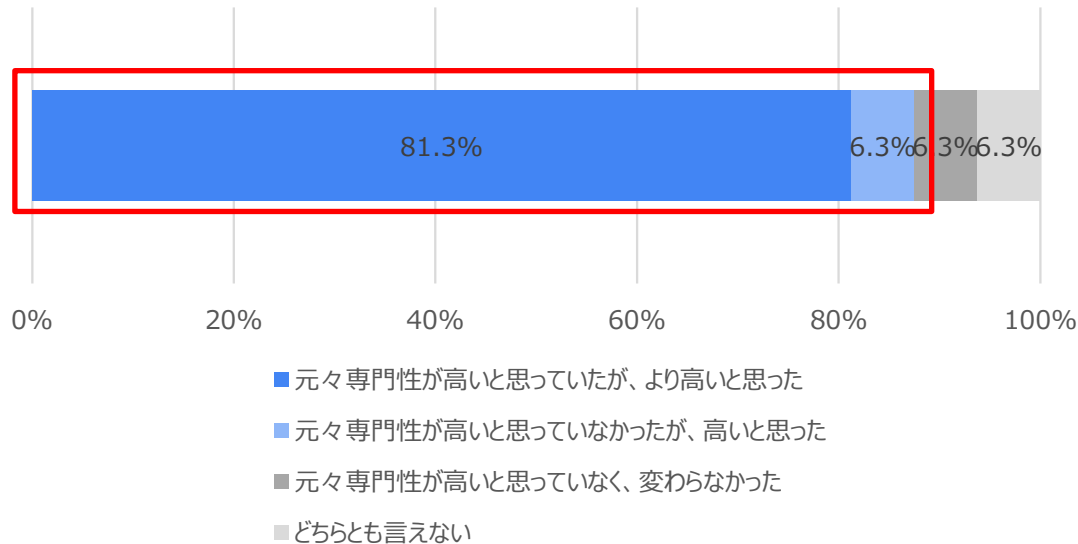


### 3-① TV番組企画・制作（アンケート結果）

#### 【介護の仕事の専門性の認識】

- 介護の仕事の専門性の認識に関する設問に対して、肯定的に回答（「元々専門性が高いと思っていたが、より高いと思った」、「元々専門性が高いと聞いていなかったが、高いと思った」）と回答した割合は、87.6%であった。
- うち、「元々専門性が高いと聞いていなかったが、高いと思った」と回答した割合が6.3%であり、意識変容に効果があった。

介護の仕事は専門性が高いと思いますか。



### 3-① TV番組企画・制作（アーカイブ配信に寄せられたコメント）

#### フリーコメント

介護の専門性と、根拠に基づく介護の必要性と、利用者のちょっとした変化の気付きの大切さを感じました。それを学生へどう伝えていけるのかを考えたいと思いましたが、なかなかではないと思いました。

生命力の消耗を最小にするケアを日々提供している。自分の中に染み込み。当たり前前の考え方になっているが、それはそれは介護の仕事をした時は当たり前ではなく、今の法人に勤めて学んだことである。この考え方でケアを提供した時にどれだけ入居者様が変わっていくか、死へのカーブが緩やかにしていくか、それを目の当たりにした時に本当に心動かされる。もっともっとうこういう介護をたくさんの人に知ってもらいたいと強く思う。今回こうしてたくさんの方の目に触れる場を作って下さり本当にありがとうございます。介護をよく知らない人は介護の仕事がこんなに素敵な仕事なんだと少しでも感じて貰えたら嬉しい。既に介護の仕事をしている人はより今の仕事に誇りを持って、より質の高いケアを意識して働いていけると思う。撮影に協力する側も映像をまとめて下さる側も大変だとは思いますが、是非こういった発信を増やしてもらいたいと思う。

介護スタッフとして働き始めて20年、ずっと「何を目指しているのか」「何を指針にすれば良いのか（法人や会社単位ではなく国として）」指導する立場になればそのモヤがかかったような疑問は深掘すればするほど、どこにもなく教育や文化の醸成を待つしかないのかと諦めていました。今回この厚生労働省の補助事業における研修を受けて介護という言葉が日本独自のものである、指針としての「生命力の消耗を最小にする」というキーワードは自分自身にとって納得のいくものでありました。介護に携わるものとしてまだまだ学びの場、時間などは底辺から足りていないと思いますが、介護保険が始まって20年以上経過し、一人一人の介護スタッフが良いことも悪いことも経験してやっとこの指針に辿り着いたのかなと感じます。この職業をプロと呼べるものにするために、介護を知っている人、知らない人でも入り口としてはとても見やすく、介護スタッフの大切にしているものが伝わった番組でした。ありがとうございました。

介護職をしています。エビデンスに基づいた介護と、日々関わり観察している者だから気づける視点、両方を上手く働かせながら一人でも多くの方が、最期にこの施設に来てよかった、あなたに出会えてよかったと思っただけのような介護ができるよう頑張りたいと思いました。ハリーさんのお父様に対する優しさや介護職への感謝を語っていただけたことも印象的でした。

介護施設で事務パートをしていたことがあり、その介護職の意識と、この映像で見た介護職の意識が大きく違うのは何故だろうと思いました。労働条件や施設経営者の意識の違い？自分自身がこれから終活に向かっていく中、利用者としての目線で見させていただきました。このような施設にお世話になりたいです。

相手を「想う」ことの大切さを再確認しました。

自宅ではない場所でも、個別のケアを受ける事ができるなら長生きするのも悪くないと感じました。

福祉系大学の学生に視覚教材として活用したいと思った。

ポジティブに表現されており、とても良い

このような発信を続けることが必要であると感じました。

介護職として働いているのでより今の介護だったり、今後のあり方について考えることができました

## I 事業の概要

## II 事業内容



- 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業
  - ①介護の生理学入門勉強会
  - ②介護の生理学会
- 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業
  - ①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo
  - ②フォローアップ研修
- 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業
  - ①TV番組企画・制作
  - ②YouTube動画企画・制作
- 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業
  - ①調査
  - ②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

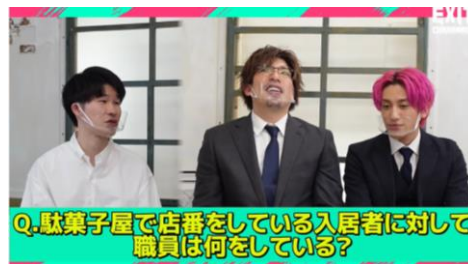


### 3-② YouTube動画企画・制作（概要）

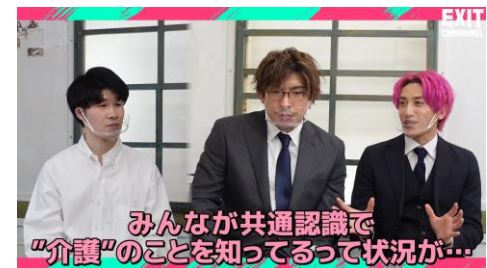
<p>タレント名 チャンネル名</p>	<p>EXIT（吉本興業所属）</p>  <p>EXIT Charannel（チャンネル登録者数：69.7万人）</p> 
<p>動画タイトル</p>	<p>【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る</p>
<p>動画尺</p>	<p>27分28秒</p>
<p>動画概要</p>	<p>EXITがVRでの認知症の症状の一人称体験や、介護の専門職との対談を通じて、介護の仕事について真剣に語る</p>
<p>公開日</p>	<p>2022年3月18日（金）20：00～ 動画URL「<a href="https://youtu.be/DaEVNpcJg70">https://youtu.be/DaEVNpcJg70</a>」</p>
<p>制作時のポイント</p>	<p>当初は介護現場での撮影を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で介護現場でのロケが出来なくなった。スタジオ収録に切り替わった後も、介護実践の裏側にある介護職の思考過程を紐解いてわかりやすく、楽しく発信することにこだわり、認知症への正しい理解に繋げる為のVR体験と、介護職の頭の中をクイズ形式で紐解く内容とした。</p>



※認知症の症状を本人の視点で体験することにより、本人の気持ちへの想像力に繋げる体験



※介護職が何を考えながら仕事をしているのか、その専門性を伝える為にクイズ形式としました



※影響力があるチャンネルで配信することで無関心層に向けた介護の仕事の魅力の発信が可能となる

### 3-② YouTube動画企画・制作（再生回数等）

アーカイブ配信 再生回数 (YouTube)	4.3万回（2022年3月30日（水）時点）
いいね数 コメント数	いいね 2421件（2022年3月30日（水）時点） コメント 386件（2022年3月30日（水）時点）

☰ YouTube<sup>JP</sup> 検索



#EXIT #介護 #認知症  
【チャラ男封印】EXITが今の介護について真剣に語る

43,236 回視聴... 2421 低評価 共有 クリップ 保存 ...

<https://www.youtube.com/watch?v=DaEVNPcJg70&t=1246s>



### 3-② YouTube動画企画・制作（視聴者属性）

YouTubeの概要欄にアンケートフォームへのリンクを案内したところ197名から回答を得た。

#### Q1.動画を知ったきっかけ（n=189）

	回答数	割合
EXITチャンネルに登録しているから	183	96.8%
You Tubeでレコメンドされた	4	2.1%
SNS	2	1.1%
知人からの紹介	0	0.0%

#### Q2.年齢（n=189）

	回答数	割合
10歳未満	0	100.0%
10代	4	0.0%
20代	28	2.1%
30代	42	14.8%
40代	64	22.2%
50代	43	33.9%
60代	7	22.8%
70代以上	1	3.7%

#### Q3.職業（n=189）

製造業
卸売業・小売業
飲食サービス業
理容・美容業
医療・福祉
宿泊業
不動産業・物品賃貸業
運輸業、郵便業
建設業

#### Q4.お立場（n=1

経営者
自営業
会社員
パート・アルバイト
主婦・主婦業
無職・求職中
学生
その他

アンケート数が更新されましたので更新をお願いします。

また、YouTubeアナリティクスの結果、下記内容の報告がありましたので見せ方検討をお願いします。

13歳～17歳	0.6%
18歳～24歳	6.7%
25歳～34歳	18.5%
35歳～44歳	22.0%
45歳～54歳	26.2%
55歳～64歳	17.0%
65歳以上	9%

男性	11.8%
女性	88.2%

### 3-② YouTube動画企画・制作（目標の達成度）

アウトカム	指標	データ収集方法	目標（判断基準）	目標達成度
	介護の仕事に対する興味・関心が高まったか。	視聴者へのアンケート調査	5段階評価で3以上	
コンテンツ視聴者が、介護の仕事を、専門的で面白い仕事だと感じる。	介護の仕事が魅力的だと感じたか。	視聴者へのアンケート調査	5段階評価で3以上	
	もっと介護の情報を調べてみたいと感じたか。	視聴者へのアンケート調査	5段階評価で3以上	

※なお、アンケート回答数が少ないため、効果測定

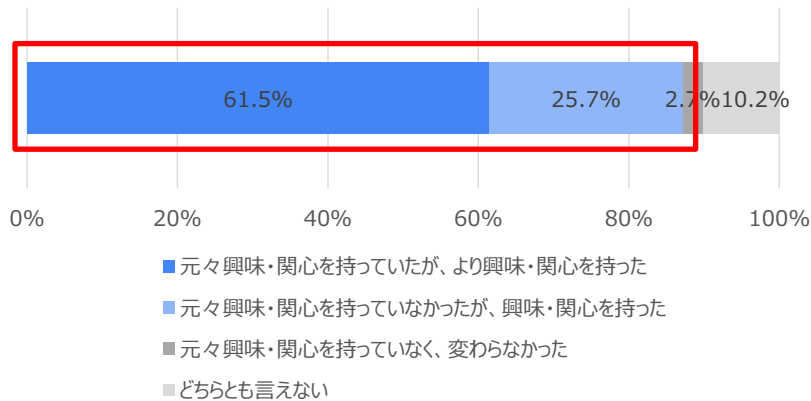
再生回数に対して、アンケート回答数が非常に少ないので、アンケートで効果を測定することの限界がある旨は、考察として一言入れても良いかと思いました。

## 3-② YouTube動画企画・制作（アンケート結果）

### 【介護の仕事に対する興味・関心】

- 介護の仕事に対する興味・関心に関する設問に対して、肯定的に回答（「元々興味・関心を持っていたが、より興味・関心を持った」、「元々興味・関心を持っていなかったが、興味・関心を持った」）と回答した割合は、87.2%であった。
- うち、「元々興味・関心を持っていなかったが、興味・関心を持った」と回答した割合が25.7%であり、意識変容に効果があった。

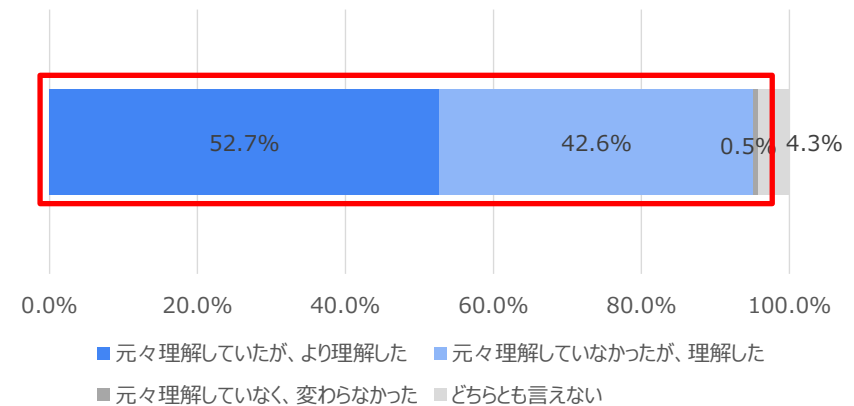
介護の仕事に対する興味・関心はありますか。



### 【介護の仕事に対する理解】

- 介護の仕事に対する理解に関する設問に対して、肯定的に回答（「元々理解していたが、より理解した」、「元々理解していなかったが、理解した」）と回答した割合は、95.3%であった。
- 介護の仕事に理解に関する項目では、「元々理解していなかったが、理解した」と回答した割合が42.6%であり、意識変容に効果があった。

介護の仕事に対する理解は深まりましたか。

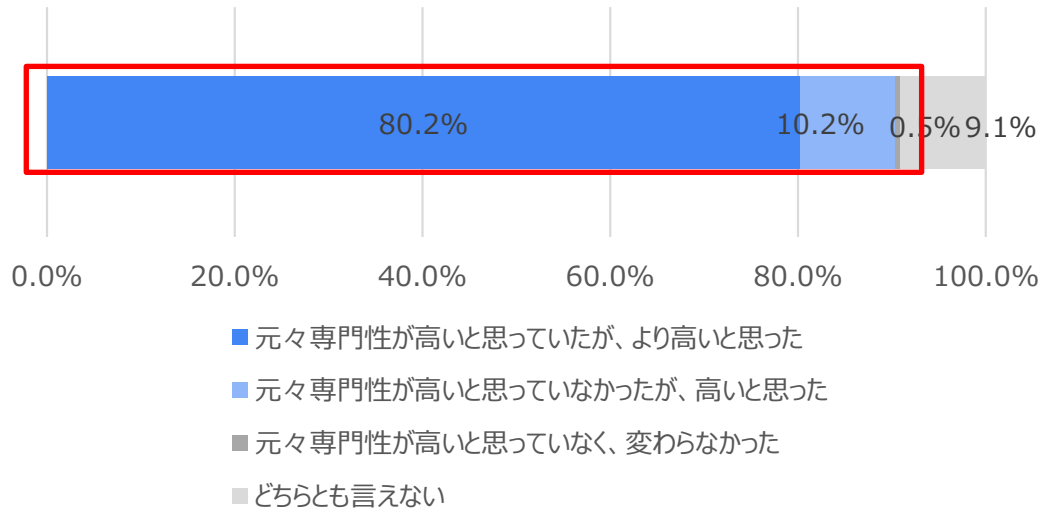


### 3-② YouTube動画企画・制作（アンケート結果）

#### 【介護の仕事の専門性の認識】

- 介護の仕事の専門性の認識に関する設問に対して、肯定的に回答（「元々専門性が高いと思っていたが、より高いと思った」、「元々専門性が高いと聞いていなかったが、高いと思った」）と回答した割合は、90.4%であった。
- うち、「元々専門性が高いと聞いていなかったが、高いと思った」と回答した割合が10.2%であり、意識変容に効果があった。

介護の仕事は専門性が高いと思いますか。





## 3-② YouTube動画企画・制作（YouTubeのコメント欄）

**386件のコメントのうち99.9%のコメントが本企画や介護の仕事に対するポジティブな内容であった。**

### フリーコメント

介護職をしている友人がおり色々な話を聞いていると"思った以上に大変だし辛いし辞めたい"と後悔しているようでした。なので勝手ながらあまり良いイメージは無かったのですが、今回お話を聞いて大変だけれどやりがいもあり素敵な職業だなと思いました。友人にもやりがいを感じてもらいたいののでこの動画見せたいと思います。

私自身介護の知識など皆無ですが、祖母はもう自宅介護だし、両親もいつ介護が必要になってもおかしくない年齢なので、色々なお話を聞いてほんの少しだけ介護について学べた気がするしまだまだ学んでいきたいなと思いました。

介護職を目指してる息子←中1も見て、凄い勉強になるって言ってました！私も見て親に対し、介護する時はこうしていこうって思います。私自身も勉強になりました！ありがとうございます。また、このような動画あげて欲しいです。

この動画はとても素晴らしい試みで家族でシェアして観させてもらいました。EXITが発信すると難しい問題も内容が不思議とスッと入ってくるのでこういう企画も定期的にアップして頂けると子供たちにとっても何かのきっかけになるとと思います。ありがとうございました！！

すごく勉強になりました。介護についてはまだ本当には身近に感じられていないけど、いつかきっと役に立つ知識や心構えのヒントになると思いました。それにしても介護職のみなさんには頭の下がる思いです。対人の仕事はみんなそうなのかもしれませんが、相手の立場に立つ、気持ちを想像する、待つ、見守ることは、こちらも人間で、さまざまな事情や感情があるなか、本当に難しいことだと思います。私はそれを子育てで今現在痛切に感じていますが、できるだけ双方がハッピーでいられるように、感情が暴走する前になるだけ知識を得て、理性で色々と試行錯誤していきたい…ものですね。

現在、介護福祉士の専門学校に通っています。視空間失認というものがどういう物なのか、とても分かりやすかったです。『介護』というものはオーバーケアをするとその方の日常生活動作などの機能が低下してしまうので、あくまで本人が出来ることは本人にやっていただく、でも時にはやってもらいたい時もあるので、そういう時にはサポートをする…といった、絶妙なさじ加減でやっていく仕事だと思います。(介護職経験あり)EXITさんに特集していただいて、とても嬉しかったですし勉強にもなりました。ぜひシリーズ化していただきたいです(^^)

『介護』とはすべてを手伝うというか、やらなければいけないという考え方が覆りました。出来ること、やれることを尊重することの大切さ、介護だけではなく、日常にもたくさんあることですね。

VRの映像は衝撃です。そんな怖い思いをしてるなんて、当事者しかわからないことだから、すごく勉強になりました。ありがとう！

とても勉強になりました。認知症にいろんな種類がありこんな感じ方をしてしまっているなんて知りませんでした。とてもいい動画でした。もっと介護について知りたいと思いました。

EXITが発信してくれる事により学びやすかったです。

いつか自分もそうなるってわかってても、なかなか理解する一歩を踏み出すのは難しいから、EXITと一緒に最初の一歩を踏み出せてよかった！本当にシリーズ化されたらいいなあ。あと、職員さんの優しく静かな喋りも印象的でした。普段から心がけているんだろうなあと思いました。

とても勉強になりました。

認知症にも色々な症状があるなんて知らなかったですし、VRであんな風に見えるのも知れて良かったです。

なんていい企画を思いついてくれたんでしょう。私も認知症の旦那さんの両親を介護してる時があり心がパンパンで折れそうな時にお2人に癒されながら介護に向き合っていた時期がありました。そんな2人がこの企画をしてくれた事嬉しくなりました。

思いがけない内容に見入ってしまいました。遠くない未来に自分も介護する側される側になっていくから、興味深かったです。

たくさんの人に観てほしいと思いました。

概要欄のアンケートも書いてきました。VRの映像がとても分かりやすかったです。介護はネガティブなイメージになりがちなので、このように明るく楽しく介護について語る動画の存在は貴重だと思います。多くの方にこの動画を見て欲しいです！

# 3-② YouTube動画企画・制作（SNSでの反響）

動画公開時、EXITのメンバーで介護経験者の「りんたろー。」さんが積極的にTwitterで発信し話題となった。また、本YouTube動画の視聴者の感想もTwitterで多数発信された。

## ■ Twitterでの反響



りんたろー from EXIT  
@rinnxofficial

介護職に8年携わったチャラ男として、今の僕に出来る事やるべきことはなんだろうそんな風に考えるようになったんです 😊

【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
[youtu.be/DaEVNPcJg70](https://youtu.be/DaEVNPcJg70) @YouTubeより



youtube.com  
【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
提供：厚生労働省補助事業（株式会社シルバークラウド）この動画は令和3年度厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発...

午後9:37 · 2022年3月18日 · Twitter for iPhone

395 件のリツイート 20 件の引用ツイート 2,352 件のいいね



ツイート

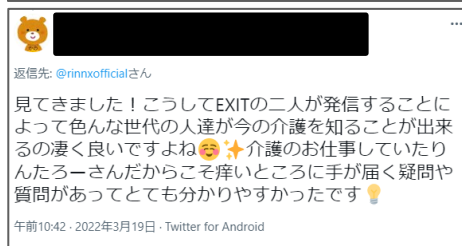
EXIT ならではのテーマに❤️🌈  
多くの方に見て頂きたいです🥰🙌

【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る - YouTube



youtube.com  
【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
提供：厚生労働省補助事業（株式会社シルバークラウド）この動画は令和3年度厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発...

午後1:06 · 2022年3月19日 · Twitter for iPad



返信先: @rinnxofficialさん

見てきました！こうしてEXITの二人が発信することによって色々な世代の人達が今の介護を知ることが出来るの凄く良いですね🥰🌟介護のお仕事していたりりんたろーさんだからこそ辛いところに手が届く疑問や質問があっても分かりやすかったです💡

午前10:42 · 2022年3月19日 · Twitter for Android



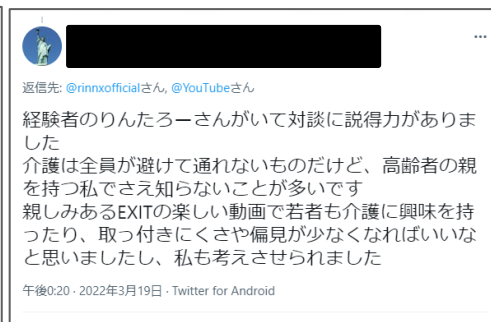
かねちーが言ってみたみたいいつかは介護する側、される側になるから私も普段減多に聞かれへんこういうお話しを聞けて良かった！🌟

【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
[youtu.be/DaEVNPcJg70](https://youtu.be/DaEVNPcJg70) @YouTubeより



youtube.com  
【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
提供：厚生労働省補助事業（株式会社シルバークラウド）この動画は令和3年度厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発...


午後10:35 · 2022年3月18日 · Twitter for iPhone



返信先: @rinnxofficialさん, @YouTubeさん

経験者のりんたろーさんがいて対談に説得力がありました  
介護は全員が避けて通れないものだけど、高齢者の親を持つ私でさえ知らないことが多いです  
親しみあるEXITの楽しい動画で若者も介護に興味を持ちたり、取っ付きにくさや偏見が少なくなればいいな  
と思いましたし、私も考えさせられました

午後0:20 · 2022年3月19日 · Twitter for Android



認知症の症状を体験するVR🌟  
EXITの2人が体験してくれたお陰で認知症の人への理解が少し深まったよ❤️  
このYouTube沢山の人に見て貰いたいな🍀

#EXITcharannel  
#EXIT #りんたろー  
#かねちー #兼近大樹

【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
[youtu.be/DaEVNPcJg70](https://youtu.be/DaEVNPcJg70) @YouTubeより



youtube.com  
【チャラ男封印】 EXITが今の介護について真剣に語る  
提供：厚生労働省補助事業（株式会社シルバークラウド）この動画は令和3年度厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発...

午後11:34 · 2022年3月18日 · Twitter Web App



## I 事業の概要

## II 事業内容

- 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業
  - ①介護の生理学入門勉強会
  - ②介護の生理学会
- 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業
  - ①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo
  - ②フォローアップ研修
- 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業
  - ①TV番組
  - ②YouTube動画
- 4 **介護技能の向上に向けた取組についての調査事業**
  - ①調査
  - ②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

## 4. 介護技能の向上に向けた取り組み調査事業（全体像）

### ●事業の目的

- 本事業では、「介護技能の向上に向けた特徴的な取り組み」を、介護に携わる層をはじめ、それ以外の層に対しても周知することで、従来の介護業界のイメージを向上し、介護の仕事とその従事者の社会的評価を高めることを目指している。また、ラーニングアウトカム（学習成果）への注目も高まっているが、介護業界においてはまだこれらの研究が十分になされていないことから、本調査で各種団体で実施されている「介護技能の向上に向けた取り組み」の効果を検証する方法を明らかにする。

### ●実施内容

#### ① 調査

- 都道府県、都道府県社会福祉協議会、都道府県介護福祉士会等、全265先を対象に、介護技能向上のための取り組みの実施状況を広くアンケートを実施し、どのようにその取り組みの効果測定を実施しているのかを調査した。
- 選定した団体の取り組みに対してインタビューを行い、取り組みがどのような効果につながっているかを整理した。

#### ② 発信

- インタビュー内容から効果的な取り組みを一般化し、汎用性の高い形にまとめた。事例を細かくしたうえで、研究会・研修参加者に説明したり、介護に直接関わりのない層向けに紹介した。

### ●効果測定の方法

- **介護の技能向上に向けた取り組み事例を通じた意識変容**

対象：有識者、一部都道府県

内容：介護技能向上に向けた取り組み事例集を通じた意識変容

手法：アンケートの実施

## I 事業の概要

## II 事業内容

- 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業
  - ①介護の生理学入門勉強会
  - ②介護の生理学会
- 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業
  - ①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo
  - ②フォローアップ研修
- 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業
  - ①TV番組
  - ②YouTube動画
- 4 **介護技能の向上に向けた取組についての調査事業**
  - ①**調査**
  - ②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

## 4-① 調査（概要）

### ●実施方法

【日 程】 2021年9月：調査設計・準備

10月～11月：アンケート調査の実施（送付件数255件、回答数57件、回答率22.3%）

12月～1月：インタビュー調査の実施（インタビュー予定数10件）

【対 象】 介護技能向上の取り組みは、民間事業者が主体で実施しているケースもあるが、取り組みを全国に広げていくうえでは公的機関の協力が不可欠であるため、下記の機関を調査対象に位置付けた。  
都道府県、都道府県社会福祉協議会、都道府県介護福祉士会、介護労働安定センター、  
業界団体、職能団体

【調査方法】 アンケート調査及び一部に対するインタビュー調査

# ① 調査（概要）

## アンケート調査概要

令和3年10月  
株式会社日本経営

介護技能向上の取り組みに関するアンケート調査へのご協力をお願い

この度は、令和3年度 厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発信等事業（介護技能向上促進事業）」の一環で、アンケート調査へのご協力をお願いしたく、都道府県様、都道府県社会福祉協議会様、都道府県介護福祉士会様、職能団体様、業界団体様に本調査資料を送付させていただいております。

本事業では、「介護技能の向上に向けた特徴的な取り組み」を、介護に携わる層をはじめ、それ以外の層に対しても周知することで、従来の介護業界のイメージを向上し、介護の仕事とその従事者の社会的評価を高めることを目指しています。なお、介護の知識（例：認知症、倫理、嚥下機能等）や技術（例：食事介助、入浴介助、排泄介助等）を、時と場合に応じて工夫したり、組み合わせたりしてケアを行う能力を、介護の仕事に従事する人自身に備わる「介護技能」と定義しています。また、介護技能向上に向けた取り組みには、座学、ワーク型研修、研究発表会などを広く含むものと捉えています。

近年、全国では介護技能の向上に向けたさまざまな取り組みが行われていますが、その効果をどう把握するかに課題や悩みを抱えている実施団体様も少なくないと考えられます。また、ラーニングアウトカム（学習成果）への注目も高まっていますが、介護業界においてはまだこれらの研究が十分になされていません。従いまして、本調査でその効果を検証する方法を明らかにすることで、介護業界に広く発信したいと考えています。上記の理由から、介護技能向上の取り組みの内容や効果測定の方法について、アンケート調査を企画いたしました。

皆様におかれましては、ご多忙のところ大変恐れ入りますが、**2021年10月31日**までにアンケート調査にご回答いただけますようお願いいたします。なお、ご協力いただきました団体様には、本年度末に、アンケート結果等を踏まえた冊子（事例集）を送付させていただく予定でございます。大変お手数をおかけしますが、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【書面でご回答の場合】

本紙に続く調査票（3枚）を **03-5781-0599** 宛に FAX にて返送をお願いします。

### 【WEBでご回答の場合】

2次元コードもしくは下記のリンク  
先より回答をお願いします。

URL : <https://forms.gle/3R3uFUQtLJ7jXy6>



事業名：令和3年度介護のしごと魅力発信等事業（介護技能向上促進事業）

受託事業者：株式会社シルバーウッド（調査実施者：株式会社日本経営）

本調査に関するご質問先：株式会社日本経営 介護福祉コンサルティング部 土谷

電話番号：080-3690-4389 メールアドレス：k-chousa2022@nkgr.jp

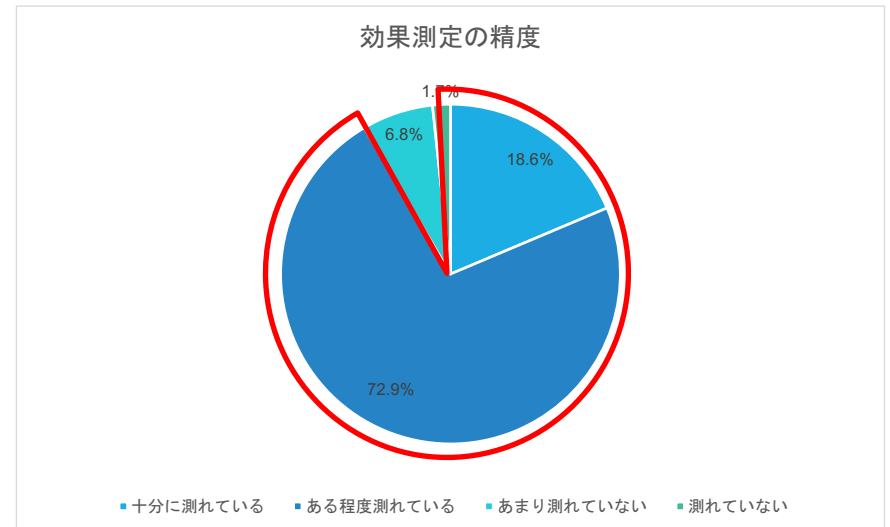
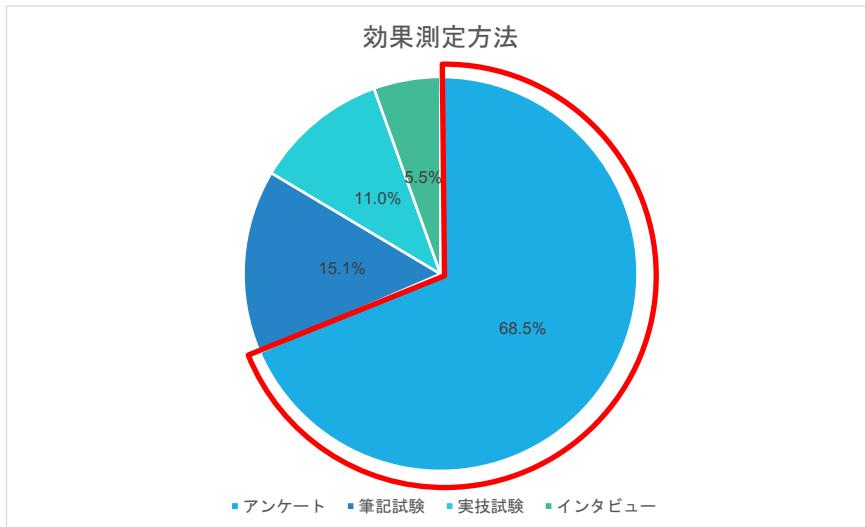
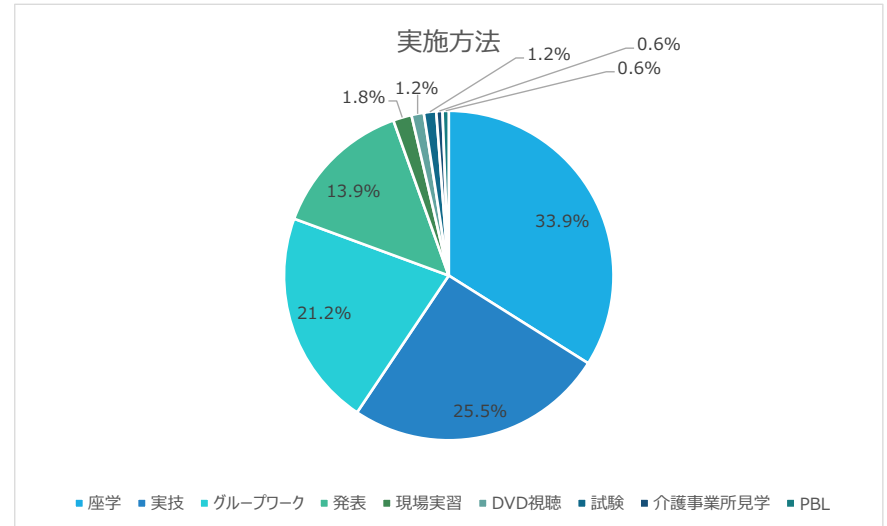
※ 本事業は、厚生労働省の補助事業として実施しています。

## 調査票における質問内容

No	問い
第1問	貴団体が関与している取り組みで、介護技能の向上に効果があると感じられている取り組みは何ですか。その名称（例：〇〇研修、△△イベント）をお書き下さい。
第2問	第1問で回答いただいた取り組みの、詳細内容についてご回答をお願いします。 →講師、参加ターゲット、実施方法、開催方法、使用教材、実施時期、当日の進め方、人数規模、予算規模
第3問	取り組みの到達目標、学習目標は何ですか。
第4問	到達目標、学習目標をどのような方法で測っていますか。 （例：アンケート、インタビュー、試験）
第5問	第4問で回答いただいた測定方法で、到達目標、学習目標は十分に測れていますか。 該当項目にチェック（✓）をお願いします。 <input type="checkbox"/> 十分に測れている <input type="checkbox"/> ある程度測れている <input type="checkbox"/> あまり測れていない <input type="checkbox"/> 測れていない
第6問	取り組みの将来展望についてお聞かせ下さい。
第7問	その他、貴団体や介護事業者等が主催する、介護技能の向上に向けた特徴的な取り組みで気になるもの、注目されているものがございましたら、把握されている範囲で結構ですのでご回答をお願いします。

## 4-① 調査（調査結果）

- 介護技能向上の取組について、多くの実施団体がアウトプット中心の取組（実技、グループワーク、発表、現場実習、試験など）を実施している。
- 効果測定の方法ではアンケートが68.5%と、最も多い。
- また、効果測定を十分に行えているかの質問に対しては、91.5%が十分に測れている、ある程度測れていると回答している。



## I 事業の概要

## II 事業内容

- 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業
  - ①介護の生理学入門勉強会
  - ②介護の生理学会
- 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業
  - ①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo
  - ②フォローアップ研修
- 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業
  - ①TV番組
  - ②YouTube動画
- 4 **介護技能の向上に向けた取組についての調査事業**
  - ①調査
  - ②**発信**

## III 全体総括

## IV 別添資料

## 4-② 発信（概要）

### ●実施方法

【日 程】12月～2月：冊子の作成  
3月：周知・広報・効果測定

【実施方針】・アンケートやインタビュー内容から、介護技能の向上に関する効果測定のポイントや特徴的な取り組みを実施しやすいノウハウにまとめ、冊子コンテンツ化を行った。  
・これを、公的機関や介護事業者に発信することで、介護技能向上の取り組みをブラッシュアップしたり、新たに企画したりする際に参考にできるようにした。

【配布対象】介護技能向上の取り組みは、民間事業者が主体で実施しているケースもあるが、取り組みを全国に広げていくうえでは公的機関の協力が不可欠であるため、下記の機関を配布対象に位置付けた。  
都道府県、都道府県社会福祉協議会、都道府県介護福祉士会、介護労働安定センター、業界団体、職能団体  
また、「生活の思考」(<https://think-life.net/>)にも掲載している。



## 4-② 発信（冊子構成の意図）

項目	内容
本冊子作成の工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 介護技能の向上に関する効果測定のポイントや特徴的な取り組みを実施しやすいノウハウを分かりやすい10個のQ&amp;A方式で解説している。</li><li>・ また、選定団体も、公的機関から一般の介護事業所まで取り上げることで、介護業界全体に向けた発信を可能となるようにしている。</li></ul>
ヒアリング団体先	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 公益財団法人介護労働安定センター</li><li>・ 株式会社シルバーウッド</li><li>・ 一般社団法人北海道介護福祉士会</li><li>・ 特定非営利活動法人「あやの里」</li><li>・ 社会福祉法人南高愛隣会</li><li>・ 熊本県庁</li><li>・ 新潟県庁 新潟県介護福祉士会</li><li>・ 青森県庁 青森県社会福祉協議会</li></ul>
ヒアリング団体先の選定理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 効果測定に関して、一定程度取り組んでおり、成果が出ているとアンケートにて回答があった団体を選定した。</li><li>・ また、特徴的な取り組みをしている団体を取り上げている。</li></ul>

## 4-② 発信（冊子構成）

### 冊子コンテンツ内容

頁	タイトル	内容
2p	はじめに	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本冊子の目的や、本書で扱う「介護技能」の定義、介護技能向上に関するプログラム（研修など）における「効果測定」の重要性を紹介した。</li><li>• また、「介護のしごと魅力発信等事業」についての説明も記載している。</li></ul>
3p	<全国一斉アンケート> どうしてますか？ 「介護技能向上プログラム」	<ul style="list-style-type: none"><li>• 都道府県、都道府県社会福祉協議会、都道府県介護福祉士会、介護労働安定センター、職能団体、業界団体を対象に、介護技能向上プログラムの現状・課題などをアンケート調査し、結果を記載している。</li></ul>
5p	<お手本がいっぱい！> 全国8団体に学ぶ 「リアルな取り組み事例」	<ul style="list-style-type: none"><li>• 全国で実施されている、介護技能向上に向けた特徴的な取り組みを紹介している。</li><li>• インタビュー調査をもとに、取り組みの詳細内容を紹介した。</li><li>• 単に「面白い」という視点だけではなく、他の実施機関にとって参考になる、自団体への応用ポイントや効果測定の方法にも言及した。</li></ul>
21p	<効果を「見える化」> プログラムをもっと良くする！ 「効果測定アイデア」	<ul style="list-style-type: none"><li>• 介護技能の向上に向けたさまざまな取り組みの効果をどう把握するか、課題や悩みを抱えている実施団体も少なくない。</li><li>• また、ラーニングアウトカム（学習成果）への注目も高まっているが、介護業界においてはまだまだこれらの研究が十分になされていない。</li><li>• 本章では、効果検証のための理論や方法論を取り上げた。</li></ul>
23p	編集後記	<ul style="list-style-type: none"><li>• 編集後記を記載している。</li></ul>

# 4-② 発信（冊子構成）

## 冊子のアウトプット一例

**特集 2** <全国8団体に学ぶ  
リアルな取り組み事例>

CASE.8 **コンテスト**

青森県 | 2016年～

教えてくれたのは  
  
 青田優枝さん 館前知世さん 芳賀遥さん  
(青森県社会福祉協議会)

**コンテスト当日の様子**



それぞれの工夫が光るステージ

日頃の活動、みんなでシェア！

**基本データ**

名称 「キラリ輝く介護の魅力！介護技術コンテスト」

何をする？ その年のテーマに沿った介護技術をチーム対抗形式で発表

出場チーム数 3名×10チーム  
※2021年実績 主な出場者 県内の介護従事者・学生

観覧形式 リアル/オンライン  
※新型コロナウイルス感染対策の上実施 観覧者 40名（介護関係者・学生・一般）

主催 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

取り組みがわかる **12** のQ&A

**1** コンテストの目的は？

まずは介護の魅力を広く知ってもらうこと。それから、介護職員のモチベーション向上と定着に繋がればと思っています。

**2** コンテスト観覧のターゲットは？

若い方をはじめ、幅広い層の方々に来てもらえると嬉しいですね。なにかとネガティブな印象がついて回る介護職のイメージを、少しでも向上させるために日々奮闘中です。

**3** コンテストに着目したきっかけは？

安定的に盛り上がっている美容業界には、『カリスマ美容師』という立役者がいますよね。たとえば介護業界にもそんなカリスマが現れたら、若い人も関心を寄せるのではないかと…そんな発想がきっかけでした。

**4** コンテストまでの準備期間は？

ほぼ過年で、何らかの段取りをしていますね。広報はホームページをはじめ、SNSでも積極的に発信します。

**5** 若い世代の参加を増やす施策は？

県内にある事業所のほか、福祉系の高校・短大に早期からアプローチ。誘致チラシを配布するだけでなく、学校側からブッシュ頂けるよう依頼したり、私たちが直接学校訪問してPRしたりと、リソースを割いて丁寧に行っています。

**6** コンテスト当日はどんな雰囲気？

20～60代の幅広い層が参加し、8分程度の持ち時間でそれぞれ工夫を凝らした発表を行います。観覧席の反応も良く、出場者同士も関心を寄せ合って、活気がありますよ。同時開催の展示や講演会なども賑わいます。

**7** 審査基準を決めるプロセスは？

介護福祉士試験の評価基準や他県のコンテスト等を参考に作成した『評価表』のドラフト案を審査委員会で検討します。評価項目の追加やブラッシュアップを経て完成です。

**8** 審査員や進行役を務めるのは誰？

審査員は有識者、理学療法士、作業療法士、施設経営者…など流動的ですが、毎年必ず加わってもらうのは国家試験の実技試験も担当する介護福祉士養成校の先生です。進行役は主催スタッフが務めるが、プロの司会者に依頼する場合もあります。

**9** 効果測定はどのように？

出場者には「モチベーションがどう変わったか」という視点、観覧者には「介護に興味を感じたか」という視点でアンケートを実施しました。出場者にはその場で回答してもらい、観覧者には郵送回答をお願いしました。

**10** 出場者の所感？

「他チームの介護が参考になった」「コンテストに参加する過程を通して、自分たちの介護を見直すきっかけになった」という声が多数。技術向上をテーマにしたばかりではありませんが、コンテストということで自然と競合要素を意識されていたようです。

**11** コンテスト結果を Web公開した理由は？

優勝・準優勝チームを載せて、関係者のモチベーション向上を図る狙いです。実際、こうした形での評価はご本人達に大きな喜びや誇りをもたらしていますし、事業所のPRにもなります。周囲への良い影響も出ていくように思います。

**12** 今後の展望は？

出場者にとっては、チーム力向上や個人のスキルアップを促進しであり続けたいですね。そして、若い世代を中心とした幅広い層の方が、このコンテストやSNS発信を機に介護職に興味を持つような仕掛けをどんどん考えていきたいと思っています。

## 4-② 発信（目標の達成度）

アウトカム	指標	データ収集方法	目標（判断基準）	目標達成度
都道府県・業界団体・職能団体が介護技能向上として行われている取り組みを知る。	介護技能向上に向けた取り組みを知ることで、今後の参考になったか。	読者の一部にヒアリング	肯定的なフィードバックが70%以上	達成 100%
都道府県・業界団体・職能団体が、自組織で実施している介護技能向上の取り組みの効果を計測しようと思う。	介護技能向上に向けた取り組みの効果測定の手法を知ることで今後の参考になったか。	読者の一部にヒアリング	肯定的なフィードバックが70%以上	達成 100%

## 4-② 発信（インタビュー結果）

全体的な所感	内容
大変参考になった	<ul style="list-style-type: none"><li>• 他の団体の事例が多く、特に行政での研修プログラムの取り組みなど、他の団体の情報が多く掲載されていて、かなり参考になった。</li><li>• 特に「介護の生理学」の視点や、科学的に根拠をもったケアを教育していく必要性を感じた。</li><li>• 当法人ではこれまで「寄り添う」介護の実践を教える機会が多かったため、そのような点やプログラムの効果測定の視点も取り入れていきたいと思った。</li></ul>
大変参考になった	<ul style="list-style-type: none"><li>• 実際のプログラムは他社に委託することが多く、研修を企画したりすること自体は少ないが、実施者にとってはかなり役に立つ情報だと思った。</li><li>• 特に他団体の取り組み事例が掲載されている点で有用だと感じた。</li><li>• 今後、研修等を企画する機会があれば参考にしていきたいです。</li></ul>

## I 事業の概要

## II 事業内容

### 1 介護技能の根拠を広める介護の生理学会（ケアコンテスト）事業

①介護の生理学入門勉強会

②介護の生理学会

### 2 介護の目的と原理の理解、組織マネジメント力向上支援事業

①マネジメント・スタンダード・プログラム for kaigo

②フォローアップ研修

### 3 介護技能向上やケアコンテストなどの取り組みに関する発信事業

①TV番組

②YouTube動画

### 4 介護技能の向上に向けた取組についての調査事業

①調査

②発信

## III 全体総括

## IV 別添資料

# 令和3年度事業の総括

本事業の総括として、以下の点があげられる。

## 【成果】

### ① 本事業で企画したプログラムに対し、全国から想定を上回る参加があったこと

- 各事業区分において、ターゲット、目的、概要等を十分に検討した上で周知・発信を行った。また、学生にも広く魅力を伝えるため、学校教育機関への広報も実施した。結果として、当初想定よりも多くの参加が見られた。なかでも介護の生理学入門勉強会には、300名の集客目標に対して1,671名（目標対比557%）の参加があった。その中の41.2%を学生が占めており、学生をはじめとする、より広い層に対する魅力発信が実現できた。同様に、介護の生理学研究会においても、200名の集客目標に対して1,283名（目標対比645%）の参加があった。

### ② 拡散性の高い媒体を通じて、全国に広くコンテンツを訴求できたこと

- 本年度の事業では、YoutubeやTV番組を通じて、動画コンテンツを全国に発信した。TV番組は約25万人が視聴、YouTube動画は再生回数が4.3万回に達し、アンケート結果やTwitter等のツイート内容等から、興味関心が高まり、介護のしごとに対する理解が深まったといえる。ターゲット別に発信方法を工夫し、拡散性の高い情報発信媒体を用いて実施したことが影響したと考えられる。

### ③ 本事業がきっかけとなり、都道府県に研修を「面」で展開できたこと

- マネジメントスタンダードプログラムについて、昨年度のファシリテーター育成コース参加者は、19名中16名が自法人等で実施している。また、ファシリテーター育成コース参加者が各都道府県・市区町村に向けて、都道府県予算を用いた実施について提案を進めている。実際に下記の4件では開催実績がある。
  - ・福島県、岐阜県、奈良県（2020年度～）、熊本県